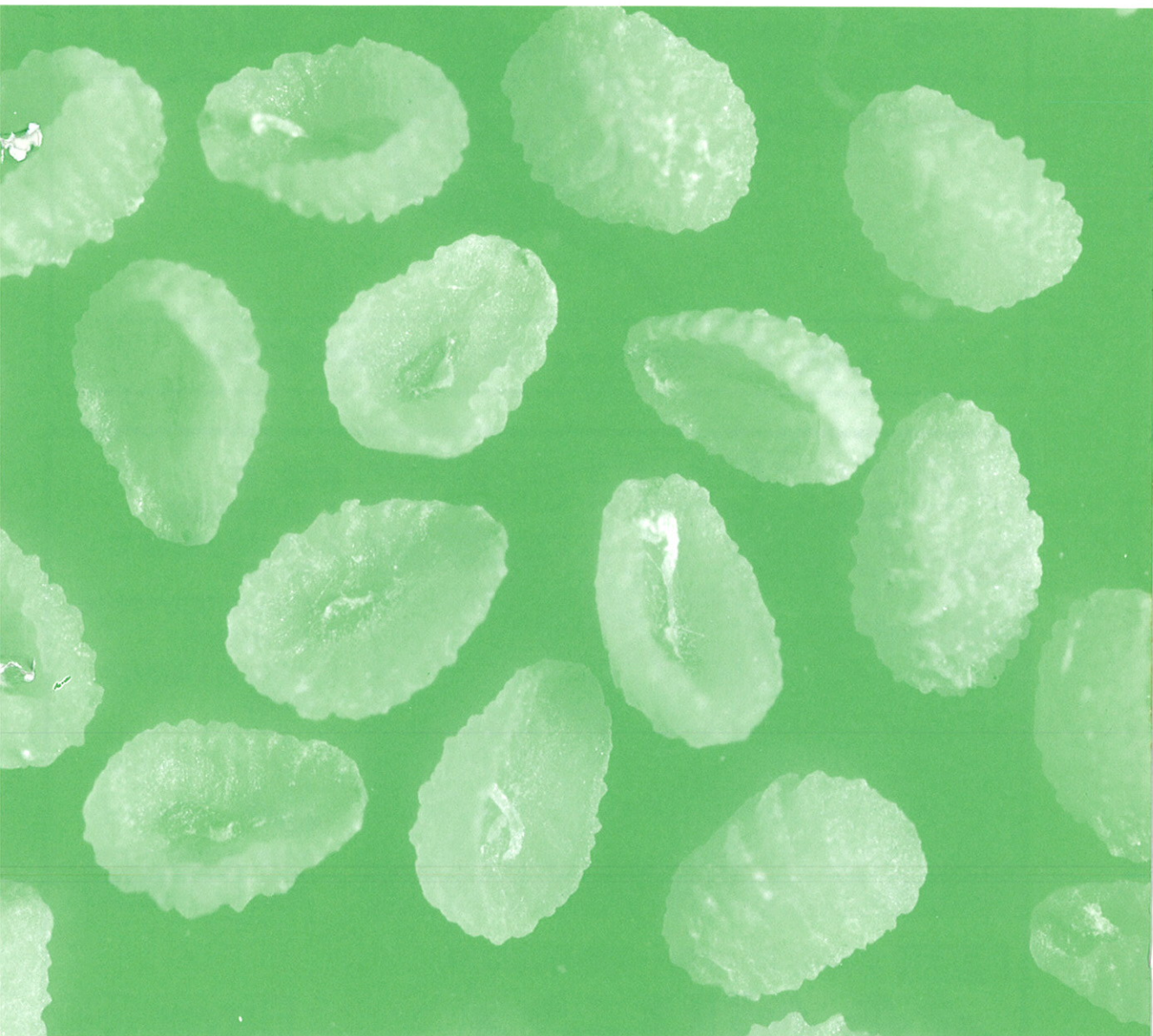


植調

第33巻第12号



オオイヌノフグリの種子 (*Veronica persica*) 長さ1.5mm

財団法人 日本植物調節剤研究協会編

新規水田用初期除草剤

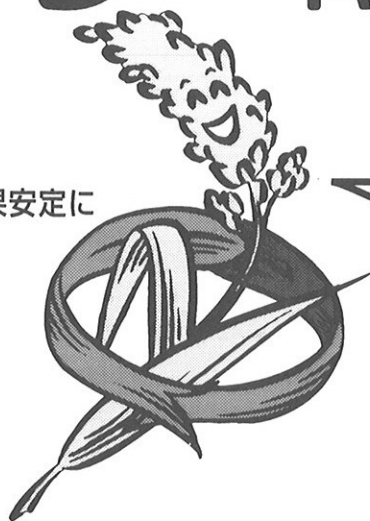
新発売

初ベクサー® フロアブル 1キロ粒剤

(R) 科研製薬(株) 商標登録

特長

- ◆すぐれた経済性
- ◆中期剤・一発処理剤の効果安定に
- ◆水稻に対して安心
- ◆環境に対して安心



低コスト
稲作に!



JAグループ
農協



経済連
◎は登録商標です



三井東圧農薬株式会社
東京都中央区日本橋1-12-8

ノビエの3葉期まで使えて
実りを約束。



■特長

1. 広い散布適期
2. ノビエの3葉期まで高い効果
3. 幅広い殺草スペクトラム
4. 長い残効性
5. 水稻に対する優れた選択性



ヒエによく効く。

メフェナセト



ノビエの3葉期まで効く
クリンチャー配合

Rは登録商標 *ダウ アグロサイエンス商標

新発売 水稻用 初・中期一発処理除草剤

イネグリーン® 1キロ粒剤

●北海道・東北用にイネグリーン1キロ粒剤75 ●北陸・関東以西にはイネグリーンD1キロ粒剤51



日本バイエルアグロケム株式会社
東京都港区高輪4-10-8 〒108-8572



巻 頭 言

善 玉 ・ 悪 玉

財団法人日本植物調節剤研究協会 理事
生物系特定産業技術研究推進機構 P L

村井敏信

テレビの人気番組に、「水戸黄門」がある。最初に放映されたのが1969年というから、途中休むことがあってもおよそ30年間に渡って続いたことになる。ストーリーとしては単純で、必ず悪玉役と善玉役が存在し、最初は善玉が悪玉にいじめられる。そこへ、水戸黄門の一行が登場し、善玉を助けて悪玉を懲らしめ、最後には印籠を出して、「この紋所が目に入らぬか」と悪玉を恐れ入らせてめでたく決着するというワンパターンストーリーである。

劇ドラマの作品としては、日本人の「勧善懲悪」の好みに適合し、私自身も別に嫌いな番組ではないので、何もとりたてて文句を付ける気はない。しかし、現実の世界でも、このように短絡的に善玉と悪玉をきめつけるやり方が横行しているのは極めて問題である。

かつて、第二次大戦中、しばしば「鬼畜米英」という言葉を耳にした。当時の状況では、軍部の命令でやむを得なかったこととは思いますが、米英悪玉論を喧伝したのはマスコミである。私は当時子供ではあったが、本当に米国人や英国人は「鬼」や「畜生」であると堅く信じていたものである。

最近のマスコミの報道の仕方には、明らかに客観性を欠いた偏った報道姿勢が見える。特に、テレビのワイドショーなどでのニュースの取り扱いにはこの傾向が強い。何かことがあると善悪を決めつけ、一方的に追求するというやり方である。

我が国は、国土が狭く、しかも資源に乏しい国である。科学技術の発展がなければ、国の将

来もない。しかるに、科学技術に対するマスコミの論調は、単純な善玉・悪玉論が多い。例えば、原子力発電である。確かに東海村におけるような事故は許されないことである。しかし、だからといって原子力発電全体を悪玉に仕立てて、非難することはいかなるものであろうか。現在、東京電力で供給している電力の46%は原子力発電によるものである。1997年に、京都で開かれた気候変動枠組条約第三回締約国会議における取り決めで、日本は2010年（2008年から2012年の5年間の平均）のCO₂等温室効果ガスの排出水準を、1990年に比べ6%削減しなければならない。電力消費は年々増加しており、現在の日本の経済活動と生活水準を維持しながらこの目標の削減率を達成するのは至難の業といわれる。原子力発電をやめたら、どのようにしてこの削減目標を達成しようとするのであろうか。背景と必要性に対する十分な情報を報道しないで原子力発電所の建設は「是か非か」といった問題提起をすることは正しいやり方であろうか。

科学技術には完全ということではなく、必ずプラス面とマイナス面を持つものである。したがって、科学技術の再評価には、このプラス面とマイナス面を合わせて評価することが必要である。どんなに優れた科学技術でもそのマイナス面のみを取り上げて強調すれば、完全な悪玉になってしまう。これでは、科学技術の進歩は見込めない。少なくとも科学技術については、マスコミに「水戸黄門」になってもらいたくない。

目 次
(第 33 卷 第 12 号)

巻 頭 言

善玉・悪玉 1

<財日本植物調節剤研究協会 理事
生物系特定産業技術研究推進機構PL
村井敏信>

平成11年度水稻作関係除草剤試験成績

概要10

<財日本植物調節剤研究協会 技術部>

植調協会だより63

カンキツの離層形成過程における
植物ホルモンの動態 3

<果樹試験場カンキツ部興津 奥田 均>

よりよい農業生産のために。三共の農薬



- 時代先どり、ジャンボな省力
投げ込むだけの水稻用一発処理除草剤

クサトリエース® Hジャンボ®
Lジャンボ®

- 三共の優れた製剤技術から生まれた
グリサホート液剤

三共の草枯らし®

- 効きめの長〜い
水稻用初・中期一発処理除草剤

ラクター® Hフロアブル
Lフロアブル

- 移植前後に使える水稻用初期除草剤

シンク® 乳剤

- どっしり安定、しっかり効くソウ
水稻用初・中期一発処理除草剤

ウィードレス® A1キロ粒剤36
1キロ粒剤51

- ノビエ3.5葉期まで使える
新しい水稻用中期除草剤

ザーベックス® DX1キロ粒剤

- 使いやすい水稻用初期一発処理除草剤

ミスラシヤ® 粒剤
1キロ粒剤

- 難防除雑草の掃除屋さん

ザーベックス® SM1キロ粒剤

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。



三共株式会社

農薬部
東京都中央区銀座2-7-12 〒104-8113

カンキツの離層形成過程における 植物ホルモンの動態

果樹試験場カンキツ部興津 奥田 均

はじめに

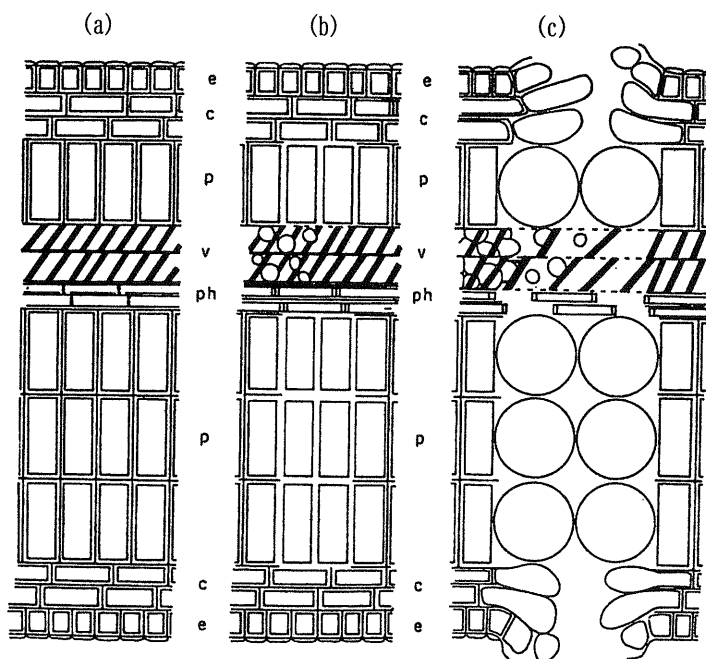
平成11年度産の温州ミカンでは豊作で価格低迷に喘ぎました。ここ数年の生産量の変動をみると表年で140～160万トン、裏年は120万トン前後で推移しています。この20～40万トンと見こまれる表年の生産量の増加が、果実品質とともに低価格の最大の要因です。

この生産量の変動（隔年結果）は、近年、以前にも増して顕著であるといわれています。この原因には生産者の高齢化や低価格などによる栽培管理水準の低下、ならびに高樹齢樹の多いことが考えられます。隔年結果を解消するには、これらの根本的な原因に対してなんらかの策を講じなければなりません。

平行して現状で生産量を調節する策も必要です。過剰に着果した果実を摘果剤の使用により減らすことは最も有効な生産調節の手段です。しかしながら、現在、カンキツ用に登録されている摘果剤では効果が不十分な場合もあり、より効果的な新規摘果剤の開発が緊急

に望まれています。

これまでの摘果剤の多くは植物ホルモン系であり、オーキシシン、エチレンの作用を利用する形で開発は進められてきました。しかし、その生理機構が詳細に理解されているわけではありませんでした。今後、新たな摘果剤を開発する糸口を求め、本稿ではカンキツの離層形成過程における植物ホルモンの関与に関する知見の整理を試みました。



e:表皮, c:厚角組織 P:柔組織 V:導管 ph:離層

図-1 離層の発達過程

1 離層の形成・発達

落下(葉・果)がおきるとき、それに先行して離層と呼ばれる特異な組織が分化・発達します。Sextonらは葉柄に形成される離層の発達過程を組織学的に図-1のように要約しました。離層の形成は柔組織(図-1(a))に始まります。最初に、木部に添充細胞が発達し、次に篩板にカロースが沈着し(図-1(b)), 養水分の流れが悪くなります。その後、これらの組織の細胞で壁(ミドルラメラ)の崩壊がおこると、柔細胞は急速に肥大し(図-1(c)), 離層は切断します。

2 離層形成・発達過程における植物ホルモンの役割

1) 酵素への影響

この離層の形成・発達の重要な過程であるミドルラメラの崩壊は、セルラーゼ、ポリガラクトシュロナーゼなどの加水分解酵素で促進されます。植物ホルモンの酵素活性への作用は、エチレン(Rasmussen, 1973)やABA(Sagee et al., 1980)が促進的、オーキシシン(Goren et al., 1977; Huberman & Goren, 1979; Zur & Goren, 1977)が抑制的に働くとされています。また、エチレンはオーキシシンの生合成(Ernest & Valdivinos, 1971), 移動(Riov & Goren, 1979; Sisler et al., 1985)やconjugate形成(Ernest & Valdivinos, 1971; Riov & goren, 1979; Riov et al., 1982)を調節すること、ABAはエチレンの生合成を促進(Gomez-cadenas et al., 1996)することが指摘されています。このように、3者の作用は複雑で離層形成過程への体系的な関わりを詳述することは筆者の貧弱な知識では不可能です。そこで、最近、清見を対象にして行った実験から得た若干の知見を以下にまとめます。

2) 離層形成過程における植物ホルモンの動態

実験を計画するにあたって採用した作業仮説はオーキシシン濃度勾配説(Addicott, 1982)です。この説は非常に古くに提唱されたものです。落下をオーキシシンのみで説明する少々乱暴な仮説ですが、当時の貧弱な分析技術では他の植物ホルモンからの知見は少なく、生物検定で簡単に測定できるオーキシシンに依存したものの当然です。しかしながら、この説は十分な信憑性をもって今でも生き長らえています。

この説では求基的に移行する性質を有しているオーキシシンの移行が何らかの原因で崩れたときに落下はおきると説明されています。この説は落葉などで確かめられているほか、ブドウの花振るいにも適用されています。そこで、カンキツへの適応可能性を検証してみました。

ーオーキシシン濃度勾配説の

カンキツへの適応性検証ー

落果には果梗をとともう一次落果と果実のみが落下する二次落果があります。したがって、一次落果の場合、離層は図-2に示したように果梗に形成されます。そこで、累積落果率の変化と離層を挟んだオーキシシン(IAA)濃度勾配の変化を比較しました。これに平行してオーキシシンの移行阻害剤でオーキシシンの移行を人為的に調整することで落果を調節できるかどうかとも検証しました。

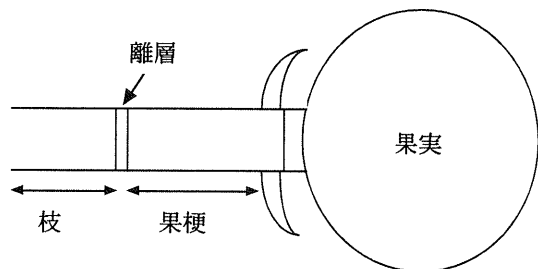


図-2 一次落果の離層とその前後の組織

対照区において処理0日目には組織間のIAA濃度に求基本的な勾配がみられ(図-4(c), 0日), その後, 累積落果率が上昇しはじめる(図-3, 処理3日目以降)と離層のIAA濃度はその前後の組織より高くなり(図-4(c), 3-7日), その後, 累積落果率はピークに達しました。すなわち, この時期に, それまでのオーキシンの求基本的な濃度勾配は, 離層にIAAが蓄積することで分断されたわけです。

次に, TIBA(トリヨード安息香酸, IAAの極性移動阻害剤)をラノリンペーストに混和して離層より果実側の果梗に塗布する場合(果梗処理)と枝側に塗布する場合(枝処理)で累積落果率にどのような変化が生じるか実験したところ, 果梗処理で落果は促進され, 逆に枝処理で抑制されました(図-3)。離層およびその前後の組織のIAA濃度を測定してみるとTIBAの果梗処理で離層IAA濃度の増加がみられ, 枝側の処理ではそのような増加は見られず求基本的な濃度勾配が維持されていました(図-4(a), (b))。

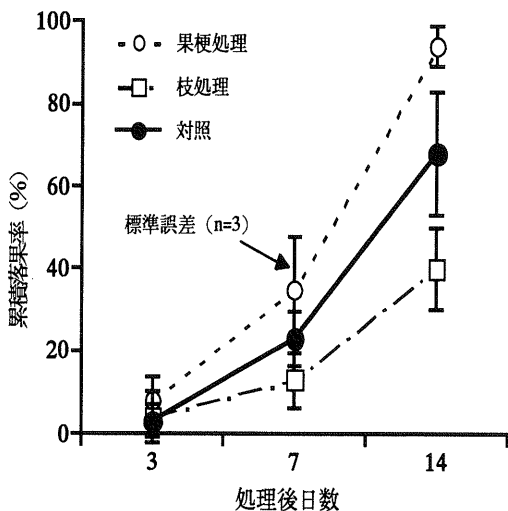


図-3 TIBAの処理位置が累積落果率に及ぼす影響

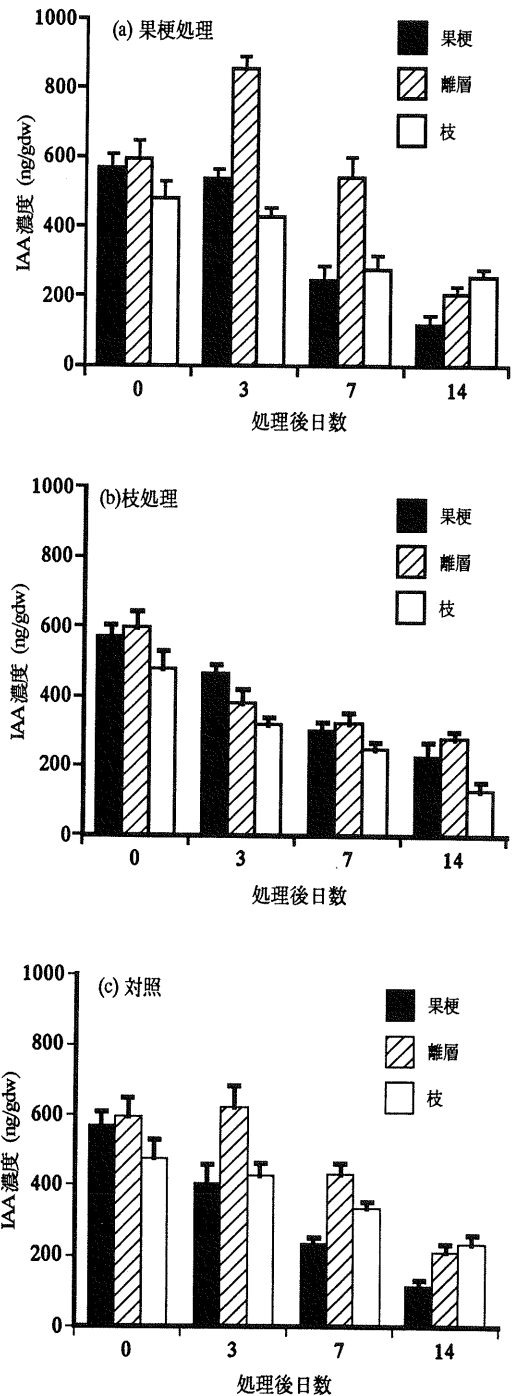


図-4 TIBAの処理位置が各組織(果梗, 離層, 枝) IAA濃度に及ぼす影響

このことから, カンキツにおいてもオーキシンの求基本的移行の維持と着果は, 因果関係は不明なものの相互に関連しているものと思われる。

した (Okuda & Hirabayashi, 1998)。

また、オーキシンの果梗での求基本的な濃度勾配の消失は離層IAA濃度が結果的に増加することで見かけ上おこりました。そこで、同様の現象が摘果剤を使用した場合にも現れるか調べたところ、アブシジン酸 (ABA) の清見に対する処理では、処理直後に離層中のIAA濃度が急増することがわかりました (Okuda, 1999)。未調査の他の摘果効果を示す剤についても同様な結果が得られれば離層IAA濃度の上昇にともなうオーキシンの求基本的な濃度勾配の消失は落果にともない共通して見られる現象と言えるのかもしれない。

おわりに

摘果剤の利用は果数を減らすことで大きさ・品質を保持し、隔年結果を防ぐことにあります。しかしながら、隔年結果を抑制するためには、着花を抑制することから始めなければなりません。花が多いことが分かってから対策を講じるのではなく、その前にそのような状況にならないように予防策をとることが大切です。そのためには、樹勢を維持し、決して弱めず、適当な新梢数を毎年確保することが重要です。肥培管理に加えて結実管理を徹底することで隔年結果の引き金となるような着果過多を防がなければなりません。そうすれば結果母枝の発生も促され隔年結果も是正されるでしょう。このような場面で摘果剤は大きな役割を担うものと考えられます。今後、ここで紹介した内容が新たな摘果剤あるいは落果防止剤の開発に寄与することを願います。

引用文献

- 1) Addicott, F.T. 1982. *Abscission*. University of California Press, Berkeley, USA.
- 2) Ernest, L.C., and J.G. Valdovinos. 1971. *Plant Physiol.* 48:402-406.
- 3) Gomez-Cadenas, A., F.R. Tadeo, M. Talon, and E. Primo-Milo. 1996. *Plant Physiol.* 112:401-408.
- 4) Goren, R., M. Huberman, and M.J. Jaffe. 1977. *Proc. Inter. Soc. Citriculture.* 2:677-683.
- 5) Huberman, M., and R. Goren 1979. *Physiol. Plant.* 45:189-196.
- 6) Okuda, H. and T. Hirabayashi, 1998. *J. Horticultural Sci. and Biotechnology.* 73:618-621.
- 7) Okuda, H. 1999. *J. Horticultural Sci. and Biotechnology.* 74:422-425.
- 8) Rasmussen, G.K. 1973. *Plant physiol.* 51:626-628.
- 9) Riov, J., and R. Goren 1979. *Plant Physiol.* 63:1217-1219.
- 10) Riov, J., N. Dror, and R. Goren. 1982. *Plant. Physiol.* 70:1265-1270.
- 11) Sagee, O., R. Goren and J. Riov. 1980. *Plant Physiol.* 66:750-753.
- 12) Sexton, R., and A.J. Redshaw. 1981. *Ann. Bot.* 48:745-756.
- 13) Sisler, E.C., R. Goren, and M. Huberman. 1985. *Physiol. Plant.* 63:114-120.
- 14) Zur, A., and R. Goren. 1977. *Scientia. Hort.* 7:237-248.



軽量・コンパクト、しかも 効きめはハード。



1. 軽量・コンパクト

10アール当たり、わずか60gの薬剤量。持ち運びが楽で、保管スペースも少なくすみます。

2. 省力除草

機械の不要なボトル散布、大型水田では散布機器の使用……いずれも省力的です。

3. 省資源

ボトルのサイクル利用、散布機器の使用によりプラスチック容器ゴミが削減できます。

4. 優れた拡散性

水田に入らず畦畔からの散布も可能です。

5. 長い残効性

ノビエなど各種雑草に対し通常40～50日間の残効性が期待できます。

6. 広い散布適期幅

ノビエ2.5葉期まで使用できるので余裕をもって散布できます。

顆粒らくらく用直射スプレー
2リットルタイプ



水田初・中期一発処理除草剤

ダイハード® 顆粒

【新剤型フロアブル】

ダイハード協議会

塩野義製薬株式会社 八洲化学工業株式会社 永光化成株式会社
事務局 日産化学工業株式会社 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-7-1

水稻用除草剤

初期一発除草剤

アワード フロアブル
クサトリ-E ジャンボ L

カルショット フロアブル
シゼット フロアブル

初・中期一発除草剤

キングダム フロアブル
クサナイン フロアブル

ビース 1キロ粒剤
ライガード フロアブル
ロンゲット フロアブル

初期除草剤

一振田助 フロアブル
農將軍 フロアブル

シング 乳剤
レトリ フロアブル

には、
ピリブチカルブ[®]
が使用されています。

コニ

大日本インキ化学工業株式会社
東京都中央区日本橋3-7-20 ディックビル

とうもろこし畑の
イチビ
防除に!!



しつこいイチビに、とどめの効きめ!

- しつこいイチビ、やっかいなオナモミ、さらにタデ類、ハコベ、シロザ、タネツケバナなど広範囲の広葉雑草に優れた効き目を発揮します。
- 雑草の発生揃期から3葉期前後まで、広い散布適期幅をもつ除草剤です。
- 難防除雑草の発生を確認してから散布ができるので、確実性が高く、より経済的です。

畑作の広葉雑草防除剤

バサゲラン 液剤
(ナトリウム塩)

®はBASF社の登録商標です。

取扱会社：クミアイ化学工業㈱／三共㈱／サンケイ化学㈱／日本農薬㈱／北興化学工業㈱／八洲化学工業㈱
普及事務局：住友化学工業㈱ 〒104-8260 東京都中央区新川12-27-1

作物にやさしく、
スギナも枯らす。



速くて、しっかり。
パスタ®



●作物にやさしいパスタ
パスタは作物体の他の部分に移行して影響が出たり、後にまで影響することはほとんどありません。
※パスタは非選択性ですので、作物の茎葉に飛散するとかかった場所に葉害を生じますので注意してください。

●なんでも枯らすパスタ
パスタはほとんどすべての雑草に効果てきめん。スギナ、ツクサなどの問題雑草にも優れた効果を発揮します。

●速く効く、長く効くパスタ
パスタは速く効いて、しかも長く効く。
＜速く＞＜長く＞という両方で満足できます。

●使いやすいパスタ
パスタは普通物、魚毒性はA類相当（原体）です。また、土壌微生物によりすばやく分解されるので、土や環境に影響の少ない除草剤です。

⑥は登録商標

パスタ普及会 日産化学工業(株) アベンティス クロップサイエンス ジャパン(株) 〒100-0011 東京都千代田区内幸町1-1-1





地球もイキイキ
元気に育ち

ホクコーの水稲用除草剤

パピカ ®フロアブル	レインジャー ® 1キロ 粒剤 36	イネグリーン ® 1キロ 粒剤 75 D粒剤 51
パピカ ® 1キロ粒剤 36	レインジャー ® 1キロ 粒剤 51	バトル ® 1キロ 粒剤
クサメッツ ®フロアブル	ユニハーブ ®フロアブル	マイキープ ® 1キロ粒剤

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。

JAグループ
農 協 経 済 連



北興化学工業株式会社
〒103-8341 東京都中央区日本橋本石町4-4-20

平成11年度水稻作関係

除草剤試験成績概要

財団法人 日本植物調節剤研究協会 技術部

平成11年度水稻作関係除草剤試験成績中央検討会は、平成11年12月9日、10日の2日間、池之端文化センターにおいて開催された。なお、適-1試験は、これに先立ち平成11年10月15日植調会館会議室にて開催された。ここに、これらの成果の概要を報告する。

1) 第1次適用性試験(適-1)成績について

平成11年度の適-1試験は、北海道地域(植調北海道試験地)、東北地域(植調古川試験地)、関東地域(植調研究所)、近畿地域(植調滋賀試験地)、中国地域(植調広島第一試験地)、九州地域(植調福岡試験地)の全国6地域で28薬剤(のべ89点)について実施した。その判定結果は、第1表のとおりである。

2) 第2次適用性試験(適-2)成績について

平成11年度全国で実施した試験の総点数は、のべ1,352点であった。その内訳は、II-1(移植前土壌混和处理)2剤8点、II-2(移植前後土壌処理)10剤68点、II-3(移植後土壌処理)13剤96点、II-5(適用時期拡大)8剤59点、II-6(特殊雑草防除)のべ68剤140点、III(直播栽培用)8剤30点、IV(畦畔雑草

用)6剤32点、V(耕起前雑草用)1剤5点、不耕起栽培用2剤4点、VI(休耕田用)1剤4点、VII-1(初期一発処理剤)13剤124点、VII-2(初・中期一発処理剤)63剤554点、VII-3(長期持続型一発処理剤)2剤10点、IX(一年生持続型除草剤)7剤66点、X(0.5kgおよび0.25kg粒剤)12剤152点であった。これら適-2試験の判定結果は第2表のとおりである。

3) ジャンボ剤適用性試験成績について

平成11年度全国で実施したジャンボ剤適用性試験は、のべ491点であった。この内訳はII-2(移植前後土壌処理)3剤53点、II-3(移植後土壌処理)2剤38点、II-5(適用時期拡大)1剤5点、II-6(特殊雑草防除)のべ7剤17点、VII(一発処理剤)25剤315点、IX(一年生持続型除草剤)4剤63点であった。これら適用性試験の判定結果は第3表のとおりである。

第1表 平成11年度 水稻作関係除草剤適-1 試験成績判定結果一覧

注) 判定欄の記入については、◎:極めて有望, ○:有望, □可能性有り, △:再検討, ×:見込みなし を表す。

No.	薬剤名・剤型 有効成分及び含有率(%) [委託者]	試験実施場所別総合評価						中央判定結果 [今後の課題等]
		北海道	古川	植調研	滋賀	広島1	福岡	
1	KPP-2008 乳 ベントキサリ:4 ブタロル:12 [科研]		○	○		○		移植前土壌混和処理剤として ○ 移植前(〜4日) 発生前
2	KUH-992-0.25kg 粒 ベントキサリ:6 プロモテド:24 [カミ化]	○	○	□	□	□	○	移植後土壌処理剤として ○ ノビエ・ホタルイ:前(+1)〜1.0L
3	MKH-244 フロアブル 新規(未):1.4 [三菱]	△	□	□	□	□	□	移植後土壌処理剤として □ ノビエ:前(+3)〜1.0L ・混合剤化と薬量について
4	OK-701 フロアブル 新規(未):2.4 (W/V) [大塚化学]	△	□	□		□	△	移植後土壌処理剤として □ ノビエ:前(+0)〜1.5L ・混合剤の母剤として薬量の検討
5	OK-704 フロアブル OK-701(未):2.4 (W/V) 既知:7 [大塚化学]	□	□	□		△		北海道・東北:土壌処理剤として □ 関東・中国:一年生持続型除草剤として □ ノビエ・ホタルイ:前(+0)〜1.5L ・処理時期と薬害の検討
6	OK-705 フロアブル OK-701(未):2.4 (W/V) 既知:24 [大塚化学]	△	□	○		□		一年生持続型除草剤として 北海道・東北:△ 関東, 中国:□ ノビエ・ホタルイ:前(+0)〜1.5L ・砂壤土での薬害について
7	OK-706 フロアブル OK-701(未):2.4 (W/V) 既知:18 [大塚化学]	○	○	○		○		一年生持続型除草剤として ○ ノビエ・ホタルイ:前(+0)〜1.5L
8	SW-992-1kg 粒 HSA-961:2 ベントキサリ(SB-500):2 [三共]	□	□	□	○	○	□	一年生持続型除草剤として 北海道・東北:△ 関東以西:□ ノビエ・ホタルイ:前(+0)〜2.0L ・効果の変動について
9	MK-243S-0.5kg 粒 インダノファン:2.4 ベントキサリ(SB-500):4 [三菱・SDS]	○	□	□	○	□	□	一年生持続型除草剤として □ ノビエ・ホタルイ:始(+3)〜2.0L ・処理の方法と効果について ・薬害の程度と回復性について
10	OK-703 顆粒水和 OK-701(未):30 (W/W) 既知:5.25 [大塚化学]	○	□	○		△	△	一発処理剤として □ ノビエ・ホタルイ:前(+3)〜2.0L ・+0及び砂壤土での薬害と回復性について
11	DKH-912 フロアブル ベンスルフロメチル:1.5 カフェンストロル:4.8 ブレンダカロル:7 ダフルン:9 (W/V) [サティオン・永光]	◎	□					一発処理剤として 北海道・東北:□ ノビエ:始(+5)〜2.0L ホタルイ:〜2.5L ・ノビエの葉齢限界、変動要因について

No.	薬剤名・剤型 有効成分及び含有率(%) [委託者]	試験実施場所別総合評価						中央判定結果 [今後の課題等]
		北海道	古川	植調研	滋賀	広島1	福岡	
12	DKH-912(L) フロアブル ベンシルフロニエチル:1.02 カフェントロール:4.8 プレチクロール:7 タムロン:9 (W/V) [デュポン・永光]			○	○	○	○	一発処理剤として 関東～九州:○ ノビエ・ホタルイ:始(+5)～2.5L ・ホタルイ2.5Lに対する効果の確認
13	HOK-992-1kg 粒 既知A:0.3 既知B:0.06 既知C:0.8 既知D:3.5 [北興]	○	□					一発処理剤として 北海道・東北:□ ノビエ:前(+5)～2.0L ホタルイ:～2.5L ・抑草期間とノビエ2.5Lに対する効果の確認
14	HOK-993-1kg 粒 既知A:0.51 既知B:0.8 既知C:3.5 [北興]			○	○	○	□	一発処理剤として 関東～九州:○ ノビエ・ホタルイ:前(+5)～2.5L ・高温条件下でのノビエ2.5Lに対する効果の確認
15	MY-100NC 顆粒水和 ピラリフロニエチル:2.6 ネキサクロメチン:7.5 クロメプロップ:44 [日産・全農・ロース油化]	○	○	□	○	○	□	一発処理剤として □ ノビエ・ホタルイ:始(+5)～2.5L ・ノビエ2.5Lに対する効果の確認
16	NC-396-1kg 粒 既知A:0.3 既知B:0.6 既知C:4 [日産]	◎	○	○	○	□	△	一発処理剤として 北海道～中国:○ 九州:□ ノビエ:始(+5)～2.5L ホタルイ:～2.5L ・温度条件と効果の安定性について ・薬害発生要因及び回復性について
17	SW-991-1kg 粒 カフェントロール:3 ピラリレート:12 ベンジピシロン(SB-500):2 タムロン:6 [三共・永光・SDS]	○	□	□	○	□	◎	一発処理剤として 北海道～関東:□ ノビエ:前(+5)～2.0L ホタルイ:～2.5L ・除草効果の安定性について 近畿～九州:○ ノビエ・ホタルイ:前～2.5L ・砂壌土での薬害と程度について
18	TH-798I フロアブル 新規:4 既知:1.8 [武田薬品]	□	○	○	○	□	□	一発処理剤として 北海道～中国:○ 九州:□ ノビエ・ホタルイ:始(+5)～2.5L ・薬害の発現条件と回復性について ・温度条件と効果の安定性について
19	MY-100NDC-1kg 粒 ピラリフロニエチル:0.3 ネキサクロメチン:0.6 シハロップフル:1.5 クロメプロップ:3.5 [日産・全農・ロース油化・タカミカ]	○	◎	◎	○	□	□	一発処理剤として 北海道～中国:○ ノビエ・ホタルイ:始(+5)～3.0L ・砂壌土での薬害と回復性について 九州:□ ノビエ:始～2.5L ・温度条件と効果の安定性について
20	NC-395 顆粒水和 既知A:3.5 既知B:33 既知C:5 [日産]	○	○	□	○	○	□	一発処理剤として 北海道～中国:○ ノビエ・ホタルイ:始(+5)～3.0L 九州:□ ノビエ:始～3.0L ・温度条件と効果の安定性について

No.	薬剤名・剤型 有効成分及び含有率(%) [委託者]	試験実施場所別総合評価						中央判定結果 [今後の課題等]
		北海道	古川	植調研	滋賀	広島1	福岡	
21	NOJ-102 顆粒水和 NOJ-100:18 ブレチクロ-ル:18 ピラジスルフロニチル:2.1 [ノバルティス]	○	◎	○	○	○	□	一発処理剤として 北海道～中国:○ ノビエ・ホタルイ:始(+5)～3.0L 九州:□ ノビエ:始～3.0L ・温度条件と効果の安定性について
22	NOJ-105 OF NOJ-100:18 ブレチクロ-ル:18 ペンシルフロニチル:3 アジムスルフロニ:0.6 [ノバルティス・デュポン]	○	○					一発処理剤として 北海道・東北:○ ノビエ・ホタルイ:始(+5)～3.0L
23	NOJ-106 OF NOJ-100:18 ブレチクロ-ル:18 ペンシルフロニチル:5.1 [ノバルティス・デュポン]				□	○	□	一発処理剤として 関東～九州:□ ノビエ:始(+5)～3.0L ホタルイ:～2.5L ・3.0葉期処理のノビエ、ホタルイに対する効果について
24	NOJ-107 顆粒水和 NOJ-100:22 ピラジスルフロニチル:2.6 ペントキサゾン:25 [日産]	◎	◎	○	○	□	□	一発処理剤として 北海道～中国:○ ノビエ・ホタルイ:始(+5)～3.0L 九州:□ ノビエ:始～2.5L ・温度条件と効果の安定性について ・砂壤土での薬害と回復性について
25	TH-913NCS フロアブル イマズスルフロニ:1.7 NOJ-100:2.8 タムロン:18 カフエンストロ-ル:2.8 [武田薬品]	◎	○	◎	○	◎	□	一発処理剤として 北海道～中国:◎ ノビエ・ホタルイ:始(+5)～3.0L 九州:□ ノビエ:始～3.0L ・温度条件と効果の安定性について
26	KUH-994-0.25kg 粒 ピリミナックメチル:1.2 ペンゾフェナップ:36 ペンゾピシロン(SB-500):8 [クミ化]	○	○	□	○	□	○	一発処理剤として □ ノビエ・ホタルイ:前(+1)～2.0L ・処理の方法と効果について ・砂壤土における薬害と回復性について
27	SB-551-1kg 粒 シハロップブチル:1.8 ペンゾピシロン(SB-500):2 MCPB:2.4 [*SDS・タウケミカル]	○	□	○	○	○	◎	茎葉兼土壌処理剤として ○ ノビエ・ホタルイ:～3.0L
28	MTB-951 糸状菌分生子 (<i>Drechsrela monoceras</i> MTB-951株) :3×10 ⁹ 個/a [三井化学]	△	○	□		□	□	ノビエ対象剤として □ ノビエ:始～1.5L ・ノビエの発消長と処理適期について

第2表 平成11年度 水稻関係除草剤適-2試験成績判定結果一覧

区 分	実 ・ 継	継
Ⅱ-1 移植前土壌混和处理	ブタクロ-ル 乳	KPP-2008 乳
Ⅱ-2 移植前後土壌処理 Ⅱ-2-(1)	NSK-863 フロアフル, RYH-115 フロアフル, SB-528 フロアフル	CG-113 EW
Ⅱ-2-(2)	DH-945 フロアフル, KPP-2005 ^④ フロアフル(少量), KPP-314 ^④ フロアフル, KPP-314-1kg 粒, NSK-859 フロアフル, RYH-118-1kg 粒	
Ⅱ-3 移植後土壌処理 Ⅱ-3-(1)	KUH-958 フロアフル, MY-100MS フロアフル, YH-562 フロアフル, <u>ブタクロ-ル-1kg 粒</u> , KH-183 粒	HSW-991 フロアフル, MKH-244 フロアフル
Ⅱ-3-(2)	DH-945フロアフル(少量), KUH-958フロアフル(少量) RYH-116-1kg 粒, SL-970 フロアフル(少量), YH-562 フロアフル(少量), TCG-128 乳	
Ⅱ-5 適用時期拡大	DEH-112 乳(EW), KUH-962-1kg 粒, <u>KUH-983-1kg 粒</u> , NS-177-1kg 粒, SW-973-1kg 粒, YH-591-1kg 粒	
Ⅱ-6-(1) クログワイ対象	<u>CH-907-1kg 粒</u> , DPX-84SC フロアフル, DPX-84SC ^④ フロアフル, <u>KK-961-1kg 粒</u> , <u>KK-962-1kg 粒</u> , <u>MY-100DA-1kg 粒</u> , <u>SB-528 フロアフル</u> , <u>TH-913ADE-1kg 粒</u>	HJ-943-1kg 粒, KPP-932 フロアフル, KUH-958 フロアフル, MY-100TS フロアフル, NBA-076a-1kg 粒, NBA-076b-1kg 粒, NBA-096a フロアフル, NBA-096b フロアフル
Ⅱ-6-(2) オモダガ対象	<u>AC-014A 粒</u> , <u>AC-014A^④ 粒</u> , <u>AC-014A-1kg 粒</u> , <u>CH-904D-1kg 粒</u> , <u>CH-906^④-1kg 粒</u> , <u>CH-907-1kg 粒</u> , DPX-47MN-1kg 粒, DPX-47ND-1kg 粒, DPX-84ND フロアフル, DPX-84ND ^④ フロアフル, <u>DPX-84SC フロアフル</u> , <u>DPX-84SC^④ フロアフル</u> , <u>KK-961-1kg 粒</u> , <u>KK-962-1kg 粒</u> , <u>MY-100DA-1kg 粒</u> , <u>NC-311KP^④ 顆粒水和</u> , <u>NC-339 顆粒水和</u> , <u>NC-367-1kg 粒</u> , <u>TH-913ADE-1kg 粒</u> , <u>NS-177-1kg 粒</u> , <u>SW-973-1kg 粒</u> , <u>DND-950 フロアフル</u>	HJ-943-1kg 粒, KPP-932 フロアフル, MY-100TS フロアフル, NBA-076a-1kg 粒, NBA-076b-1kg 粒, NBA-096a フロアフル, NBA-096b フロアフル, NBA-941-1kg 粒
Ⅱ-6-(5) シズイ対象	<u>MY-100TS フロアフル</u> , <u>NBA-076a-1kg 粒</u> , <u>SW-973-1kg 粒</u>	KPP-932 フロアフル

区 分	実 ・ 績	継
Ⅱ-6-(6) エゾノサヤヌカグサ対象	HSW-951 7077'ル, HSW-982 7077'ル, NBA-096a 7077'ル, NS-177-1kg 粒, SW-973-1kg 粒	
Ⅱ-6-(7) クサネム対象	KUH-911 液	
Ⅱ-6-(8) コウキヤガラ対象	SB-528 7077'ル	
Ⅱ-6-(9) キシウスズメノヒエ対象	DEH-112 乳(EW), DEH-112-1kg 粒, DEH-BAS 乳(ME)	AGH-925-1kg 粒, CH-904㊟ 7077'ル, NBA-941-1kg 粒, NC-311DCD-1kg 粒, NCH-903DEH-1kg 粒, SW-973-1kg 粒
Ⅱ-6-(10) その他	AC-014A 粒	SW-973-1kg 粒
Ⅲ 直播栽培	AGH-925-1kg 粒, KUH-931-1kg 粒, KUH-936B-1kg 粒, NBA-941-1kg 粒, NBA-942b-1kg 粒, モリネットSM-1kg 粒	CDS-941㊟ 7077'ル, NBA-942a-1kg 粒
Ⅳ 畦畔対象	F-702 液, KUH-913 液, MON-96A 液, MR-98 液	CG-231GT 7077'ル, SW-995 7077'ル
V 耕起前	F-702 液	不耕起移植: MON-96A 液 不耕起直播: WOC-01 液
Ⅵ 休耕田	MON-96A 液	
Ⅶ-1 初期一発処理剤	AGH-975 7077'ル, AJH-183-1kg 粒, AJH-184-1kg 粒, HJ-941-1kg 粒, HSW-951 7077'ル, NBA-076a-1kg 粒, NBA-076b-1kg 粒, NBA-096a 7077'ル, NBA-096b 7077'ル, NC-311KP㊟ 顆粒水和, NC-311KP-1kg 粒, PSS㊟D-1kg 粒, SB-556 7077'ル	

区 分	実 ・ 継	継
VII-2 初・中期一発処理剤	CDS-941 7077' ㈬, CH-904 7077' ㈬, CH-904㉔ 7077' ㈬, CH-906㉔-1kg 粒, DHN-971 7077' ㈬, DHN-971㉔ 7077' ㈬, <u>DKH-912㉔ 7077' ㈬</u> , DND-950 7077' ㈬, DND-950㉔ 7077' ㈬, DPX-84SC 7077' ㈬, DPX-84SC㉔ 7077' ㈬, HJ-943-1kg 粒, HSW-982 7077' ㈬, <u>HW-524 7077' ㈬</u> , KK-961-1kg 粒, KK-962-1kg 粒, KUH-972D 7077' ㈬, KUH-972K 7077' ㈬, KUH-985 7077' ㈬, <u>KUH-985㉔ 7077' ㈬</u> , <u>KUH-989D-1kg 粒</u> , <u>KUH-989K-1kg 粒</u> , MK-243D 7077' ㈬, MK-243D㉔ 7077' ㈬, MY-100D㉔-1kg 粒, <u>MY-100DC 7077' ㈬</u> , MY-100DC㉔ 7077' ㈬, MY-100N 顆粒水和, MY-100TS 7077' ㈬, NBA-941-1kg 粒, NBA-942b-1kg 粒, NC-311DCD-1kg 粒, NC-339 顆粒水和, NC-339-1kg 粒, NC-355 顆粒水和, <u>NC-385 顆粒水和</u> , <u>NC-390 7077' ㈬</u> , NCH-903DEH-1kg 粒, <u>NH-803 7077' ㈬</u> , <u>NH-804 7077' ㈬</u> , <u>NH-807-1kg 粒</u> , <u>NH-808-1kg 粒</u> , <u>NOJ-101-1kg 粒</u> , <u>NOJ-103-1kg 粒</u> , <u>NOJ-104-1kg 粒</u> , NSK-858 7077' ㈬, <u>NSK-858㉔ 7077' ㈬</u> , <u>NSK-858㉔-1kg 粒</u> , <u>NSK-858A-1kg 粒</u> , RH-631-1kg 粒, <u>SB-546 7077' ㈬</u> , TH-951 7077' ㈬, MY-100DA-1kg 粒	DKH-912 7077' ㈬, MY-100NC 顆粒水和, MY-100NDC-1kg 粒, NOJ-102 顆粒水和, NOJ-105 OF, NOJ-106 OF, SW-991-1kg 粒, NOJ-107 顆粒水和, NC-396-1kg 粒, NC-395 顆粒水和
VII-3 長期持続型一発処理剤	AC-014A-1kg 粒, NBA-074-1kg 粒	
IX 一年生持続型除草剤	AJH-181-1kg 粒, AJH-182-1kg 粒, CHG-948-1kg 粒, SB-533 7077' ㈬	MY-100MS 7077' ㈬, SW-992-1kg 粒, HOK-983 7077' ㈬
X 0.5kgおよび0.25kg粒剤	一発処理剤 <u>KUH-986D-0.25kg 粒</u> , <u>KUH-986K-0.25kg 粒</u> , MK-243D㉔-0.5kg 粒, MK-243DS-0.5kg 粒, MK-243N-0.5kg 粒, <u>NC-386-0.5kg 粒</u> , <u>NH-801-0.5kg 粒</u> , <u>NH-802-0.5kg 粒</u>	移植後土壌処理剤 KUH-992-0.25kg 粒 一発処理剤 AGH-987-0.5kg 粒, KUH-994-0.25kg 粒 一年生持続型除草剤 MK-243S-0.5kg 粒

第3表 平成11年度 水稻除草剤ジャンボ剤適用性試験成績判定結果一覧

区 分	実 ・ 継	継
Ⅱ-2 移植前後土壌処理	KPP-2005, SW-972	MAC-2
Ⅱ-3 移植後土壌処理	<u>SB-554</u>	ﾌﾞﾀｸﾛｰﾙ
Ⅱ-5 適用時期拡大	DEH-112	
Ⅱ-6-(1) クログワイ対象		NBA-092a, NBA-092b
Ⅱ-6-(2) オモダカ対象	<u>AC-014C</u>	HSA-971, NBA-092a, NBA-092b
Ⅱ-6-(6) エゾノサヤヌカグサ対象	<u>HSW-985(改)</u>	
VII 一発処理剤	AC-014C㊟, AGH-987, HSA-971, <u>HSW-984</u> , <u>HSW-985(改)</u> , KUH-975PD, <u>KUH-975PK</u> , NBA-092a, NBA-092b, NBA-093, <u>NBA-101</u> , NC-377㊟, <u>NH-805</u> , <u>NH-806</u> , SW-952, <u>TH-913CS</u> ,	MY-100DC㊟, MY-100DCA, MY-100NC, NC-381, NC-391㊟, NCH-903DEH, NH-906, AC-014C-50, KUH-994
IX 一年生持続型除草剤	<u>MY-100MS</u> , SW-965	SB-533, SW-993

注) : 1) 本年度新規に使用基準を作成されたものは、薬剤名にアンダーラインを記した。

2) 本年度は「実」、「継?」及び「中止」と判定された薬剤はなかった。

平成11年度 水稻関係除草剤使用基準一覧表

Ⅱ-1 移植前土壌混和处理

処理法	地域名	作期	ル・エ	一年 広葉 マハイ	オカリ	ウリカ	ミヤ ガヤ ワリ	ヘラオ タカ	クロ ワイ	オモ ガ	ヒムシ ロ	藻類 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌 土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
Ⅱ-1 2. プタロ-ル 乳	北海道												植代時 (～4)	30 ml/a						混和時の 水深3～5cm (関東・東海)
	東北		○	○	○												○	○	1	
	北陸																			
	関東 東海	早 普	●	●	●											●	●	●	2	
	近畿 中国	早 普																		
	四国	早 普																		
	九州	早 普																		

Ⅱ-1 3. KPP-2008 乳「継」

Ⅱ-2 移植前後土壌処理

Ⅱ-2-(1) (従来通り)

Ⅱ-2-(1) 1. CG-113 EW「継」

処理法	地域名	作期	ル・エ	一年 広葉 マハイ	オカリ	ウリカ	ミヤ ガヤ ワリ	ヘラオ タカ	クロ ワイ	オモ ガ	ヒムシ ロ	藻類 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌 土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
Ⅱ-2-(1) 2. NSK-863 7077% 乳	北海道		○1.5	○	○始								+0～+1.5L 植代後～4.5L +0～+1.5L	50 ml/a	○	○	○	○	2	* 移植前 処理は一発 処理型除草 剤の前処理 として使用 する (東北の砂壌土)
	東北		○1.5	○	○始										○*	○	○	○	1.5	
	北陸		○1.5	○	○始										○	○	○	○	2	
	関東 東海	早 普	○1.5 ○1.5	○	●始 ○始										○	○	○	○	1 2	
	近畿 中国	早 普	○1.5 ○1.5	○	○始 ○始										○	○	○	○	1 1.5	
	四国	早 普	○1.5 ○1.5	○	○始 ○始										○	○	○	○	1 1.5	
	九州	早 普	○1.5 ○1.5	○	○始 ○始										○	○	○	○	1 2	
															○	○	○	○		
															○	○	○	○		
															○	○	○	○		

処理法	地域名	作期	ル・エ	一年 広葉 マハイ	オカリ	ウリカ	ミヤ ガヤ ワリ	ヘラオ タカ	クロ ワイ	オモ ガ	ヒムシ ロ	藻類 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌 土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
Ⅱ-2-(2) 3. RYH-115 7077% 乳	北海道		○1	○	○始								+0～+5(L・11L) 植代後～4.5L +0～+5(L・11L)	50 ml/a	○	○	○	○	2	一発処理 型除草剤 の前処理 として使 用する。
	東北		○1	○	○始										●	●	○	○	1.5	
	北陸		○1	○	○始										●	●	○	○	2	
	関東 東海	早 普	●1 ○1	● ○	●始 ○始										●	○	○	○	1 2	
	近畿 中国	早 普	●1 ○1	● ○	●始 ○始										●	○	○	○	1.5	
	四国	早 普	●1 ○1	● ○	●始 ○始										●	○	○	○		
	九州	早 普	○1 ○1	○ ○	○始 ○始										○	○	○	○	2 1	
															○	○	○	○		
															○	○	○	○		
															○	○	○	○		

処理法	地域名	作期	ル・エ	一年広葉マハイ	オハイ	ウリカ	ミヤガリ	ハラオモダカ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	藻類表層剥離	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴土	埴土	減水深 cm/d	使用上の注意
Ⅱ-2-(1) 4. SB-528 7077 ^g /ℓ Ⅱ-6-(1) Ⅱ-6-(8) を併用	北海道	○1	○	○始				○始					植代後～-4, +0～+5 (ル・エIL)	50 ml/a	○	○	○	○	2	(5) (13) (36) (42)
	東北	○1	○	○始				○始	●前						○	○	○	○		
	北陸	○1	○	○始				○始							○	○	○	○		
	関東東海	早	○1	○	○始			○始							○	○	○	○	1	水口処理可能 (北海道・関東・東海～九州)
	普	○1	○	○始				○始	●前						○	○	○	○	2	
	近畿中国	早	○1	○	○始			○始							○	○	○	○	1	
	普	○1	○	○始				○始	●前						○	○	○	○	2	田植同時散布可能 (関東・東海～四国)
	四国	早	○1	○	○始			○始							○	○	○	○	1	
	普	○1	○	○始				○始	●前						○	○	○	○	2	
	九州	早	○1	○	○始			○始							○	○	○	○	1.5	
	普	○1	○	○始				○始	●前				●*	*ツリヤガラ発生始	○	○	○	○		

クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。(東北・関東・東海～九州)

Ⅱ-2-(2) (一発処理剤の前処理)

処理法	地域名	作期	ル・エ	一年広葉マハイ	オハイ	ウリカ	ミヤガリ	ハラオモダカ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	藻類表層剥離	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴土	埴土	減水深 cm/d	使用上の注意
Ⅱ-2-(2) 1. DH-945 7077 ^g /ℓ	北海道	○1.5	○										+0～ル・エIL.5L	50 ml/a	○	○	○	○	2	*移植前処理を疎く。
	東北	○1.5	○										植代後～-4, +0～ル・エIL.5L		○*	○*	○	○		水口散布可能 (東北)
	北陸	○1.5	○												○*	○*	○	○		一発処理型除草剤の前処理として使用する。
	関東東海	早	○1.5	○											○	○	○	○	1	
	普	○1.5	○												○*	○*	○	○	2	
	近畿中国	早	○1.5	○											○*	○	○	○	1	
	普	○1.5	○												○	○	○	○	2	
	四国	早	○1.5	○											○*	○	○	○	1	
	普	○1.5	○												○	○	○	○	2	
	九州	早	○1.5	○											○	○	○	○	1.5	
	普	○1.5	○												○	○	○	○	1	

処理法	地域名	作期	ル・エ	一年広葉マハイ	オハイ	ウリカ	ミヤガリ	ハラオモダカ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	藻類表層剥離	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴土	埴土	減水深 cm/d	使用上の注意
Ⅱ-2-(2)少量 2. KPP-2005(ED) 7077 ^g /ℓ	北海道	○1	○	○始									+0～+5(ル・エIL)	30 ml/a	○	○	○	○	2	一発処理型除草剤の前処理として少量散布(30ml/a)が可能。
	東北	○1	○	○始				○前					植代後～-4, +0～+5 (ル・エIL)		○	○	○	○	1.5	
	北陸	○1	○	○始				○始							●	○	○	○	2	
	関東東海	早	●1	●	●始			●始									●	●	1	
	普	○1	○	○始				○始							●	○	○	○	2	
	近畿中国	早	●1	●	●始			●始								●	●	●	1.5	
	普	○1	○	○始				○始								○	○	○	2	
	四国	早	●1	●	●始			●始								●	●	●	1.5	
	普	○1	○	○始				○始							○	○	○	○	2	
	九州	早	○1	○	○始			○始							○	○	○	○	1.5	
	普	○1	○	○始				○始							○	○	○	○		

処理法	地域名	作期	ル・エ	一年広葉マハイ	オハイ	ウリカ	ミヤガリ	ハラオモダカ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	藻類表層剥離	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴土	埴土	減水深 cm/d	使用上の注意
Ⅱ-2-(2) 3. KPP-314(L) 7077 ^g /ℓ	北海道	○始	○										植代後～-4, +0～+5 (ル・エ始)	50 ml/a	○	○	○	○	2	(5)
	東北	○始	○												○	○	○	○		水口処理可能
	北陸	○始	○												○	○	○	○		田植同時処理可能 (北陸・九州)
	関東東海	早	○始	○											○	○	○	○	1	
	普	○始	○												○	○	○	○	2	
	近畿中国	早	○始	○											○	○	○	○	1	
	普	○始	○												○	○	○	○	1.5	
	四国	早	○始	○											○	○	○	○	1	
	普	○始	○												○	○	○	○	1.5	
	九州	早	○始	○											○	○	○	○	1	
	普	○始	○												○	○	○	○	1.5	

	処理法	地域名	作期	ハ'エ	一年 広葉 マハ'イ	オハ'イ	ウリカ	ミ'ガ ヤ ワリ	ヘ'オモ ダ'カ	クロ'ク ワイ	オモ'ガ カ	ヒ'ムシ ロ	藻類 表層 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意	
Ⅱ-2-(2) 4. KPP-314 -1kg	土 壌 処 理 粒	北海道	○始	○										植代後～-4, +0～+5 (ハ'エ始)	100 g/a	○	○	○	○	2	(5) 田植同時 散布可能 (東北～ 九州)	
東北		○始	○										○			○	○	○				
北陸		○始	○										○			○	○	○				
関東 東海		早	○始	○												○	○	○	○			1
		普	○始	○												○	○	○	○			
近畿 中国		早	○始	○												○	○	○	○			1
		普	○始	○												○	○	○	○			
四国		早	○始	○										○		○	○	○	1			
		普	○始	○										○		○	○	○		1.5		
九州		早	○始	○										○		○	○	○	1			
		普	○始	○										○		○	○	○		1.5		

処理法	地域名	作期	ハ'エ	一年 広葉 マハ'イ	オハ'イ	ウリカ	ミ'ガ ヤ ワリ	ヘ'オモ ダ'カ	クロ'ク ワイ	オモ'ガ カ	ヒ'ムシ ロ	藻類 表層 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌土 1.5	壤 土	埴 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
II-2-(2) 5. NSK-859 7077 粉	土壌処理	北海道	○1	○	○始			○始					植代後～-4, +0～+5 (ハ'エ始)	50 ml/a	○	○	○	○	○	2	*移植前処 理を除く (関東・東海 ～四国の早期)
		東北	○1	○	○始	○始									○	○	○	○	○	1.5	
		北陸	○1	○	○始	○始									●	○	○	○	○	2	
		関東 東海	早 ○1	○	○始	○始									●*	○	○	○	○	1	
		普	○1	○	○始	○始									○	○	○	○	○	2	
		近畿 中国	早 ●1	●	●始	●始									●*	●	●	●	●	1.5	
		普	○1	○	○始	○始									○	○	○	○	○		
		四国	早 ●1	●	●始	●始									●*	●	●	●	●		
		普	○1	○	○始	○始									○	○	○	○	○		
		九州	早 ○1	○	○始	○始									○	○	○	○	○	2	
		普	○1	○	○始	○始									○	○	○	○	○	1	

処理法	地域名	作期	ハ'エ	一年 広葉 マハ'イ	オハ'イ	ウリカ	ミ'ガ ヤ ワリ	ヘ'オモ ダ'カ	クロ'ク ワイ	オモ'ガ カ	ヒ'ムシ ロ	藻類 表層 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌土 1.5	壤 土	埴 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
II-2-(2) 6. RYH-118 -1kg 粒	土壌処理	北海道	○1	○									+0～+5 (ハ'エ始)	100 g/a	○	○	○	○	○	2	(5) 一発処理型 除草剤の前 処理として 使用する。
		東北	○1	○											○	○	○	○	○	1.5	
		北陸	○1	○											○	○	○	○	○		
		関東 東海	早 ○1	○											○	○	○	○	○	1	
		普	○1	○											●*	●	●	●	●	2	
		近畿 中国	早 ●1	●											○	○	○	○	○	1	
		普	○1	○											○	○	○	○	○		
		四国	早 ●1	●											○	○	○	○	○		
		普	○1	○											○	○	○	○	○		
		九州	早 ○1	○											○	○	○	○	○		
		普	○1	○											○	○	○	○	○		

II-3 移植後土壌処理
II-3-(1) (従来通り)

II-3-(1) 1. HSW-991 7077 粉「継」

	処理法	地域名	作期	ハ'エ	一年 広葉 マハ'イ	オハ'イ	ウリカ	ミ'ガ ヤ ワリ	ヘ'オモ ダ'カ	クロ'ク ワイ	オモ'ガ カ	ヒ'ムシ ロ	藻類 表層 剥離		処理時期	使用・ 量・製品	砂 壌土 1.5	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意		
Ⅱ-3-(1) 2. KUH-958 7077 粉	土壌処理	北海道	○1	○	○始										植代後～-4, +0～+5 (ハ'エ 1IL)	50 ml/a	○	○	○	○	2	(5) *移植前処 理を除く (北陸)		
		東北	○1	○	○始	○前	●始								植代後～-4, +0～+7 (ハ'エ 1IL)		○	○	○	○	1.5			
		北陸	○1	○	○始	○始									植代後～-4, +0～+8 (ハ'エ 1IL)		○*	○	○	○	2			
		関東 東海	早 ○1	○	○始	○始									+0～+5 (ハ'エ 1IL)		○	○	○	○	1		水口処理 可能	
		普	○1	○	○始	○始											○	○	○	○	2			
		近畿 中国	早 ○1	○	○始	○始											○	○	○	○	1			田植同時 散布可能 (関東・東海)
		普	○1	○	○始	○始											○	○	○	○	2			
		四国	早 ○1	○	○始	○始												○	○	○	○		1	
		普	○1	○	○始	○始												○	○	○	○		2	
		九州	早 ○1	○	○始	○始													○	○	○		○	1.5
		普	○1	○	○始	○始													○	○	○		○	2

処理法	地域名	作期	バ'エ	一年広葉マハ'イ	オ'ルイ	ウ'リカ	ミ'ガ'リ	ヘ'ラ'モ'ダ'カ	クロ'グ'ワイ	オ'モ'ダ'カ	ヒ'ル'ム'シ'ロ	藻類表層剥離	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴土	埴土	減水深cm/d	使用上の注意
II-3-(1) 4. MY-100MS 7077' #	北海道		○1.5	○	○始	○始							+0~1/2 I. 5L	50 ml/a		○	○	○	1.5	田植同時散布可能 (関東・東海)
	東北		○1.5	○	○始	○始	○始									○	○	○		
	北陸		○1.5	○	○始	○始	○始									○	○	○		
	関東東海	早	●1.5	●	●始	●始	●始										●	●	1	
		普	○1.5	○	○始	○始	○始									●	○	○	2	
	近畿中国	早	●1.5	●	●始	●始	●始										●	●	1.5	
		普	○1.5	○	○始	○始	○始									●	○	○	1	
	四国	早	●1.5	●	●始	●始	●始										●	●	1.5	
		普	○1.5	○	○始	○始	○始									●	○	○	1	
	九州	早	○1.5	○	○始	○始	○始									○	○	○	1.5	
		普	○1.5	○	○始	○始	○始									●	○	○	2	

処理法	地域名	作期	バ'エ	一年広葉マハ'イ	オ'ルイ	ウ'リカ	ミ'ガ'リ	ヘ'ラ'モ'ダ'カ	クロ'グ'ワイ	オ'モ'ダ'カ	ヒ'ル'ム'シ'ロ	藻類表層剥離	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴土	埴土	減水深cm/d	使用上の注意
II-3-(1) 5. YH-562 7077' #	北海道		○1	○	○始			○始				○前	+0~+5 (/2' I. 1L)	50 ml/a		○	○	○	2	田植同時散布可能 (東北~四国)
	東北		○1.5	○	○始			○始				○前	+0~1/2 I. 5L		○	○	○	○		
	北陸		○1.5	○	○始							○前			○	○	○	○		
	関東東海	早	○1	○	○始							●前	+0~+5 (/2' I. 1L)		○	○	○	○		
		普	○1.5	○	○始							○前	+0~+5 (/2' I. 1L)		○	○	○	○		
	近畿中国	早	●1	●	●始								+0~+5 (/2' I. 1L)			●	●	●	1	
		普	○1	○	○始										○	○	○	○		
	四国	早	●1	●	●始											●	●	●		
		普	○1	○	○始										○	○	○	○		
	九州	早	○1	○	○始											○	○	○		
		普	○1	○	○始											○	○	○		

処理法	地域名	作期	バ'エ	一年広葉マハ'イ	オ'ルイ	ウ'リカ	ミ'ガ'リ	ヘ'ラ'モ'ダ'カ	クロ'グ'ワイ	オ'モ'ダ'カ	ヒ'ル'ム'シ'ロ	藻類表層剥離	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴土	埴土	減水深cm/d	使用上の注意
II-3-(1) 6. ア'タ'ロ' # -1kg 粒	北海道													100 g/a						
	東北																			
	北陸																			
	関東東海	早																		
		普	●1	●	●始								+1~+5 (/2' I. 1L)		●	●	●	●	2	
	近畿中国	早																		
		普																		
	四国	早																		
		普																		
	九州	早																		
		普																		

処理法	地域名	作期	バ'エ	一年広葉マハ'イ	オ'ルイ	ウ'リカ	ミ'ガ'リ	ヘ'ラ'モ'ダ'カ	クロ'グ'ワイ	オ'モ'ダ'カ	ヒ'ル'ム'シ'ロ	藻類表層剥離	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴土	埴土	減水深cm/d	使用上の注意
II-3-(1) 7. KH-183 粒	北海道		○1.5	○	○始			○前				●前	+5~1/2 I. 5L	300 g/a	○	○	○	○	2	
	東北		○1.5	○	○始			○前				●始			○	○	○	○		
	北陸		○1.5	○	○始			○前							○	○	○	○		
	関東東海	早																		
		普	○1.5	○												○	○	○		
	近畿中国	早																		
		普	○1.5	○	●始							●始			○	○	○	○		
	四国	早																		
		普	○1.5	○	●始							●始			○	○	○	○		
	九州	早																		
		普	○1.5	○	●始										○	○	○	○		

II-3-(1) 未3. MKH-244 ア'ロ'ア' # 「継」

II-3-(2) (一発処理剤の前処理)

処理法	地域名	作期	1/2 E	一年広葉マナ	ホトメ	ウリカ	ミヤガリ	ヘラオモダ	クログワイ	オモダ	ヒメシロ	藻類表層剥離	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	堆土	堆土	減水深 cm/d	使用上の注意
II-3-(2) 少量 1. DH-945 7077g/l	土壌処理	北海道	○	○									+0~+5 (/t IIL)	30 ml/a	○	○	○	○	1.5	一発処理型 除草剤の前 処理として 少量散布 (30ml/a) が可能
		東北	○	○											●	●	○	○	1.5	
		北陸	○	○											○	○	○	○	2	
		関東 東海	早	○	○										○	○	○	○	1	
			普	○	○										○	○	○	○	2	
		近畿 中国	早	○	○										○	○	○	○	1	
			普	○	○										○	○	○	○	2	
		四国	早	○	○										○	○	○	○	1	
			普	○	○										○	○	○	○	2	
		九州	早	○	○										○	○	○	○		
			普	○	○										○	○	○	○	1.5	

処理法	地域名	作期	1/2 E	一年広葉マナ	ホトメ	ウリカ	ミヤガリ	ヘラオモダ	クログワイ	オモダ	ヒメシロ	藻類表層剥離	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	堆土	堆土	減水深 cm/d	使用上の注意
II-3-(2) 少量 2. KUH-958 7077g/l	土壌処理	北海道	○	○	○始								+0~+5 (/t IIL)	30 ml/a	○	1.5	○	○	2	一発処理型 除草剤の前 処理として 少量散布 (30ml/a) が 可能。
		東北	○	○	○始	●前									●	●	○	○	1.5	
		北陸	○	○	○始	●始									○	○	○	○	1	
		関東 東海	早	○	○	○始	○始								○	○	○	○	1	
			普	●	●	●始	●始								●	●	●	●	2	
		近畿 中国	早	●	●	●始	●始								○	○	○	○	1.5	
			普	○	○	○始	○始								○	○	○	○		
		四国	早	●	●	●始	●始								○	○	○	○		
			普	○	○	○始	○始								○	○	○	○		
		九州	早	●	●	●始	●始								○	○	○	○	2	
			普	○	○	○始	○始								○	○	○	○	1.5	

処理法	地域名	作期	1/2 E	一年広葉マナ	ホトメ	ウリカ	ミヤガリ	ヘラオモダ	クログワイ	オモダ	ヒメシロ	藻類表層剥離	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	堆土	堆土	減水深 cm/d	使用上の注意
II-3-(2) 3. RYH-116 -1kg 粒	土壌処理	北海道	○	○	○始	○始			○始				+0~+5 (/t IIL)	100 g/a	○	1.5	○	○	2	(5) 一発処理型 除草剤の前 処理として 使用する。
		東北	○	○	○始		○前	○始							○	○	○	○		
		北陸	○	○	○始	○始	○始								○	○	○	○	1	
		関東 東海	早	○	○	○始	○始	○始							○	○	○	○		
			普	○	○	○始	○始	○始							○	○	○	○	2	
		近畿 中国	早	○	○	○始	○始	○始							○	○	○	○	1	
			普	○	○	○始	○始	○始							○	○	○	○		
		四国	早	○	○	○始	○始	○始							○	○	○	○		
			普	○	○	○始	○始	○始							○	○	○	○		
		九州	早	○	○	○始									○	○	○	○	1.5	
			普	○	○	○始	○始	○始							○	○	○	○	1	

処理法	地域名	作期	1/2 E	一年広葉マナ	ホトメ	ウリカ	ミヤガリ	ヘラオモダ	クログワイ	オモダ	ヒメシロ	藻類表層剥離	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	堆土	堆土	減水深 cm/d	使用上の注意
II-2-(2) 少量 として 4. SL-970 7077g/l	土壌処理	北海道	●前	○	●前								+0~+5 (/t IIL)	30 ml/a	○	1.5	○	○	2	一発処理型 除草剤の前 処理として 少量散布 (30ml/a) が 可能。
		東北	○	○	○始										○	○	○	○	1.5	
		北陸	○	○	○始								+0~+5 (/t IIL)	30 ml/a	○	○	○	○	2	
		関東 東海	早	○	○	○始									○	○	○	○	1	
			普	○	○	○始									○	○	○	○	2	
		近畿 中国	早	●	●	●始							+0~+5 (/t IIL) ※砂壌土は /t IIL まで	30 ml/a	○	○	○	○	1.5	
			普	○	○	○始									○	○	○	○		
		四国	早	●	●	●始									○	○	○	○		
			普	○	○	○始									○	○	○	○		
		九州	早												○	○	○	○		
			普												○	○	○	○		

処理法	地域名	作期	ル'エ	一年 広葉 マハ'イ	オ'カ'イ	ウ'カ'イ	ミ'カ'イ	ヘ'オ'カ'イ	クロ'カ'イ	オ'カ'イ	ヒ'カ'イ	蒸類 表層 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	埴 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
II-3-(2)少量 5.YH-562 7077'ル	北海道	早	○1	○	○始			●前				○前	+0~+5 (/t' I1L)	30 ml/a	●	○	○	○	○	2	一発処理型 除草剤の前 処理として (30ml/a) が可能。 (北海道 ~北陸)
	東北	早	○1	○	○始			○始							●	●	○	○	○	1.5	
	北陸	早	○1	○	○始										●	●	○	○	○	2	
	関東 東海	早																			
	近畿 中国	早																			
	四国	早																			
	九州	早																			
		普																			

処理法	地域名	作期	ル'エ	一年 広葉 マハ'イ	オ'カ'イ	ウ'カ'イ	ミ'カ'イ	ヘ'オ'カ'イ	クロ'カ'イ	オ'カ'イ	ヒ'カ'イ	蒸類 表層 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	埴 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
II-3-(2) 6.TCG-128 乳	北海道	早	○1	○	○始								+0~+5 (/t' I1L)	30 ml/a	○	○	○	○	○	2	(6) 一発処理型 除草剤の前 処理として 使用する。
	東北	早	○1	○	○始										○	○	○	○	○	1.5	
	北陸	早	○1	○	○始												○	○	○	1	
	関東 東海	早	○1	○	○前												○	○	○	2	
	近畿 中国	早	○1	○	○前												○	○	○	1	
	四国	早	○1	○	○前												○	○	○	2	
	九州	早	○1	○	○始												○	○	○	1	
		普	○1	○	○始												○	○	○	2	
																	○	○	○	2	
																	○	○	○	1.5	

II-5 適用時期拡大

処理法	地域名	作期	ル'エ	一年 広葉 マハ'イ	オ'カ'イ	ウ'カ'イ	ミ'カ'イ	ヘ'オ'カ'イ	クロ'カ'イ	オ'カ'イ	ヒ'カ'イ	蒸類 表層 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	埴 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
II-5 1.DEH-112 乳(EW) II-6-(9) を併用	北海道	早	○5										+25~+40 (/t' I2L~5L)	10 ml/a 注	○	○	○	○	○	2	(21) (49) 使用直前に 希釈する。 *再生茎3~ 6葉期(関東・ 東海~九州), 畦畔からの 葡萄茎1m以内 (近畿・中国~ 九州)
	東北	早	○5										+25~+40 (/t' I3L~5L)		○	○	○	○	○		
	北陸	早	○5												○	○	○	○	○		
	関東 東海	早	○5												○	○	○	○	○		
	近畿 中国	早	○5												○	○	○	○	○	1	
	四国	早	○5												○	○	○	○	○	1.5	
	九州	早	○5												○	○	○	○	○	2	
		普	○5												○	○	○	○	○		
															○	○	○	○	○		
															○	○	○	○	○		

注) 散布水量2.5~10e/a ただし、2.5~5e散布は少量散布用ノズルを使用、展着剤加用

処理法	地域名	作期	ル'エ	一年 広葉 マハ'イ	オ'カ'イ	ウ'カ'イ	ミ'カ'イ	ヘ'オ'カ'イ	クロ'カ'イ	オ'カ'イ	ヒ'カ'イ	蒸類 表層 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	埴 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
II-5 3.KUH-962 -1kg粒 土壌処理	北海道	早	○3	○	○2	○2		○2				○始	+20~+30 (/t' I3L 1e5L以降)	100 g/a	○	○	○	○	○	2	(1) (8) (9) (21)
	東北	早	○3	○	○2	○2	○2					○前			○	○	○	○	○		
	北陸	早	○3	○	○3	○2	○2					●始			○	○	○	○	○		
	関東 東海	早	○3.5	○	○3	○3	○3					○始	+20~+30 (/t' I3.5L 1e5L以降)		○	○	○	○	○		
	近畿 中国	早	○3.5	○	○3	○4	○4					○始			○	○	○	○	○	1	
	四国	早	○3.5	○	○3	○4	○4					○始			○	○	○	○	○	2	
	九州	早	○3.5	○	○3	○3	○3					○始			○	○	○	○	○	1.5	
		普													○	○	○	○	○		
															○	○	○	○	○		
															○	○	○	○	○		

	処理法	地域名	作期	ノ・エ	一年 広葉 マハ	オハ	ウリカ	ミヤ ガヤ	ヘラ ダガ	クロ ワイ	オモ ガ	ヒム シ	藻類 剥離		処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壊 土	墳 土	墳 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意		
Ⅱ-5 4. KUH-983 -1kg 粒	土壌処理	北海道		● 4											+15～+35 (ノ・エ 12～4L)	100 g/a		●	●	●	2	(2 1)		
		東北		● 3.5												+15～+30 (ノ・エ 12～3.5L)				●	●		1	
		北陸		● 3.5												+15～+35 (ノ・エ 13.5L)			●	●	●		1.5	
		関東 東海	早													+15～+35 (ノ・エ 14L)				●	●		●	2
		普	● 4																●	●	●			
		近畿 中国	早																					
		普	● 4																●	●	●			
		四国	早																					
		普	● 4																	●	●		●	
		九州	早														+15～+35 (ノ・エ 12～3.5L)							
普	● 3.5																●	●	●	●	1			

	処理法	地域名	作期	ノ・エ	一年 広葉 マツハ	オハ	ウリカ	ミヤ ガヤ	ヘラ ダガ	クロ ワイ	オモ ガ	ヒム シ	藻類 剥離		処理時期	使用 量・ 製品	砂 土 1.5	壊 土 1.5	壊 土 1.5	壊 土 1.5	減水 深 cm/d	使用上の 注意		
Ⅱ-5 5. NS-177 -1kg 粒 Ⅱ-6-(2) Ⅱ-6-(6) を併用	基葉兼 土壌処理	北海道		○2.5	○	○2	○2		○2		●始	○発生 期	○始	●	+20～+25 (ノ・エ 12.5L 145L以降)	100 g/a	○	○	○	○	2	(1) (8) (9)		
		東北		○2.5	○	○2	○2	○始	○始	○始	●始	●期		○**	+20～+25 (ノ・エ 13L, 145L以降)		○	○	○	○	1.5	(2) (3) (8)		
		北陸		○3	○	○2	○2	○2					●始		(ノ・エ 13L, 145L以降)			○	○	○	○	2	(4) (0) (4)	
		関東 東海	早	○2	○	○2	○2	○2					○発生 期	○始		(ノ・エ 12L, 145L以降)			○	○	○	1	(4) (2) (4)	
		普	○2.5	○	○3	○3	○3	○2	○始	●始	●期	○始		(ノ・エ 12.5L, 145L以降)			○	○	○	○	2	(4) (3)		
		近畿 中国	早	○3	○	○3	○3	○3					○発生 期	○始		+20～+25 (ノ・エ 13L 145L以降)			○	○	○	○	1	
		普	○3	○	○3	○3	○3		○始	●始	●期	○始					●		○	○	○			
		四国	早	○3	○	○3	○3	○3					○発生 期	○始					○	○	○			
		普	○3	○	○3	○3	○3		○始	●始	●期	○始					●		○	○	○			
		九州	早													*Ⅱノ・サヤスカガ・サ 2L **サイズ :発生時-草丈3cm								

クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。(東北, 関東・東海~四国)

		処理法	地域名	作期	ノ・エ	一年 広葉 マツハ	オハ	ウリカ	ミヤ ガヤ	ヘラ ダガ	クロ ワイ	オモ ガ	ヒム シ	藻類 剥離		処理時期	使用 量・ 製品	砂 土 1.5	壊 土 1.5	壊 土 1.5	減水 深 cm/d	使用上の 注意			
Ⅱ-5 6. SW-973 -1kg 粒 Ⅱ-6-(2) Ⅱ-6-(5) Ⅱ-6-(6) を併用	基葉兼 土壌処理	事業兼 土壌処理	北海道	●3.5	●	●3	●3					●始	●発生 期	●始	●*	+20~+30 (ノ・エ 13.5L, 145L以降)	100 g/a	●	●	●	2	(1) (8) (9)			
			東北	○3.5	○	○2		○2	●始	○始	●始				●**		(ノ・エ 13.5L, 145L以降)		○	○	○	1.5	(21) (38)		
			北陸	○3	○	○2	○2	○2										(ノ・エ 13L, 145L以降)		○	○	○	2	(40) (42)	
			関東 東海	早	○3.5	○	○3	○3	○3							○始		+20~+30 (ノ・エ 13.5L, 145L以降)		●	●	○	1		
			普	○3.5	○	○3	○3	○3			○始	●始			○始					○*	○	○	1.5		
			近畿 中国	早	●3.5	●	●2	●2	●2						●発生 期	○始					●	●	●		※砂壌土は 145Lまで (関東・東海)
			普	○3.5	○	○3	○3	○3			○始	●始			○始					●	○	○			
			四国	早	●3.5	●	●2	●2	●2						●発生 期	○始					●	●	●		
			普	○3.5	○	○3	○3	○3			○始	●始			○始					●	○	○			
			九州	早														※エノノサカノサ 2L ※サズイ 発生後・厚さ3cm							

クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。(東北, 関東・東海~四国)

	処理法	地域名	作期	ノ・エ	一年 広葉 マハ	オハ	ウリカ	ミヤ ガヤ	ヘラ ダガ	クロ ワイ	オモ ガ	ヒム シ	藻類 剥離		処理時期	使用 量・ 製品	砂 土 1.5	壊 土 1.5	埋 土 1.5	埋 土 1.5	減水 深 cm/d	使用上の 注意	
II-5 7. YH-591 -1kg 粒	基葉兼 土壌処理	北海道		○3	○	○2	○2						○始		+20~+30 (ノ・エ 13L 145L以降)	100 g/a	○	○	○	2	(1) (8) (9) (21)		
		東北		○3	○	○2	○始	○始									●	●	○	○	1.5		
		北陸		○3	○	○2	○2	○始						○前			○	○	○	○	2		
		関東 東海	早	●2.5	●	●3	●3	●3	●3					●始	(ノ・エ 12.5L, 145L以降)	+20~+25				●	●	○	1
		普	○3	○	○3	○3	○3	○3					○始	(ノ・エ 13L, 145L以降)	+20~+25		○	○	○	○	2		
		近畿 中国	早													+20~+30 (ノ・エ 13L 145L以降)							1
		普	○3	○	○3	○3	○3	○3					○始						○	○	○		
		四国	早											○始									
		普	○3	○	○3	○3	○3	○3										○	○	○			
		九州	早																				
普																							

II-6-(1) クログワイ対象

II-6-(1) 1.CH-907-1kg 粒「実・継」 VII-2の使用基準に併用

	処理法	地域名	作期	バ・エ	一年広葉マハイ	おが	ウリカ	ミヤガ	ハオモダカ	クログワイ	オモダカ	ヒルシロ	藻類剥離	セリ	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴土	埴土	減水深cm/d	使用上の注意
VII-2 CH-907 -1kg 粒 II-6-(2) を併用	茎葉兼土壌処理	北海道		○2.5	○	○2	○2		○2		●前	○	○前	○再生	+5～/バ I2.5L 湛水周縁部 散布可能	100 g/a	○	○	○	○	2	(34) (38) (42)
		東北		○2.5	○	○2	○2	○2	○2			○発生期	○前	○前			○	○	○	○		
		北陸		○2.5	○	○2	○2	○2	○2			○		○始			○	○	○	○		
		関東	早	○2.5	○	○2	○2	○2				○発生期	○前	○再生			○	○	○	○		
		東海	普	○2.5	○	○2	○2	○2				○発生期	○前	○再生			○	○	○	○		
		近畿 中国	早	○2.5	○	○2	○2	○2				○発生期	○前	○始			○	○	○	○	1	
			普	○2.5	○	○2	○2	○2		●前		○発生期	○前	○			○	○	○	○	2	
		四国	早	○2.5	○	○2	○2	○2				○発生期	○前	○再生			○	○	○	○	1	
			普	○2.5	○	○2	○2	○2		●前		○発生期	○前	○再生			○	○	○	○	2	
		九州	早	○2.5	○	○2	○2	○2				○発生期	○前	○再生			○	○	○	○	1.5	
			普	○2.5	○	○2	○2	○2		●前	●前	○発生期	○前	○始			○	○	○	○	2	

クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。(近畿・中国～九州)
オモダカに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。(九州)

II-6-(1) 2.DPX-84SC フロアブル「実・継」 VII-2 No.12 参照

II-6-(1) 3.DPX-84SC① フロアブル「実・継」 VII-2 No.13 参照

II-6-(1) 4.HJ-943-1kg フロアブル「継」

II-6-(1) 5.KK-961-1kg 粒「実・継」 VII-2 No.17 参照

II-6-(1) 6.KK-962-1kg 粒「実・継」 VII-2 No.18 参照

II-6-(1) 7.KPP-932 フロアブル「継」

II-6-(1) 8.KUH-958 フロアブル「継」

II-6-(1) 9.MY-100DA-1kg 粒「実・継」 VII-2 No.62 参照

II-6-(1) 10.MY-100TS フロアブル「継」

II-6-(1) 11.NBA-076a-1kg 粒「継」

II-6-(1) 12.NBA-076b-1kg 粒「継」

II-6-(1) 13.NBA-096a フロアブル「継」

II-6-(1) 14.NBA-096b フロアブル「継」

II-6-(1) 15.SB-528 フロアブル「実・継」 II-2-(1) No.4 参照

II-6-(1) 16.TH-913ADE-1kg 粒「実・継」 VII-2の使用基準に併用

	処理法	地域名	作期	バ・エ	一年広葉マハイ	おが	ウリカ	ミヤガ	ハオモダカ	クログワイ	オモダカ	ヒルシロ	藻類剥離	セリ	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴土	埴土	減水深cm/d	使用上の注意
VII-2 TH-913ADE -1kg 粒 II-6-(2) を併用	茎葉兼土壌処理	北海道		○3	○	○2	○2		○2		●前	○	○前	○再生	+5～/バ I3L *:イッ/サヤカ グサ 2L	100 g/a	○	○	○	○	2	(28) (34) (38) (42)
		東北		○3	○	○2	○2	○2	○2			○発生期	○前	○前			○	○	○	○		
		北陸		○3	○	○2	○2	○2	○2			○		○始			○	○	○	○		
		関東	早	○3	○	○2	○2	○2				○発生期	○前	○再生			○	○	○	○		
		東海	普	○3	○	○2	○2	○2				○発生期	○前	○再生			○	○	○	○		
		近畿 中国	早	○3	○	○2	○2	○2				○発生期	○前	○始			○	○	○	○	1	
			普	○3	○	○2	○2	○2		●前	●前	○発生期	○前	○			○	○	○	○	2	
		四国	早	○3	○	○2	○2	○2				○発生期	○前	○再生			○	○	○	○	1	
			普	○3	○	○2	○2	○2		●前	●前	○発生期	○前	○再生			○	○	○	○	2	
		九州	早	○3	○	○2		○2				○発生期	○前	○再生			○	○	○	○	1.5	
			普	○3	○	○2	○2	○2		●前		○発生期	○前	○始			○	○	○	○		

クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。(近畿・中国～九州)
オモダカに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。(近畿・中国・四国)

II-6-(2) オモダカ対象

II-6-(2) 1.AC-014A 粒「実・継」 VII-3の使用基準に併用

処理法	地域名	作期	ハ' E	一年 広葉 マツハ'イ	オ' R	ウ' R	ミ' R	ヘ' R	クロ' R	オ' R	ヒ' R	葉類 表層 剥離	セリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-3 AC-014A II-6-(10) を併用	粒 土壌処理	北海道		○1.5	○	○2	○2	○2				○前	○再生前	+0〜ハ' E1.5L	300 g/a	○	○	○	○	2	(28) (38) 田植同時 散布可能 (近畿・中国 東北・東海)
		東北		○1.5	○	○2	○2	○2	○2	●前	○発生期	○前	○再生前								
		北陸		○1.5	○	○2	○2	○2	○2		○前	○前	○再生前								
	土壌処理	関東 東海	早	○1.5	○	○始	○始	○始			○発生期	○前	○再生前	*クロ' R :子葉期		○	○	○	○		
			普	○1.5	○	○始	○始	○始			○発生期	○前	○再生前								
		近畿 中国	早																		
			普																		
		四国	早																		
			普																		
		九州	早																		
			普																		

オモダカに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。(東北)

II-6-(2) 2.AC-014AⒶ 粒「実・継」 VII-3の使用基準に併用

処理法	地域名	作期	ハ' E	一年 広葉 マツハ'イ	オ' R	ウ' R	ミ' R	ヘ' R	クロ' R	オ' R	ヒ' R	葉類 表層 剥離	セリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-3 AC-014AⒶ 粒 土壌処理	北海道														300 g/a						(34) (38) (41) 田植同時 散布可能 (近畿・中国 〜九州 :九州の砂壌土を指す)
		東北																			
		北陸																			
	土壌処理	関東 東海	早											+0〜ハ' E1.5L		○	○	○	○	1	
			普																		
		近畿 中国	早	○1.5	○	○始	○始	○始			○発生期	○前									
			普	○1.5	○	○始	○始	○始		●前	○発生期	○前									
		四国	早	○1.5	○	○始	○始	○始			○発生期	○前									
			普	○1.5	○	○始	○始	○始		●前	○発生期	○前	○再生前								
	九州	早	○1.5	○	○2	○2	○2				○発生期	○前									
		普	○1.5	○	○2	○2	○2			●前	○発生期	○前	○始								

オモダカに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。(近畿・中国〜九州)

II-6-(2) 3.AC-014A-1kg 粒「実・継」 VII-3 No.1 参照

II-6-(2) 4.CH-904D-1kg 粒「実・継」 VII-2の使用基準に併用

処理法	地域名	作期	ハ' E	一年 広葉 マツハ'イ	オ' R	ウ' R	ミ' R	ヘ' R	クロ' R	オ' R	ヒ' R	葉類 表層 剥離	セリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 CH-904D -1kg 粒 土壌処理	北海道														100 g/a						(28) (34) (36) (38) (42)
		東北																			
		北陸		○3	○	○2	○2	○2				○前	○始								
	土壌処理	関東 東海	早	○3	○	○2	○2	○2			○発生期	○前	○再生前	+5〜ハ' E3L		○	○	○	○	1	
			普	○3	○	○2	○2	○2		●始	○発生期	○前	○再生前								
		近畿 中国	早	○3	○	○2	○2	○2			○発生期	○前	○始								
			普	○3	○	○2	○2	○2	○始		○発生期	○前	○始								
		四国	早	○3	○	○2	○2	○2			○発生期	○前	○再生前								
			普	○3	○	○2	○2	○2	○始		○発生期	○前	○再生前								
	九州	早	○3	○	○2	○2	○2				○発生期	○前	○始	*クロ' R :子葉期		○	○	○	○	2	
		普	○3	○	○2	○2	○2		○始	●前	○発生期	○前	○始								

クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することにより、さらに効果が向上する。(近畿・中国〜九州)

オモダカに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。(関東・東海、九州)

II-6-(2) 5.CH-906Ⓐ-1kg 粒「実・継」 VII-2 No.4 参照

II-6-(2) 6.CH-907-1kg 粒「実・継」 II-6-(1) No.1 参照

II-6-(2) 7. DPX-47MN-1kg 粒 「実・継」 VII-2の使用基準に併用

処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マハ・イ	オハ・イ	ウハ・イ	ミ ガ・イ	ヘ ダ・イ	クロ ダ・イ	オモ ダ・イ	ヒ ロ	藻類 表層 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	堆 土	堆 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 DPX-47MN -1kg 粒	茎葉兼土壌処理	北海道	○2.5	○	○2	○2		○2		●前	○発生	○前	○再生	+5〜/ビ I2.5L 100 g/a	1.5 ○	○	○	○	2	(28) (34) (36) (38) (40) (42)
		東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○2	○前	○前	○発生	○前	○再生							
		北陸	○2.5	○	○2	○2	○2	○2					○再生							
		関東	早	○2.5	○	○2		○2				○発生	○前							
		東海	普	○2.5	○	○2	○2	○2				○発生	○前							
		近畿	早	○2.5	○	○2	○2	○2				○発生	○前							
		中国	普	○2.5	○	○2	○2	○2				○発生	○前							
		四国	早	○2.5	○	○2	○2	○2				○発生	○前							
		九州	早	○2.5	○	○2	○2	○2				○発生	○前							
		普	○2.5	○	○2	○2	○2	○2				○発生	○前							
		普	○2.5	○	○2	○2	○2	○2				○発生	○前							

II-6-(2) 8. DPX-47ND-1kg 粒 「実・継」 VII-2の使用基準に併用

処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マハ・イ	オハ・イ	ウハ・イ	ミ ガ・イ	ヘ ダ・イ	クロ ダ・イ	オモ ダ・イ	ヒ ロ	藻類 表層 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	堆 土	堆 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 DPX-47ND -1kg 粒	茎葉兼土壌処理	北海道	○3	○	○2	○2		○2		●前	○発生	○前	○再生	+5〜/ビ I3L 100 g/a	1.5 ○	○	○	○	2	(34) (36) (38) (40) (41) (42)
		東北	○3	○	○2	○2	○2	○2	○前	○前	○発生	○前	○再生							
		北陸	○3	○	○2	○2	○2					○発生	○前							
		関東	早	○3	○	○2	○2	○2				○発生	○前							
		東海	普	○3	○	○2	○2	○2				○発生	○前							
		近畿	早	○3	○	○2	○2	○2				○発生	○前							
		中国	普	○3	○	○2	○2	○2		○始	○始	○発生	○前							
		四国	早	○3	○	○2	○2	○2				○発生	○前							
		九州	早	○3	○	○2	○2	○2				○発生	○前							
		普	○3	○	○2	○2	○2	○2		○始	○始	○発生	○前							
		普	○3	○	○2	○2	○2	○2		○始	○始	○発生	○前							

クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することにより、さらに効果が向上する。(東北、九州)

オモダカに有効な剤との組み合わせで連年施用することにより、さらに効果が向上する。(東北、九州)

II-6-(2) 9. DPX-84ND 7077ℱ 「実・継」 VII-2の使用基準に併用

処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マハ・イ	オハ・イ	ウハ・イ	ミ ガ・イ	ヘ ダ・イ	クロ ダ・イ	オモ ダ・イ	ヒ ロ	藻類 表層 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	堆 土	堆 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 DPX-84ND 7077ℱ	茎葉兼土壌処理	北海道	○3	○	○2	○2		○2		●前	○発生	○前	○再生	+5〜/ビ I3L 50 ml/a	1.5	1.5	○	○	2	(36) (38) (40) (42)
		東北	○3	○	○2	○2	○2		○前	○始	○発生	○前	○再生							
		北陸											○再生							
		関東	早										○再生							
		東海	普										○再生							
		近畿	早										○再生							
		中国	普										○再生							
		四国	早										○再生							
		九州	早										○再生							
		普											○再生							
		普											○再生							

クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。(東北)

オモダカに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。(東北)

II-6-(2) 10. DPX-84ND① 70777ル 「実・継」 VII-2の使用基準に併用

処理法	地域名	作期	比・エ	一年 広葉 マハ・イ	おハ・イ	ウリカ	ミ ガ・キ アリ	ヘラ オモ ダ・カ	クロ ク・ ワ・イ	オモ ガ・ カ	ヒル ムシ ロ	藻類 表層 剥離	セリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌土	壤 土	堆 土	堆 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 DPX-84ND ①70777ル 茎葉兼土 壌処理	北海道												再生 前	+5~12.5L	50 ml/a						(28) (34) (36) (38) (42)
	東北											発生	前								
	北陸		○3	○	○2	○2	○2					○期	○前			○	○	○	○	2	
	関東 東海	早	○3	○	○2	○2	○2					○発生	○前			○	○	○	○	1	
		普	○3	○	○2	○2	○2		○始	○始		○期	○前			○	○	○	○	2	
	近畿 中国	早	○3	○	○2	○2	○2					○発生	○前			○	○	○	○	1	
		普	○3	○	○2	○2	○2		○始	●前		○期	○前			○	○	○	○	1.5	
	四国	早	○3	○	○2	○2	○2					○発生	○前			○	○	○	○	1	
		普	○3	○	○2	○2	○2		○始	●前		○期	○前			○	○	○	○	1.5	
	九州	早	○3	○	○2	○2	○2					○発生	○前			○	○	○	○	2	
		普	○3	○	○2	○2	○2		○始	○始		○期	○前			○	○	○	○	1.5	

クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。(関東・東海～九州)
オモダカに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。(関東・東海、近畿・中国、四国～九州)

II-6-(2) 11. DPX-84SC 70777ル 「実・継」 VII-2 No.12 参照

II-6-(2) 12. DPX-84SC① 70777ル 「実・継」 VII-2 No.13 参照

II-6-(2) 13. HJ-943-1kg 粒 「継」

II-6-(2) 14. KPP-932 70777ル 「継」

II-6-(2) 15. KK-961-1kg 粒 「実・継」 VII-2 No.17 参照

II-6-(2) 16. KK-962-1kg 粒 「実・継」 VII-2 No.18 参照

II-6-(2) 17. MY-100DA-1kg 粒 「実・継」 VII-2 No.62 参照

II-6-(2) 18. MY-100TS 70777ル 「継」

II-6-(2) 19. NBA-076a-1kg 粒 「継」

II-6-(2) 20. NBA-076b-1kg 粒 「継」

II-6-(2) 21. NBA-096a 70777ル 「継」

II-6-(2) 22. NBA-096b 70777ル 「継」

II-6-(2) 23. NBA-941-1kg 粒 「継」

II-6-(2) 24. NC-311KP① 顆粒水和 「実・継」 VII-1 No.11 参照

II-6-(2) 25. NC-339 顆粒水和 「実・継」 VII-2 No.37 参照

II-6-(2) 26. NC-367-1kg 粒 「実・継」 VII-2の使用基準に併用

処理法	地域名	作期	比・エ	一年 広葉 マハ・イ	おハ・イ	ウリカ	ミ ガ・キ アリ	ヘラ オモ ダ・カ	クロ ク・ ワ・イ	オモ ガ・ カ	ヒル ムシ ロ	藻類 表層 剥離	セリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌土	壤 土	堆 土	堆 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 NC-367 -1kg 粒	北海道		○2.5	○	○2	○2				●前	○発生	○前	再生 前	+5~12.5L	100 g/a			○	○	2	(28) (34) (38)
	東北		○2.5	○	○2	○2	○2	○2				○期	○前			○	○	○	○	1.5	
	北陸		○2.5	○	○2	○2	○2	○2					○始					○	○	2	
	関東 東海	早	○2.5	○	○2	○2	○2					○発生	○前			○	○	○	○	1	
		普	○2.5	○	○2	○2	○2					○期	○前			○	○	○	○		
	近畿 中国	早	○2.5	○	○2	○2	○2					○発生	○前			○	○	○	○		
		普	○2.5	○	○2	○2	○2					○期	○前			○	○	○	○		
	四国	早	○2.5	○	○2	○2	○2					○発生	○前			○	○	○	○		
		普	○2.5	○	○2	○2	○2					○期	○前			○	○	○	○		
	九州	早	○2.5	○	○2	○2	○2					○発生	○前			○	○	○	○	1.5	
		普	○2.5	○	○2	○2	○2					○期	○前			○	○	○	○		

II-6-(2) 27. TH-913ADE-1kg 粒 「実・継」 II-6-(1) No.16 参照

II-6-(2) 28. NS-177-1kg 粒 「実・継」 II-5 No.5 参照

II-6-(2) 29. SW-973-1kg 粒 「実・継」 II-5 No.6 参照

II-6-(2) 30. DND-950 70777ル 「実・継」 VII-2 No.10 参照

Ⅱ-6-(5) シズイ対象

II-6-(5)	1.KPP-932	フワア ⁷ ル	「継」	
II-6-(5)	2.MY-100TS	フワア ⁷ ル	「実・継」	VII-2 No.33 参照
II-6-(5)	3.NBA-076a-1kg	粒	「実・継」	VII-1 No.7 参照
II-6-(5)	4.SW-973-1kg	粒	「実・継」	II-5 No.6 参照

II-6-(6) エゾノサヤヌカグサ対象

II-6-(6)	1.HSW-951	フワブル	「実・継」	VII-1 No.6	参照
II-6-(6)	2.HSW-982	フワブル	「実・継」	VII-2 No.15	参照
II-6-(6)	3.NBA-096a	フワブル	「実・継」	VII-1 No.9	参照
II-6-(6)	4.NS-177-1kg	粒	「実・継」	II-5 No.5	参照
II-6-(6)	5.SW-973-1kg	粒	「実・継」	II-5 No.6	参照

II-6-(7) クサネム対象

[illegible]

II-6-(8) コウキヤガラ対象

II-6-(8) 1. SB-528 フォアブル 「実・継」 II-2-(1) No.4 参照

II-6-(9) キシュウスズメノヒエ対象

Ⅱ-6-(9) 1. AGH-925-1kg 粒 「縫」

Ⅱ-6-(9) 2. CH-904㊦ フロアブル 「縫」

Ⅱ-6-(9) 3. DEH-112 乳(EW) 「実・縫」 Ⅱ-5 No.1 参照

II-6-(9) 4. DEH-112-1kg 粒 「実・継」 II-5の使用基準に併用

	処理法	地域名	作 期	1/2 E	一年 広葉 マツハ イ	サ サ イ	ウ リ カ	ミ ヤ リ	ヘ ウ オ ミ ダ	ク ロ グ リ	サ サ グ リ	ヒ ム シ ロ	藻類 表層 剥離			処理時期	使用 量・ 製品	砂 礫 土	壤 土	埴 土	堆 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
II-5 DEH-112 -1kg 粒	事業処理	北海道		○	4											+15~+35, (/ヒ I2L~4L)	100 ~150 g/a	○	○	○	○	2	(2 1) (4 7)
		東北		○	4											+15~+30 (/ヒ I2L~3L)	○	○	○	○		5cm程度の 水深で使用する	
		北陸		○	3												(100 g/aは 3L以下)	○	○	○	○		
		関東 東海	早	○	4											+15~+35, (/ヒ I2L~4L)	○	○	○	○	1		
			普	○	4										●*		○	○	○	○	2		
		近畿 中国	早	○	4												○	○	○	○	1.5	キョウスズメノヒエ 防除は底開 葉が水面に 接する条件 で使用する。 (関東・東海 近畿・中国 ~九州)	
			普	○	4										○*		○	○	○	○	2		
		四国	早	○	4											*キョウスズメノヒエ 両生量2~4葉	○	○	○	○	1.5		
			普	○	4												○	○	○	○	2		
		九州	早	○	4												○	○	○	○			
			普	○	4												○	○	○	○			

II-6-(9) 5. DEH-BAS 乳(ME) 「実・継」 II-5の使用基準に併用

処理法	地域名	作期	1年 広葉 マハイ	オハ イ	ウリ カ	ミ ヤ ガ リ	ハ タ タ カ	ク ロ グ ワ イ	オ モ ダ カ	ヒ ル シ ロ	藻類 表層 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌 土	壤 土	堆 肥 土	堆 肥 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
II-5 DEH-BAS 乳(ME)	北海道	○5	○	○4	○4		○4					+25~+40 (/t' 12L~5L)	100 ml/a	1.5	○	○	○	2	(6) (10) (11) (12) (21) (36) (40) (49)
	東北	○5	○	○4	○4	○5	○4	○	○			+25~+40 (/t' 13L~5L)	100 ml/a	○	○	○	○		
	北陸	○5	○	○*	○5	○5	○5	○	○				散水 7~10 g/a	○	○	○	○		
	関東 東海	早 普	○5 ○5	○ ○*	○5 ○5	○5 ○5	○	○	○	○	○	+25~+50 (/t' 13L~5L)	○*	○	○	○	○		
	近畿 中国	早 普	○4.5 ○5	○ ○	○4 ○4	○4 ○4	○4	○	○	○	○	+25~+40 (/t' 12.5L~4.5L)	○*	○	○	○	○	1	使用直前に 希釈する。
	四国	早 普	○4.5 ○5	○ ○	○4 ○4	○4 ○4	○4	○	○	○	○	+25~+40 (/t' 12.5L~5L)	○*	○	○	○	○	1.5	
	九州	早 普	○5 ○5	○ ○*	○5 ○5	○5 ○5	○	○	○	○	○	+25~+40 (/t' 12.5L~4.5L)	○*	○	○	○	○	1	
												+25~+40 (/t' 12.5L~5L)	○*	○	○	○	○	1.5	
												+25~+50 (/t' 12L~5L)	○*	○	○	○	○	2	
														○	○	○	○		
														○	○	○	○		

* : 花茎抽出始 ** : ①シズイ 草丈5cm程度, ②コウキヤガラ 発生盛期 *** : エソノサヤマカグサ 発生始~4L

☆ : キシュウズメノヒエ 再生茎3~6葉期, 畦畔からの匍匐茎1m以内(近畿・中国~九州)

クログワイ防除は、クログワイに有効な前処理剤との組み合わせで使用。(東北・関東・東海~九州)

クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することにより、さらに効果が向上する。(東北・関東・東海~九州)

オモダカ防除は、オモダカに有効な前処理剤との組み合わせで使用。(東北~関東・東海・九州)

II-6-(9) 6. NBA-941-1kg 粒「継」

II-6-(9) 7. NC-311DCD-1kg 粒「継」

II-6-(9) 8. NCH-903DEH-1kg 粒「継」

II-6-(9) 9. SW-973-1kg 粒「継」

II-6-(10) その他

II-6-(10) 1. AC-014A 粒「実・継」 II-6-(2) No.1 参照

II-6-(10) 2. SW-973-1kg 粒「継」

III 直播栽培

処理法	地域名	作期	1年 広葉 マハイ	オハ イ	ウリ カ	ミ ヤ ガ リ	ハ タ タ カ	ク ロ グ ワ イ	オ モ ダ カ	ヒ ル シ ロ	藻類 表層 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌 土	壤 土	堆 肥 土	堆 肥 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
III 1. AGH-925 -1kg 粒	北海道	●3	●	●2	●2				●	●	●	1.1L~1.1L	100 g/a			●	●	2	1.1の根が 露出する 条件では 発生を 生ずる。
	東北	○3	○	○2	○2		○2									○	○	1.5	
	北陸	○3	○	○2												○	○	1	
	関東 東海	○3	○	○2	○2							1.1.5L~ 1.1L			○	○	○	2	湛水直播
	近畿 中国	○3	○	○2	○2							1.1L~1.1L			○	○	○	1	
	四国	○3	○	○2	○2										○	○	○		
	九州	○3	○	○2												○	○		

III 2. CDS-941① 7077g/L 「継」

処理法	地域名	作期	1年 広葉 マハイ	オハ イ	ウリ カ	ミ ヤ ガ リ	ハ タ タ カ	ク ロ グ ワ イ	オ モ ダ カ	ヒ ル シ ロ	藻類 表層 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌 土	壤 土	堆 肥 土	堆 肥 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
III 3. KUH-931 -1kg 粒	北海道									●	●	1.1.5L ~1.1L	100 g/a						1.1の根が 露出する 条件では 発生を 生ずる。
	東北	●3	●	●2	●2	●2	●2			●	●					●	●	1.5	
	北陸																		
	関東 東海																		
	近畿 中国																		
	四国																		
	九州																		

処理法	地域名	作期	1/2	1年 広葉 マハイ	ホムイ	ウリカ	ミヤ ガヤ	ヘラオ ダカ	クロ グ	オモ カ	ヒムシ ロ	藻類 表層 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌 土	壤 土	埴 壌 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
Ⅲ 4. KUH-936B -1kg 粒	北海道											セリ		100 g/a						体の根が 露出する 条件下では 生育する。 湛水直播
	東北																			
	北陸		●3	●	●2	●2	●2						1/21L~1/2 I3L				●	●	1	
	関東 東海		●3	●	●2											●	●	●	2	
	近畿 中国		○3	○	○2		○2					○再生 前 ○始				○	○	○	1.5	
	四国		○3	○	○2		○2									○	○	○		
	九州		○2.5	○			○2						1/21L~ 1/2 I2.5L		○	○	○	○	2	

処理法	地域名	作期	1/2	1年 広葉 マハイ	ホムイ	ウリカ	ミヤ ガヤ	ヘラオ ダカ	クロ グ	オモ カ	ヒムシ ロ	藻類 表層 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌 土	壤 土	埴 壌 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
Ⅲ 5. NBA-941 -1kg 粒	北海道											発 生 期	再 生 前 始	100 g/a						体の根が 露出する 条件下では 生育する。 湛水直播 (東北、関東・ 東海、九州)
	東北		●3	●	●2	●2	●2	●2			●		1/21.5L~ 1/2 I3L				●	●	1	
	北陸																			
	関東 東海		●3	●	●2												●	●		
	近畿 中国		●3	●	●2		●2					●始	1/21L~ 1/2 I3L				●	●	●	
	四国		●3	●	●2		●2					●始					●	●	●	
	九州		●3	●	●2	●2	●2											●	1.5	

Ⅲ 6. NBA-942a-1kg 粒「縦」

	処理法	地域名	作期	1/2 広葉 マハイ	ホムイ	ウリカ	ミヤ ガヤ	ヘラオ ダカ	クロ グ	オモ カ	ヒムシ ロ	藻類 表層 剥離		処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌 土	壤 土	埴 壌 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
Ⅲ 7. NBA-942b -1kg 粒	茎葉兼土壌処理	北海道											セリ		100 g/a						体の根が 露出する 条件下では 生育する。
		東北																			
		北陸																			
		関東 東海																			
		近畿 中国	● 3	●	● 2		● 2						● 始	1/21L~1/2 I3L			●	●	●	1	
		四国	● 3	●	● 2		● 2						● 始				●	●	●		
		九州																			

	処理法	地域名	作期	1/2	1年 広葉 マハイ	ホムイ	ウリカ	ミヤ ガヤ	ヘラオ ダカ	クロ グ	オモ カ	ヒムシ ロ	藻類 表層 剥離		処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌 土	壤 土	埴 壌 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
Ⅱ モネトSM -1kg 粒	茎葉兼土壌処理	北海道														100 g/a						(8) (21) 湛水直播 (北陸、近畿・ 中国、四国)
		東北	○3	○	○2									1/25L(農、1/2 I3L +30~+45 (1/26L(農、1/2 I3Lまで)				○	○	1.5		
		北陸	○3	○	○2													○	○	1		
		関東 東海	○3.5	○	○3									1/25L~ 1/2 I3.5L				○	○	○	2	
		近畿 中国	●3.5	●	●始													●	●	●	1	
		四国	●3.5	●	●始													●	●	●		
		九州																				

IV 畦畔雑草

IV 1.CG-231GT 7D7ブル「継」							
	処理法	地 域 名	対象雑草名	処理時期	使用量・製品 (希釈水量)	適用土壌	使用上の注意
IV 2.F-702	液 茎葉処理	北海道	全草種	雑草生育期 (草丈30cm以下)	50～60ml/a (水量10ℓ)	全土壌	(23) (24)
		東北					
		北 陸					
		関東・東海					
		近畿・中国					
		四 国					
		九 州					

	処理法	地 域 名		対象雑草名	処理時期	使用量・製品 (希釈水量)	適用土壌	使用上の注意	
Ⅳ 3. KUH-913 液	茎葉処理	北海道	○	全草種 (草種により効果の 変動がある)	草刈り後10～20日 (草丈10 cm以下)	3 0～5 0 ml/a* (2.5 ℓ、5～10 ℓ/a ただし2.5 ℓ 散布は 少量散布用ノズルを使用)	全土壌	(2 4) イネ科主体の群落 で使用する (東北、北陸)	
		東 北	○		草刈り後1 0～2 0 日 の雑草再生期 (6～7月)				
		北 陸	○						
		関東・東海	○		雑草生育初期 (草丈10 cm程度) 及び草刈り後10～20日 の再生期	5 0～8 0 ml/a(10 ℓ/a)		* 約45日の間隔で 40+40ml/aの反復 処理で抑草期間を 延長(東北、関東 ・東海～四国)	
		近畿・中国	○						
		四 国	○						
		九 州	○						

IV 4.MON-96A 液							
	処理法	地 域 名	対象雑草名	処理時期	使用量・製品 (希釈水量)	適用土壌	使用上の注意
IV 4.MON-96A	液 茎葉処理	北海道	全草種 (スギナを除く)	雑草生育期 (草丈30cm以下)	25～50ml/a (2.5ℓ, 5～10ℓ/a ただし2.5ℓ散布は 専用ノズルを使用)	全土壌	(23) (24)
		東北					
		北 陸					
		関東・東海					
		近畿・中国					
		四 国					
		九 州					

	処理法	地 域 名		対象雑草名	処理時期	使用量・製品 (希釈水量)	適用土壌	使用上の注意
Ⅳ 5. MR-98	液 茎葉処理	北海道	●	全草種 (スギナを除く)	雑草生育期 (草丈20cm以下)	5 0 ～ 6 0 ml/a	全土壌	(2 4)
		東 北	●			4 0 ～ 6 0 ml/a (5 ㍓) *		
		北 陸						
		関東・東海	●	全草種 〔 多年生雑草主体の 畦畔で使用する。 〕 (関東・東海)				
		近畿・中国						
		四 国						
		九 州						

IV 6.SW-995 7D77ブル「継」

V 耕起前

V 1.F-702 液							
	処理法	地 域 名	対象雑草名	処理時期	使用量・製品 (希釈水量)	適用土壌	使用上の注意
V 1.F-702	液 茎葉処理	北海道	一年生雑草	雑草生育期 耕起前10～20日	40～60ml/a (10ℓ)	全土壌	(25)
		東北					
		北 陸					
		関東・東海					
		近畿・中国					
		四 国					
		九 州			50～60ml/a (10ℓ)		

不耕起栽培

不耕起移植 2.WON-96A 液「継」

不耕起直播 3.WOC-01 液「継」

VI 休耕田

	処理法	地域名	対象雑草名	処理時期	使用量・製品 (希釈水量)	適用土壌	使用上の注意
VI 1.MON-96A 液	葉面処理	北海道	全草種 (一年生雑草主体)	雑草生育期 (草丈50cm以下)	2.5~5.0ml/a (2.5, 5~10g/a ただし2.5g散布は 専用ノズルを使用)	全土壌	(2.5) 経過年数の短い 休耕田で使用する。
		東北					
		北陸					
		関東・東海					
		近畿・中国					
		四国					
		九州					

VII-1 初期一発処理剤

	処理法	地域名	作期	バリエーション	一年広葉マダハ	オシロイ	ミヤガサ	ヘラオモダカ	クロガサ	オモダカ	ヒルシロ	藻類剥離	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	堆肥土	堆肥土	減水深cm/d	使用上の注意
VII-1 1.AGH-975 7077g/L	土壌処理	北海道	早	○1.5	○	○始	○2						+0~バリエーション1.5L	50ml/a	○	○	○	○	2	(3.4) 田植同時散布可能 (東北、関東・東海、 近畿・中国、 四国、九州)
		東北	早	●1.5	●	●2	●始	●始	●始											
		北陸	早	●1.5	●	●始	●始	●始	●始											
		関東・東海	早	●1.5	●	●始	●始	●始	●始											
		近畿・中国	早	●1.5	●	●始	●前	●前	●前											
		近畿・中国	普	○1.5	○	○始	○始	○始	○始											
		四国	早	●1.5	●	●始	●前	●前	●前											
		四国	普	○1.5	○	○始	○始	○始	○始											
		九州	早	●1.5	●	●始	●始	●始	●始											
		九州	普	○1.5	○	○始	○始	○始	○始											
		九州	普	○1.5	○	○始	○始	○始	○始											

	処理法	地域名	作期	バリエーション	一年広葉マダハ	オシロイ	ミヤガサ	ヘラオモダカ	クロガサ	オモダカ	ヒルシロ	藻類剥離	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	堆肥土	堆肥土	減水深cm/d	使用上の注意
VII-1 2.AJH-183 -1kg 粒	土壌処理	北海道	早	●2	●	●2	●始				●発生期	●再生前	+0~バリエーション2L	100g/a	●	●	●	●	2	
		東北	早	●2	●	●2	●2	●2			●発生期	●再生前								
		北陸	早									●再生前								
		関東・東海	早									●再生前								
		近畿・中国	早									●再生前								
		近畿・中国	普									●再生前								
		四国	早									●再生前								
		四国	普									●再生前								
		九州	早									●再生前								
		九州	普									●再生前								
		九州	普									●再生前								
		九州	普									●再生前								

	処理法	地域名	作期	バリエーション	一年広葉マダハ	オシロイ	ミヤガサ	ヘラオモダカ	クロガサ	オモダカ	ヒルシロ	藻類剥離	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	堆肥土	堆肥土	減水深cm/d	使用上の注意
VII-1 3.AJH-184 -1kg 粒	土壌処理	北海道	早									●再生前	+0~バリエーション2L	100g/a					1	田植同時散布可能 (関東・東海、 近畿・中国、 四国)
		東北	早									●再生前								
		北陸	早	●2	●	●2	●2	●始				●再生前								
		関東・東海	早	●2	●	●始	●始	●始			●発生期	●再生前								
		近畿・中国	早	●2	●	●始	●始	●始			●発生期	●再生前								
		近畿・中国	普	●2	●	●始	●始	●始			●発生期	●再生前								
		四国	早	●2	●	●2	●2	●2				●再生前								
		四国	普	●2	●	●2	●2	●2				●再生前								
		九州	早									●再生前								
		九州	普									●再生前								
		九州	普									●再生前								

処理法	地域名	作期	バ・エ	一年 広葉 マハ・イ	オハ イ	ミ ガ ヤ リ	ハ ラ オ カ	ク ロ イ	オ モ ガ カ	ヒ ム シ ロ	藻類 表層 剥離	セリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌 土	壤 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-1 5.HJ-941 -1kg 粒	北海道		○1.5	○	○2	○2			○前	○前	○前	○再生	+3〜バ・エ1.5L	100 g/a	○	○	○	2.	(3) (26) (28) (34) (38)
	東北		○2	○	○始	○始	○始	○2	○前	○前	○前	○前	+3〜バ・エ1.5L		○	○	○		
	北陸		○2	○	○2	○始	○始					○始				○	○	1	
	関東 東海	早	○2	○	○始	○始	○始			○発生	○前	○再生					○		
		普	○2	○	○始	○始	○始			○期	○前	○再生			○	○	○	2	
	近畿 中国	早	○2	○	○2	○2	○2			○発生	○前	○再生				○	○	1	
		普	○2	○	○2	○2	○2			○期	○前	○再生			○	○	○		
	四国	早	○2	○	○2	○2	○2			○発生	○前	○再生				○	○		
		普	○2	○	○2	○2	○2			○期	○前	○再生			○	○	○		
	九州	早	○2	○	○2	○2	○2			○発生		○始			○	○	○		
		普	○2	○	○2	○2	○2			○期					○	○	○		

オモダカに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。(東北)

処理法	地域名	作期	バ・エ	一年 広葉 マハ・イ	オハ イ	ミ ガ ヤ リ	ハ ラ オ カ	ク ロ イ	オ モ ガ カ	ヒ ム シ ロ	藻類 表層 剥離	セリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌 土	壤 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-1 6.HSW-951 7077% II-6-(6) を併用	北海道		○2	○	○2	○2				○前		●+	+0〜バ・エ1.5L	100 ml/a	○	○	○	2	水口処理 可能
	東北																		
	北陸																		
	関東 東海	早																	
		普											*エフ/サキスガクサ :2L						
	近畿 中国	早																	
		普																	
	四国	早																	
		普																	
	九州	早																	
		普																	

処理法	地域名	作期	バ・エ	一年 広葉 マハ・イ	オハ イ	ミ ガ ヤ リ	ハ ラ オ カ	ク ロ イ	オ モ ガ カ	ヒ ム シ ロ	藻類 表層 剥離	セリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌 土	壤 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-1 7.NBA-076a -1kg 粒 II-6-(5) を併用	北海道		○2	○	○2	○2				○発生	○前	○再生	+0〜バ・エ1.5L	100 g/a	○	○	○	2	田植同時 散布可能 (東北)
	東北		○2	○	○2	○2	○2			○期	●	●						1.5	
	北陸											○始							
	関東 東海	早																	
		普											*エフ/サキスガクサ :2L **スズイ :発生後〜根長3cm						
	近畿 中国	早																	
		普																	
	四国	早																	
		普																	
	九州	早																	
		普																	

処理法	地域名	作期	バ・エ	一年 広葉 マハ・イ	オハ イ	ミ ガ ヤ リ	ハ ラ オ カ	ク ロ イ	オ モ ガ カ	ヒ ム シ ロ	藻類 表層 剥離	セリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌 土	壤 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-1 8.NBA-076b -1kg 粒	北海道											○再生		100 g/a					(28) (34)
	東北																		
	北陸		○2	○	○2	○2	○2					○始			●	○	○	2	田植同時 散布可能 (関東・東海 〜四国)
	関東 東海	早	○2	○	○2	○2	○2			○発生		○再生			●	○	○		
		普	○2	○	○2	○2	○2			○期	●	○再生			●	○	○		
	近畿 中国	早	○2	○	○2	○2	○2			○発生		○再生			●	○	○	1	*砂壌土は +3〜 (北陸・関東・ 東海〜四国 の砂壌土)
		普	○2	○	○2	○2	○2			○期		○始			○	○	○	1.5	
	四国	早	○2	○	○2	○2	○2			○発生		○再生			●	○	○	1	
		普	○2	○	○2	○2	○2			○期		○再生			○	○	○	1.5	
	九州	早	○2	○	○2	○始	○2			○発生		○始			○	○	○		
		普	○2	○	○2	○始	○2			○期		○始			○	○	○		

処理法	地域名	作期	ハ'エ	一年広葉マツハ'イ	サ'カ'リ	ウ'カ'リ	ミ'カ'リ	ヘ'カ'リ	ク'カ'リ	モ'カ'リ	ヒ'カ'リ	藻類剥離	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	堆土	堆土	減水深cm/d	使用上の注意
VII-1 9. NBA-096a 7077% II-6-(6) を併用	北海道	早	○2	○	○2	○2					○発生	○前	+0~ノ' I2L	50 ml/a	○	○	○	○	2	
	東北	早	○2	○	○2	○始	○始	○2			○発生	○前			●	●	○	○	1.5	
	北陸	早										○始								
	関東東海	早																		
	近畿中国	早																		
	四国	早																		
	九州	早																		
	北海道	早										○再生								
	東北	早										○発生	○前							
	北陸	早	○2	○	○始	○始	○始					○始								
VII-1 10. NBA-096b 7077% II-6-(2) を併用	北海道	早	○2	○	○始	○始	○2				○発生	○前	+0~ノ' I2L	50 ml/a					2	(28) (34) 田植同時 散布可能 (関東・東海)
	東北	早	○2	○	○始	○始	○2				○発生	○前							1	
	北陸	早	○2	○	○始	○始	○2				○発生	○前							2	
	関東東海	早	○2	○	○始	○始	○2				○発生	○前							2	
	近畿中国	早	○2	○	○始	○始	○2				○発生	○前							2	
	四国	早	○2	○	○始	○始	○2				○発生	○前							2	
	九州	早	○2	○	○始	○始	○2				○発生	○前							2	
	北海道	早	○2	○	○始	○始	○2				○発生	○前							2	
	東北	早	○2	○	○始	○始	○2				○発生	○前							2	
	北陸	早	○2	○	○始	○始	○2				○発生	○前							2	
VII-1 11. NC-311KP ①顆粒水和 II-6-(2) を併用	北海道	早	○1.5	○	○始	○始	○2				○発生	○前	+0~ノ' I1.5L	6.6 g/a	○	○	○	○	2	(5) (28) (34) (38) (40) 水口処理 可能 (50ml/aの 水で希釈) 田植同時 散布可能 (東北・東海・ 四国)
	東北	早	○1.5	○	○始	○始	○始	●始			○発生	○前								
	北陸	早	○1.5	○	○始	○始	○始				○発生	○前								
	関東東海	早	○1.5	○	○始	○始	○始				○発生	○前								
	近畿中国	早	○1.5	○	○始	○始	○始				○発生	○前								
	四国	早	○1.5	○	○始	○始	○始				○発生	○前								
	九州	早	○1.5	○	○始	○始	○2				○発生	○前								
	北海道	早	○1.5	○	○始	○始	○2				○発生	○前								
	東北	早	○1.5	○	○始	○始	○始				○発生	○前								
	北陸	早	○1.5	○	○始	○始	○始				○発生	○前								
VII-1 12. NC-311KP -1kg 粒	北海道	早	○1.5	○	○始	○始	○2				○発生	○前	+0~ノ' I1.5L	100 g/a	○	○	○	○	2	(28) (34) (40) 田植同時 散布可能 (東北・東海)
	東北	早	○1.5	○	○始	○始	○始				○発生	○前								
	北陸	早	○1.5	○	○始	○始	○始				○発生	○前								
	関東東海	早	○1.5	○	○始	○始	○始				○発生	○前								
	近畿中国	早	○1.5	○	○始	○始	○2				○発生	○前								
	四国	早	○1.5	○	○始	○始	○始				○発生	○前								
	九州	早	○1.5	○	○始	○始	○始				○発生	○前								
	北海道	早	○1.5	○	○始	○始	○2				○発生	○前								
	東北	早	○1.5	○	○始	○始	○始				○発生	○前								
	北陸	早	○1.5	○	○始	○始	○始				○発生	○前								

	処理法	地域名	作期	ノビ	エ	年 広葉 マハ	サ ル	ウ リ	ミ ヤ グ	ハ ラ モ グ	ク ロ グ	オ モ グ	ヒ ル シ ロ	藻類 表層 剥離		処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌 土	壤 土	堆 土	堆 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意		
VII-1 13. PSS①D -1kg 粒	土壌処理	北海道												●	○前		+0～ノビ E2L	100 g/a	1.5	●	○	○	○	2	(28) (34)
		東北	○2	○	○2	○始	○始	○始					●	○前					●	○	○	○	2	(3) (北陸)	
		北陸	○2	○	○2	○始	○始							○	○前				●	●	○	○			
		関東 東海	早	○2	○	○2	○2	○2						○	○前					○	○	○			
		普	○2	○	○2	○2	○2							○	○前				○	○	○	○			
		近畿 中国	早	○2	○	○2	○2	○2						○	○前	○再 生前				○	○	○	○	1	
		普	○2	○	○2	○2	○2							○	○前	○再 生前			○	○	○	○	2		
		四国	早	○2	○	○2	○2	○2						○	○前	○再 生前				○	○	○	○	1	
		普	○2	○	○2	○2	○2							○	○前	○再 生前				○	○	○	○	2	
		九州	早	○2	○	○2	○2	○2							○	○前				○	○	○	○	1.5	
		普	○2	○	○2	○2	○2								○	●前				○	○	○	○	2	

処理法	地域名	作期	ル'エ	一年 広葉 マハ'イ	サ'ル'イ	ウ'リ'カ	ミ'ヤ グ'リ	ハ'ラ'モ グ'カ	ク'ロ'グ グ'カ	オ'モ'グ カ	ヒ'ル'シ ロ	藻類 表層 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌 土	壤 土	堆 土	堆 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-1 14. SB-556 7077' 丸	北海道		●2	●	●2	●始	●始						+0~ノ'ビ' I2L	50 ml/a	1.5	●	●	●	2	(28) (34)
	東北		●2	●	●2	●始	●始									●	●	●	1.5	
	北陸		●2	●	●2	●始	●始										●	●	1	
	関東 東海	早																		
		普	●2	●	●2	●2	●2									●	●	●	2	
	近畿 中国	早																		
		普	●2	●	●2	●2	●2										●	●	1	
	四国	早																		
		普	●2	●	●2	●2	●2										●	●		
	九州	早	●2	●	●2	●2	●2									●	●	●	1.5	
		普	●2	●	●2	●2	●2									●	●	●	2	

VII-2 初・中期一発処理剤

	処理法	地域名	作期	ル'エ	一年 広葉 マハ'イ	サ'ル'イ	ウ'リ'カ	ミ'ヤ グ'リ	ハ'ラ'モ グ'カ	ク'ロ'グ グ'カ	オ'モ'グ カ	ヒ'ル'シ ロ	藻類 表層 剥離		処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌 土	壤 土	堆 土	堆 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意	
VII-2 1. CDS-941 7077' 丸	茎葉兼 根処理	北海道		○2.5	○	○2	○2		○2		○前	○発生 期	○前	○再生	○*	+3~ノ'ビ' I2.5L	50 ml/a	1.5	○	○	○	2	(36) (38) (40) (42)
		東北		○2.5	○	○2	○2	○2	○2	○前	○前	○前	○前	○前	00**			○	○	○			
		北陸													始								
		関東 東海	早													*イ'ノ'サ'カ'サ :2L							
		普														**①シ'イ :発生後-毎3cm ②コ'キ'カ'ラ :発生始							水口処理 可能
		近畿 中国	早																				
		普																					
		四国	早																				
		普																					
		九州	早																				
	普																						

クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することにより、さらに効果が向上する。(東北)
オモダカに有効な剤との組み合わせで連年施用することにより、さらに効果が向上する。(東北)

	処理法	地域名	作期	ル'エ	一年 広葉 マハ'イ	サ'ル'イ	ウ'リ'カ	ミ'ヤ グ'リ	ハ'ラ'モ グ'カ	ク'ロ'グ グ'カ	オ'モ'グ カ	ヒ'ル'シ ロ	藻類 表層 剥離		処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌 土	壤 土	堆 土	堆 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意	
VII-2 2. CH-904 7077' 丸	茎葉繁 殖処理	北海道		○3	○	○2	○2		○2		○前	○発生 期	○前	○再生 期	○*	+5〜ノ'ビ' I3L	50 ml/a	1.5	○	○	○	2.	(36) (38) (40) (42)
		東北		○3	○	○2	○2	○2	○2	○前	○始	○前	○前	00**			○	○	○	○			
		北陸													始								水口処理 可能 (北海道〜 東北)
		関東 東海	早																				
			普																				
		近畿 中国	早																				
			普																				
		四国	早																				
			普																				
		九州	早																				
			普																				

クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することにより、さらに効果が向上する。(東北)
オモダカに有効な剤との組み合わせで連年施用することにより、さらに効果が向上する。(東北)

	処理方法	地域名	作期	ビエ	一年 広葉マハバ	秋刈	刈り方	刈り方	ヘラ ダカ	クロ グイ	モダ カ	ヒルム ロ	類腐 剥離		処理時期	使用・ 製品	砂 壤土	壤 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 3. Ch-904① 707F	事業養生 掘処理	北海道											再生前			50 ml/a					(28) (36) (38) (42)
		東北							○2		○始		○前	○始	+3~ビE3L					2	水口処理 可能 (北陸、 関東・東海、 近畿・中国、 四国、九州)
		北陸	早	○3	○	○2	○2	○2					○発 生	○前	○		○	○	○		
		関東 東海	普	○3	○	○2	○2	○2		○始			○発 生	○前	○		○	○	○		
		近畿 中国	早	○3	○	○2	○2	○2					○発 生	○前	○		○	○	○	1	
			普	○3	○	○2	○2	○2		○始			○発 生	○前	○		○	○	○	1.5	
		四国	早	○3	○	○2	○2	○2					○発 生	○前	○		○	○	○	1	
			普	○3	○	○2	○2	○2		○始			○発 生	○前	○		○	○	○	1.5	
		九州	早	○3	○	○2	○2	○2					○発 生	○前	○		○	○	○		
			普	○3	○	○2	○2	○2		○始	○始		○発 生	○前	○		○	○	○		

クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することにより、さらに効果が向上する。(関東・東海～九州)
オモダカに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。(北陸、九州)

	処理方法	地域名	作期	ハエ	一年 広葉 マハヤ	秋刈	刈初	ミヤ ヅリ	ヘア タケ	クワ イ	モダ カ	ヒルシ ロ	藻表 剥離	類層 離		処理時期	使用・ 製品	砂 壤土	壤 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意		
VII-2 4.CH-906① -1kg 粒 II-6-(2) を併用	莖葉養分 糠処理	北海道													再生 前～ 始		100 g/a					(3 4) (3 6) (3 8) (4 1) (4 2)		
		東北													発生									
		北陸	早	○2.5	○	○2	○2	○2	○2					○発生	○前	○始	+5～/ビ I2.5L		○	○	○	○	2	
		関東	早	○2.5	○	○2	○2	○2	○2					○発生	○前	○再 生 前～ 始			○	○	○	○		
		東海	普	○2.5	○	○2	○2	○2	○2		○始	○始		○発生	○前	○再 生 前～ 始			○	○	○	○		
		近畿 中国	早	○2.5	○	○2	○2	○2	○2					○発生	○前	○再 生 前～ 始			○	○	○	○	1	
			普	○2.5	○	○2	○2	○2	○2				●前	○発生	○前	○再 生 前～ 始			○	○	○	○	1.5	
		四国	早	○2.5	○	○2	○2	○2	○2					○発生	○前	○再 生 前～ 始			○	○	○	○	1	
			普	○2.5	○	○2	○2	○2	○2				●前	○発生	○前	○再 生 前～ 始			○	○	○	○	1.5	
		九州	早	○2.5	○	○2	○2	○2	○2					○発生	○前	○再 生 前～ 始		*コウキヤラ ：発生始	○	○	○	○	2	
			普	○2.5	○	○2	○2	○2	○2		○始	○始		○発生	○前	○再 生 前～ 始	○*		○	○	○	○		

クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することにより、さらに効果が向上する。(関東・東海, 九州)
オモダカに有効な剤との組み合わせで連年施用することにより、さらに効果が向上する。(関東・東海, 近畿・中国, 四国, 九州)

[illegible]

	処理方法	地域名	作期	ノビエ	一年広葉マダハイ	おろり	ウリ初	ミヅガサリ	ヘアモダカ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	藻類・緑藻類	再生前	処理時期	使用量・砂・製品	砂・土	壊土	植土	植土	減深cm/d	使用上の注意		
VII-2 7. DHN-971(1) 7077 県	基葉・葉処理	北海道												再生前		50 ml/a							(28) (34)	
		東北													再生前									
		北陸	早	○2.5	○	○2	○2	○2	○2					○前	○始	+0～ノビ I2.5L		●	●	○	○	2		
		関東 東海	早	○2.5	○	○2	○2	○2	○2					○発生期	○前	○再生前		●1	○	○	○			
			普	○2.5	○	○2	○2	○2	○2					○発生期	○前	○再生前		●	○	○	○			
		近畿 中国	早	●2	●	●2	●	●始	●始					●発生期	●前	●始	+0～ノビ I2L			●	●	●	1	
			普	○2.5	○	○2	○2	○2	○2					○発生期	○前	○始	+0～ノビ I2.5L			○	○	○		
		四国	早	●2	●	●2	●	●始	●始					●発生期	●前	●再生前	+0～ノビ I2L			●	●	●		
			普	○2.5	○	○2	○2	○2	○2					○発生期	○前	○再生前	+0～ノビ I2.5L				○	○		
		九州	早	○2.5	○	○2	○2	○2	○2					○発生期	○前	○再生前			●	●	○	○	2	
			普	○2.5	○	○2	○2	○2	○2					○発生期	○前	○始			○	○	○	○		

VII-2 8. DKH-912 フロップ「継」

処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マハ・イ	ホ・ル	ウ・リ	ミ カ・ヤ ウ	ヘ ラ・モ ダ・カ	ク ロ・グ ワ	オ モ・ダ カ	ヒ ル・ム シ ロ	葉 類 剥 離	セリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌 土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 9. DKH-912① 7077 #	北海道														50 ml/a						
	東北																				
	北陸																				
	関東 東海	早 普	●2.5 ●	●	●2	●2	●2					発 生 期	再 生 前	+5~ノ・ビ・I2.5L			●	●	●	1.5	
	近畿 中国	早 普											始								
	四国	早 普																			
	九州	早 普																			

	処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マハ・イ	ホ・ル	ウ・リ	ミ カ・ヤ ウ	ヘ ラ・モ ダ・カ	ク ロ・グ ワ	オ モ・ダ カ	ヒ ル・ム シ ロ	葉 類 剥 離		処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌 土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意	
VII-2 10. DND-950 7077 # II-6-(2) を併用	土壌処理	北海道		○2.5	○	○2	○始		○始		●前	○発 生 前	○前	○再 生 前	○*	50 ml/a		土 1.5 ○	○	○	2	(36) (38) (40) (42)	
		東北		○2.5	○0***	○2	○始	○2	○始	○前	○始	○期	○前	○前	○0**		●	○	○	○	1.5		
		北陸													始								
		関東 東海	早 普														*I'ノサスカグサ : 2L **①シイ : 発生始 ②コナキガラ : 発生始 ***ワカ : 子葉期						水口処理 可能 (東北)
		近畿 中国	早 普																				
		四国	早 普																				
		九州	早 普																				

クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。(東北)
オモダカに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。(東北)

処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マハ・イ	ホ・ル	ウ・リ	ミ カ・ヤ ウ	ヘ ラ・モ ダ・カ	ク ロ・グ ワ	オ モ・ダ カ	ヒ ル・ム シ ロ	葉 類 剥 離	セリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌 土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 11. DND-950① 7077 #	北海道												再 生 前		50 ml/a						(28) (34) (36) (38) (42)
	東北																				
	北陸		○2.5	○	○2	○始	○2			○始			○始	+0~ノ・ビ・I2.5L				○	○	1.5	
	関東 東海	早 普	○2.5 ○	○	○2 ○2	○2 ○2	○2			○始 ○始	○発 生 期	○前 ○期	○再 生 前			○1	○	○	○	2	水口処理 可能 (関東・東海)
	近畿 中国	早 普	○2.5 ○	○	○2 ○2	○2 ○2	○2			○始 ○始	○発 生 期	○前 ○期	○再 生 前				○	○	○	1	
	四国	早 普	○2.5 ○	○	○2 ○2	○2 ○2	○2			○始 ○始	○発 生 期	○前 ○期	○再 生 前				○	○	○	2	
	九州	早 普	○2.5 ○	○	○2 ○2	○2 ○2	○2			○始 ○始	○発 生 期	○前 ○期	○再 生 前	※コ・リ・ヤ・カ・ラ : 発生始		●	●	○	○	2	

クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。(関東・東海~九州)
オモダカに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。(北陸~九州)

処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マハ・イ	ホ・ル	ウ・リ	ミ カ・ヤ ウ	ヘ ラ・モ ダ・カ	ク ロ・グ ワ	オ モ・ダ カ	ヒ ル・ム シ ロ	葉 類 剥 離	セリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌 土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 12. DPX-84SC 7077 # II-6-(1) II-6-(2) を併用	北海道		○2.5	○	○2	○2						○発 生 期	○前 ○再 生 前	+7~ノ・ビ・I2.5L	50 ml/a		○	○	○	2	(38) (42)
	東北		○2.5	○	○2	○2	○2	●前	●始	○期	○前	○前	始			○	○	○	○		
	北陸																				
	関東 東海	早 普																			
	近畿 中国	早 普																			
	四国	早 普																			
	九州	早 普																			

クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。(東北)
オモダカに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。(東北)

処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マハ・イ	オハ・イ	ウリカ	ミ カ リ	ハ オ モ ダ カ	クロ ウ イ	オ モ ダ カ	ヒ ム シ ロ	藻類 表層 剥離	セリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌 土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 13. DPX-84SC ①7077 N II-6-(1) II-6-(2) を併用	北海道												再生 前		50 ml/a						(34) (38) (41) (42)
	東北												再生 前								
	北陸		○2.5	○	○2	○2	○2	●始					○始	+5~ハ・エ 12.5L				○	○	2	
	関東	早	○2.5	○	○2	○2	○2					○発 生	○前				○	○	○	1	
	東海	普	○2.5	○	○2	○2	○2	●始	●始			○期	○前				○	○	○	2	
	近畿	早	○2.5	○	○2	○2	○2					○発 生	○前					○	○	1	
	中国	普	○2.5	○	○2	○2	○2					○生 期	○前				○	○	○	2	
	四国	早	○2.5	○	○2	○2	○2					○発 生	○前					○	○	1	
	九州	早	○2.5	○	○2	○2	○2					○発 生	○前				○	○	○	1.5	
		普	○2.5	○	○2	○2	○2					○期	●前				○	○	○	2	

クロウイに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。(関東・東海)
オモダカに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。(関東・東海)

処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マハ・イ	オハ・イ	ウリカ	ミ カ リ	ハ オ モ ダ カ	クロ ウ イ	オ モ ダ カ	ヒ ム シ ロ	藻類 表層 剥離	セリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌 土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 14. HJ-943 -1kg 粒 II-6-(6) を併用	北海道		○2.5	○	○2	○2		○2				○発 生	○前	+5~ハ・エ 12.5L	100 g/a			○	○	2	(28) (34)
	東北		○2.5	○	○2	○2	○2					○期	●前				○	○	○	1.5	
	北陸		○2.5	○	○2	○2	○2						○前					○	○	1	
	関東	早	○2.5	○	○2	○2	○2					○発 生	○前				●	●	○		
	東海	普	○2.5	○	○2	○2	○2					○生 期	●前				●	○	○	2	
	近畿	早	●2.5	●	●2	●始	●2					●発 生	●前				●	●	●	1	
	中国	普	○2.5	○	○2	○2	○2					○生 期	○前				○	○	○		
	四国	早	●2.5	●	●2	●始	●2					●発 生	●前				○	○	○		
	九州	早	●2.5	●	●2	●始	●2					●発 生	●前				○	○	○	1.5	
		普	○2.5	○	○2	○2	○2					○期	○				●	●	○		

処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マハ・イ	オハ・イ	ウリカ	ミ カ リ	ハ オ モ ダ カ	クロ ウ イ	オ モ ダ カ	ヒ ム シ ロ	藻類 表層 剥離	セリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌 土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 15. HSW-982 7077 N II-6-(6) を併用	北海道		○2.5	○	○2	○2					●発 生	○前	○再 生 前	+3~ハ・エ 12.5L	50 ml/a		○	○	○	2	水口処理 可能
	東北												○再 生 前								
	北陸												○再 生 前								
	関東	早											○再 生 前								
	東海	普											○再 生 前								
	近畿	早											○再 生 前								
	中国	普											○再 生 前								
	四国	早											○再 生 前								
	九州	早											○再 生 前								
		普											○再 生 前								

処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マハ・イ	オハ・イ	ウリカ	ミ カ リ	ハ オ モ ダ カ	クロ ウ イ	オ モ ダ カ	ヒ ム シ ロ	藻類 表層 剥離	セリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌 土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 16. HW-524 7077 N II-6-(6) を併用	北海道		○2.5	○	○2	○始						○発 生	○前	+0~ハ・エ 12.5L	50 ml/a		○	○	○	2	田植同時 散布可能 (東北)
	東北		●2.5	●	●2	●始	●2	●始				●発 生	●前				●	●	●	1.5	
	北陸												○再 生 前								
	関東	早											○再 生 前								
	東海	普											○再 生 前								
	近畿	早											○再 生 前								
	中国	普											○再 生 前								
	四国	早											○再 生 前								
	九州	早											○再 生 前								
		普											○再 生 前								

処理法	地域名	作期	ル・エ	一年 広葉 マハイ	オハ イ	ウリ カ	ミ ガ ヤ リ	ヘ ラ オ モ ダ カ	ク ロ ク ワ イ	オ モ ダ カ	ヒ ム シ ロ	藻 類 剥 離	ヤ リ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌 土	壤 土	堆 土	堆 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 21. KUH-985 7077 #	北海道		● 3	●	● 2	● 2					● 発生期	● 前	● 再生前	+5~7月 13L	50 ml/a	● 1.5	●	●	●	2	
	東北		● 3	●	● 2	● 2	● 2				● 発生期	● 前	● 再生前								
	北陸												● 始								
	関東 東海	早 普																			
	近畿 中国	早 普																			
	四国	早 普																			
	九州	早 普																			

処理法	地域名	作期	ル・エ	一年 広葉 マハイ	オハ イ	ウリ カ	ミ ガ ヤ リ	ヘ ラ オ モ ダ カ	ク ロ ク ワ イ	オ モ ダ カ	ヒ ム シ ロ	藻 類 剥 離	ヤ リ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌 土	壤 土	堆 土	堆 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 22. KUH-985① 7077 #	北海道												● 再生前	+5~7月 13L	50 ml/a						(28) (34)
	東北																				
	北陸		● 3	●	● 2	● 2	● 2														
	関東 東海	早 普	● 2.5 ● 3	●	● 2	● 2	● 2				● 発生期	● 前	● 再生前								
	近畿 中国	早 普	● 3 ● 3	●	● 2	● 2	● 2				● 発生期	● 前	● 再生前								
	四国	早 普	● 3 ● 3	●	● 2	● 2	● 2						● 再生前								
	九州	早 普	● 3 ● 3	●	● 2	● 2	● 2				● 発生期	● 前	● 再生前								

処理法	地域名	作期	ル・エ	一年 広葉 マハイ	オハ イ	ウリ カ	ミ ガ ヤ リ	ヘ ラ オ モ ダ カ	ク ロ ク ワ イ	オ モ ダ カ	ヒ ム シ ロ	藻 類 剥 離	ヤ リ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌 土	壤 土	堆 土	堆 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 23. KUH-989D -1kg 粒	北海道												● 再生前	+5~7月 13L	100 g/a						(28) (34)
	東北																				
	北陸		● 3	●	● 2	● 2	● 2	● 始				● 前									
	関東 東海	早 普	● 3 ● 3	●	● 2	● 2	● 2				● 発生期	● 前	● 再生前								
	近畿 中国	早 普	● 3 ● 3	●	● 2	● 2	● 2				● 発生期	● 前	● 再生前								
	四国	早 普	● 3 ● 3	●	● 2	● 2	● 2				● 発生期	● 前	● 再生前								
	九州	早 普	● 3 ● 3	●	● 2	● 2	● 2				● 発生期	● 前	● 再生前								

処理法	地域名	作期	ル・エ	一年 広葉 マハイ	オハ イ	ウリ カ	ミ ガ ヤ リ	ヘ ラ オ モ ダ カ	ク ロ ク ワ イ	オ モ ダ カ	ヒ ム シ ロ	藻 類 剥 離	ヤ リ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌 土	壤 土	堆 土	堆 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 24. KUH-989K -1kg 粒	北海道		● 3	●	● 2	● 2					● 発生期	● 前	● 再生前	+5~7月 13L	100 g/a	● 1.5	●	●	●	2	
	東北		● 3	●	● 2	● 2	● 2				● 発生期	● 前	● 再生前								
	北陸												● 始								
	関東 東海	早 普																			
	近畿 中国	早 普																			
	四国	早 普																			
	九州	早 普																			

	処理法	地域名	作期	ル・エ	一年 広葉 マハイ	オハイ	ウリカ	ミヤ カヤ グ	ヘラ モ ダカ	カウ グ グ	オモ グ カ	ヒル シ ロ	藻類 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌 土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意			
VII-2 25.MK-243D 7077 Ⅱ	苦葉菜 類処理	北海道	早	○2.5	○	○2	○2		○2			○発生	○前	○再生 始	○*	+5~ノノ 12.5L	50 ml/a	○1.5	○	○	○	2	(36) (38) (40) (42)	
		東北	早	○2.5	○	○2	○2	○2	○2	○前	○始	○始	○期	○前	○前	○00**	*1)ノノササカグ 2L **1)コサカグ 発生始 2)シ 発生始-6x3cm		○	○	○	○		
		北陸	早																					
		関東 東海	早																					
		近畿 中国	早																					
		四国	早																					
		九州	早																					
			普																					
			普																					
			普																					

クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することにより、さらに効果が向上する。(東北)
オモダカに有効な剤との組み合わせで連年施用することにより、さらに効果が向上する。(東北)

	処理法	地域名	作期	ル・エ	一年 広葉 マハイ	オハイ	ウリカ	ミヤ カヤ グ	ヘラ モ ダカ	クロウ グ グ	オモ グ カ	ヒル シ ロ	藻類 剥離		処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌 土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意		
VII-2 26.MK-243D① 7077 Ⅱ	茅葉養 液処理	北海道											再生 前			50 ml/a						(28) (34) (38) (41) (42)		
		東北											再生前 ～始											
		北陸	早	○2.5	○	○2	○2	○2				○始		○始		+5～ノノ 12.5L			○	○	○	2		
		関東 東海	早	○2.5	○	○2	○2	○2	○2				○発生 期	○前	○再生前 ～始			○	○	○	○	1		
			普	○2.5	○	○2	○2	○2	○2		○始		○発生 期	○前	○再生前 ～始			○	○	○	○	2		
		近畿 中国	早	●2.5	●	●2	●始	●始					●発生 期	●前	●再生前 ～始					●	●	●	1.5	
			普	○2.5	○	○2	○2	○2	○2		○始	○始	○期	○前	○始			○	○	○	○	2		
		四国	早	●2.5	●	●2	●始	●始					●発生 期	●前	●再生前 ～始				●	●	●	1.5		
			普	○2.5	○	○2	○2	○2	○2		○始		○発生 期	○前	○再生前 ～始				○	○	○	○	2	
		九州	早	○2.5	○	○2	○2	○2	○2			○始		○発生 期	○前	○再生前 ～始			●	○	○	○	1.5	
	普	○2.5	○	○2	○2	○2	○2		○始		○発生 期	○前	○始				○	○	○	○	2			

クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することにより、さらに効果が向上する。(関東・東海、九州)
オモダカに有効な剤との組み合わせで連年施用することにより、さらに効果が向上する。(北陸、近畿・中国、四国)

	処理法	地域名	作期	ル・エ	一年 広葉 マハイ	オハイ	ウリカ	ミヤ カヤ グ	ヘラ モ ダカ	カウ グ グ	オモ グ カ	ヒル シ ロ	藻類 剥離		処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌 土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意	
VII-2 27.MY-100D① -1kg 粒	葉菜類 糠処理	北海道											セリ 再生前			100 g/a						(28) (34)	
		東北																					
		北陸		○2.5	○	○2	○2	○2						○始		+5~ノビ 12.5L		●	○	○	○	2	
		関東 東海	早	●2.5	●	●2	●2	●2					●発生 ○期	●前 ○前	●再生前 ○始			●	●	●	●	1	
			普	○2.5	○	○2	○2	○2										●	○	○	○	2	
		近畿 中国	早	●2.5	●	●2	●始	●始					●発生 ○期	●前 ○前	●再生前 ○始				●				1.5
			普	○2.5	○	○2	○2	○2							○			○	○	○	○		
		四国	早	●2.5	●	●2	●始	●始					●発生 ○期	●前 ○前	●再生前 ○始				●	●	●		
			普	○2.5	○	○2	○2	○2										○	○	○	○		
		九州	早	○2.5	○	○2	○2	○2					○発生 ○期	○前 ○前	○始				○	○	○	○	
	普	○2.5	○	○2	○2	○2											○	○	○	○			

	処理法	地域名	作期	ル・エ	一年 広葉 マハイ	オハイ	ウリカ	ミヤ カヤ グ	ヘラ モ ダカ	カウ グ グ	オモ グ カ	ヒル シ ロ	藻類 剥離		処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌 土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意	
VII-2 28.MY-100DC 7077 Ⅱ	基業 養 壤処理	北海道		●2.5	●	●2	●始		●始			●発生	●前	●再生	+0～/ト 12.5L	50 ml/a	●1.5	●	●	●	2		
		東北		●2.5	●	●2	●始	●2	●始			●発生	●期	●前				●	●	●	1.5		
		北陸													始								
		関東 東海	早																				
			普																				
		近畿 中国	早																				
			普																				
		四国	早																				
			普																				
		九州	早																				
		普																					

処理法	地域名	作期	ル・エ	一年 広葉 マハイ	サハ	ウリカ	ミヤ ガリ	ヘラ モ タカ	クロ ワ	モダ カ	ヒメ シ ロ	藻類 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 cm/d	使用上の 注意
VII-2 29.MY-100DC ①7077' %	北海道											サリ		50 ml/a						(28) (34)
	東北																			
	北陸		●2.5	●	●2	●2	●2												1.5	
	関東	早										発生								
	普	●2.5	●	●2	●2	●2					発生	前	再生							
	近畿	早	●2.5	●	●2	●2	●2				発生	前	再生							
	中国	普	○2.5	○	○2	○2	○2				発生	前	○						2	
	四国	早	●2.5	●	●2	●2	●2				発生	前	再生						1.5	
	普	○2.5	○	○2	○2	○2	○2				発生	前	再生						2	
	九州	早	●2.5	●	●2	●2	●2	●前			発生	前	再生						1.5	
	普	●2.5	●	●2	●2	●2	●2				発生	前	○						2	

処理法	地域名	作期	ル・エ	一年 広葉 マハイ	サハ	ウリカ	ミヤ ガリ	ヘラ モ タカ	クロ ワ	モダ カ	ヒメ シ ロ	藻類 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 cm/d	使用上の 注意
VII-2 30.MY-100N 顆粒水和 H 8 まで RYH-110 顆粒 水和で実施	北海道		○2.5	○	○2	○2					○発生	○前	再生	4g/a					2	(28) (34)
	東北		○2.5	○	○2	○2	○2	●始			○期	○前	○	希釈 水 25 ml/a 但し 北陸 は 50 ml/a	●	○	○	○	1	田植同時 散布可能 (北海道・ 関東・東海・ 近畿・中国・ 四国)
	北陸		○2.5	○	○2	○2	○2					○始								
	関東	早	○2.5	○	○2	○2	○2				○発生	○	再生							
	普	○2.5	○	○2	○2	○2					○期	○前	再生						2	
	近畿	早	●2.5	●	●2	●2	●2				●発生	●前	●始							
	中国	普	○2.5	○	○2	○2	○2				○発生	○前	○							
	四国	早	●2.5	●	●2	●2	●2				●発生	●前	●再生							
	普	○2.5	○	○2	○2	○2	○2				○期	○前	再生							
	九州	早	○2.5	○	○2	○2	○2				○発生	○前	○始						1.5	
	普	○2.5	○	○2	○2	○2	○2				○期	○前	○						2	

VII-2 31.MY-100NC 顆粒水和「継」

VII-2 32.MY-100NC-1kg 粒「継」

処理法	地域名	作期	ル・エ	一年 広葉 マハイ	サハ	ウリカ	ミヤ ガリ	ヘラ モ タカ	クロ ワ	モダ カ	ヒメ シ ロ	藻類 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 cm/d	使用上の 注意
VII-2 33.MY-100TS 7077' % H 8 まで RYH-1037077' %で実施 II-6-(5) を併用	北海道		○2.5	○	○2	○2					○発生	○前	再生	50 ml/a	●5	○2	○	○	2	(28) (34) (40)
	東北		○2.5	○	○2	○2	○2	○2			○期	○前	○							
	北陸		○2.5	○	○2	○2	○2	○2				○始								
	関東	早	○2.5	○	○2	○2	○2				○発生	○	再生						1	水口処理可 能(北海道・ 東北・東海・ 九州)
	普	○2.5	○	○2	○2	○2	○2				○期	●前	再生						2	
	近畿	早	○2.5	○	○2	○2	○2				○発生	○前	○始						1	田植同時 散布可能 (北陸)
	中国	普	○2.5	○	○2	○2	○2				○期	○前	○						2	
	四国	早	○2.5	○	○2	○2	○2				○発生	○前	再生						1	※砂土は 10~ (関東・東海 ~四国) 早期)
	普	○2.5	○	○2	○2	○2	○2				○期	○前	再生						2	
	九州	早	○2.5	○	○2	○2	○2				○発生	○前	○始							
	普	○2.5	○	○2	○2	○2	○2				○期	○前	○						1.5	

処理法	地域名	作期	ル・エ	一年 広葉 マハイ	サハ	ウリカ	ミヤ ガリ	ヘラ モ タカ	クロ ワ	モダ カ	ヒメ シ ロ	藻類 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 cm/d	使用上の 注意
VII-2 34.NBA-941 -1kg 粒	北海道		○3	○	○2	○2					○発生	○前	再生	100 g/a	1.5	○	○	○	2	(28) (34) (40)
	東北		○3	○00***	○2	○2	○2	○2			○発生	○前	○							
	北陸		○3	○	○2	○2	○2				○	○前	○始							
	関東	早	○3	○	○2	○2	○2				○発生	○	再生							
	普	○3	○	○2	○2	○2	○2				○期	○前	再生							
	近畿	早	○2.5	○	○2	○2	○2				○発生	○前	○始						1	
	中国	普	○3	○	○2	○2	○2				○期	○前	○						2	
	四国	早	○2.5	○	○2	○2	○2				○発生	○前	再生						1	
	普	○3	○	○2	○2	○2	○2				○期	○前	再生						2	
	九州	早	○3	○	○2	○2	○2				○発生	○前	○始							
	普	○3	○	○2	○2	○2	○2				○期	○前	○							

処理法	地域名	作期	ハ'エ	一年広葉マハ'イ	オハ'イ	ウハ'イ	ミ'ガ'リ	ヘ'オ'モ'ダ'カ	クロ'グ'リ	オ'モ'グ'カ	ヒ'ル'シ'ロ	藻類剥離	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	堆土	堆土	減水深cm/d	使用上の注意
VII-2 35.NBA-942b -1kg 粒	北海道											○前	○*	100 g/a						(28)
	東北											○前	○*							(34)
	北陸		○3	○	○2	○2	○2	○2				○前	+5~ハ' I3L		○	○	○	○	2	
	関東	早	●3	●	●2	●2	●2				●発生	●前	●再生				●	●	1	
	東海	普	○3	○	○2	○2	○2				○期	○前	○前		○	○	○	○	2	
	近畿	早	○3	○	○2	○2	○2				○発生	○前	○前			○	○	○	1	
	中国	普	○3	○	○2	○2	○2				○期	○前	○前		○	○	○	○	2	
	四国	早	○3	○	○2	○2	○2				○発生	○前	○前			○	○	○	1	
		普	○3	○	○2	○2	○2				○期	○前	○前		○	○	○	○	2	
	九州	早	○3	○	○2	○2	○2				○発生	○前	○前		○	○	○	○	2	
		普	○3	○	○2	○2	○2				○期	○前	○前		○	○	○	○		

	処理法	地域名	作期	ハ'エ	広葉マハ'イ	オハ'イ	ウハ'イ	ミ'ガ'リ	ヘ'オ'モ'ダ'カ	クロ'グ'リ	オ'モ'グ'カ	ヒ'ル'シ'ロ	藻類剥離	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	堆土	堆土	減水深 cm/d	使用上の 注意		
VII-2 36.NC-311DCD -1kg 粒	莖葉茶・緑茶処理	北海道		○3	○	○2	○2		○2		○前	○発生	○前	○再生	+5~ノビ13L *ノ'ノ'ノサ'ガ'サ : 2L *: 発生数-5~3cm ***カ'コ'キ *: 子葉期	100 g/a	5	○	○	○	○	2	(28) (34) (38) (40)
		東北		○3	00***	○2	○2	○2	○2				○期	○前		○前	○**	○	○	○	○		
		北陸		○3	○	○2	○2	○2						○前		○始		○	○	○	○		
		関東	早	○3	○	○2	○2	○2					○発生	○前		○再生		○	○	○	○	1	
		東海	普	○3	○	○2	○2	○2					○期	○前		○前		○	○	○	○	2	
		近畿	早	○3	○	○2	○2	○2					○発生	○前		○前			○	○	○	1	
		中国	普	○3	○	○2	○2	○2					○期	○前		○前		○	○	○	○	2	
		四国	早	○3	○	○2	○2	○2					○発生	○前		○再生			○	○	○	1	
			普	○3	○	○2	○2	○2					○期	○前		○前		○	○	○	○	2	
		九州	早	○3	○	○2	○2	○2					○発生	○前		○前			○	○	○	1	
			普	○3	○	○2	○2	○2					○期	○前		○前		○	○	○	○	2	

	処理法	地域名	作期	ハ'エ	一年 広葉 マハ'イ	オハ'イ	ウハ'イ	ミ'ガ ヤ'リ	ヘ'ラオ ダ'カ	クロ'グ ワイ	オ'モ'グ カ	ヒ'ルシ ロ	藻類 剥離		処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌 土	壤 土	堆 土	堆 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意				
Ⅶ-2 37.NC-339 顆粒水和 Ⅱ-6-(2) を併用	葉 養 液 土 壌 処 理	北海道		○2.5	○	○2	○2		●2		●前	○発生	○前	○再生	○*	+5〜ノビ 12.5L *エ'ノ / サ'スガ'サ 2L **シ'ス'イ : 発生数-草丈3cm	4g/a (希釈水 25〜50 ml/a ただし 50ml/a)	●5	○	○	○	2.	(28) (34) (38) (40)			
		東北		○2.5	○	○2	○2	○2	○2			○期		○前	○**			○	○	○	○					
		北陸		○2.5	○	○2	○2	○2	○2					○始				○	○	○	○					
		関東 東海	早	○2.5	○	○2	○2	○2	○2					○発生	○前			○再生		○	○			○	○	
			普	○2.5	○	○2	○2	○2	○2					○期	○前			○前		○	○			○	○	
		近畿 中国	早	○2.5	○	○2	○2	○2	○2					○発生	○前			○前			○			○	○	1
			普	○2.5	○	○2	○2	○2	○2					○期	○前			○始			○			○	○	2
		四国	早	○2.5	○	○2	○2	○2	○2					○発生	○前			○再生			○			○	○	1
			普	○2.5	○	○2	○2	○2	○2					○期	○前			○前			○			○	○	2
		九州	早	○2.5	○	○2	○2	○2	○2					○発生	○前			○前			●			○	○	1
			普	○2.5	○	○2	○2	○2	○2					○期	○前			○始			○			○	○	1.5

	処理法	地域名	作期	ハ'エ	一年 広葉マ'イ	オ'ハ'イ	ウ'リ'カ	ミ'ガ'リ	ヘ'オ'モ'ダ'カ	クロ'グ'リ	オ'モ'グ'カ	ヒ'ル'シ'ロ	藻類 剥離	処理時期	使用 量・製品	砂 壌土	壤 土	堆 土	堆 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意		
VII-2 38.NC-339 -1kg 粒	葉菜 草・ 糠処理	北海道		○2.5	○	○2	○2		○2			○発生 期	○前 期	○再生 前 始	+5〜+12.5L 100 g/a		○	○	○	2	(28) (34)		
		東北		○2.5	○	○2	○2	○2				○期	○前 期	○再生 前 始				○	○	1.5			
		北陸		○2.5	○	○2	○2	○2						○始				○	○	○		2	
		関東 東海	早	○2.5	○	○2	○2	○2	○2				○発生 期	○前 期		○再生 前 始			○	○		○	
		普	○2.5	○	○2	○2	○2	○2				○期	○前 期	○再生 前 始			○	○	○	○			
		近畿 中国	早	○2.5	○	○2	○2	○2	○2				○発生 期	○前 期		○再生 前 始			○	○		○	1
		普	○2.5	○	○2	○2	○2	○2				○期	○前 期	○再生 前 始			○	○	○	○		2	
		四国	早	○2.5	○	○2	○2	○2	○2				○発生 期	○前 期		○再生 前 始			○	○		○	1
		普	○2.5	○	○2	○2	○2	○2				○期	○前 期	○再生 前 始			○	○	○	○		2	
		九州	早	○2.5	○	○2	○2	○2	○2				○発生 期	○前 期		○再生 前 始		●	●	○		○	1.5
		普	○2.5	○	○2	○2	○2	○2				○期	○前 期	○再生 前 始					○	○		1	

	処理法	地域名	作期	ハ'エ	一年 広葉マハ'イ	オハ'イ	ウリカ	ミ'ガ'リ	ヘ'オモ'ダ'カ	クロ'グ'ワイ	オモ'ガ'カ	ヒ'ル'シ'ロ	藻類剥離	サリ	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴土	埴土	埴土	減水深 cm/d	使用上の 注意		
VII-2 39. NC-355 顆粒水和	千葉県土壌処理	北海道		○2.5	○	○2	○2		○2			○前	○発生期	○前	○再生前	○*	+5〜+12月 2.5L	○1.5	○	○	○	○	2	(28) (34) (38) (40)	
		東北		○2.5	00***	○2	○2	○2	○2	○2				○期		○前	○**	*エ' / ナサスカ'サ : 2L **シ'イ : 発生後〜50cm ***カ'ワ'キ : 発生後〜50cm	○1.5	○	○	○	○		水口処理可能 : 北海道 (25〜50ml/a) の水で希釈 : 東北〜九州 (50ml/a) の水で希釈
		北陸		○2.5	○	○2	○2	○2	○2	○2						○始		○	○	○	○	○			
		関東東海	早	○2.5	○	○2	○2	○2	○2				○発生期		○	○再生前		○	○	○	○	○			
		普	○2.5	○	○2	○2	○2	○2					○発生期		○	○再生前		○	○	○	○	○			
		近畿中国	早	○2.5	○	○2	○2	○2	○2				○発生期	○前	○始		○	○	○	○	○	1			
		普	○2.5	○	○2	○2	○2	○2					○発生期	○前	○		○	○	○	○	○	2			
		四国	早	○2.5	○	○2	○2	○2	○2				○発生期	○前	○再生前		○	○	○	○	○	1			
		普	○2.5	○	○2	○2	○2	○2					○発生期	○前	○再生前		○	○	○	○	○	2			
		九州	早	○2.5	○	○2	○2	○2	○2				○発生期	○前	○始		○	○	○	○	○	1			
		普	○2.5	○	○2	○2	○2	○2					○期	○前			○	○	○	○	○				

処理法	地域名	作期	ハ'エ	一年広葉マハ'イ	オハ'イ	ウリカ	ミ'ガ'リ	ヘ'オモ'ダ'カ	クロ'グ'ワイ	オモ'ガ'カ	ヒ'ル'シ'ロ	藻類剥離	サリ	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴土	埴土	埴土	減水深cm/d	使用上の注意
VII-2 40. NC-385 顆粒水和	千葉県土壌処理	北海道	●2.5	●	●2	●2					●発生期	●前	●再生前	●	6g/a (総量50ml/a)	●1.5	●	●	●	●	2	(28) (34)
		東北	●2.5	●	●2	●始	●2	●2			●期		●前				●	●	●	●	1.5	
		北陸	●2.5	●	●2	●2	●2	●始					始				●	●	●	●		
		関東東海	早								発生期		再生前									
		普	●2.5	●	●2	●2	●2				●発生期	●前	●再生前				●	●	●	●	2	
		近畿中国	早								発生期		始									
		普	●2.5	●	●2	●2	●2				●発生期	●前	●				●	●	●	●	1.5	
		四国	早								発生期		再生前									
		普	●2.5	●	●2	●2	●2				●期	●前	●再生前				●	●	●	●		
		九州	早								発生期		始									
		普	●2.5	●	●2	●2	●2				●期	●前	●				●	●	●	●	1	

処理法	地域名	作期	ハ'エ	一年広葉マハ'イ	オハ'イ	ウリカ	ミ'ガ'リ	ヘ'オモ'ダ'カ	クロ'グ'ワイ	オモ'ガ'カ	ヒ'ル'シ'ロ	藻類剥離	サリ	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴土	埴土	埴土	減水深cm/d	使用上の注意
VII-2 41. NC-390 7077%	千葉県土壌処理	北海道	●3	●	●2	●2					●発生期	●前	●再生前	●	50ml/a	●1.5	●	●	●	●	2	(28) (34)
		東北	●3	●	●2	●2	●2				●期		●前					●	●	●	1.5	
		北陸	●3	●	●2	●2	●2						始								1	
		関東東海	早								発生期		再生前									
		普	●3	●	●2	●2	●2				●発生期	●前	●再生前				●	●	●	●		
		近畿中国	早								発生期		始									
		普	●3	●	●2	●2	●2				●期	●前	●				●	●	●	●	1.5	
		四国	早								発生期		再生前									
		普	●3	●	●2	●2	●2				●期	●前	●再生前				●	●	●	●		
		九州	早								発生期		始									
		普	●3	●	●2		●2				●前	●					●	●	●	●	2	

	処理法	地域名	作期	ハ'エ	一年 広葉マハ'イ ***	オハ'イ	ウリカ	ミ'ガ'リ	ヘ'オモ'ダ'カ	クロ'グ'ワイ	オモ'ガ'カ	ヒ'ル'シ'ロ	藻類剥離		処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴土	埴土	減水深 cm/d	使用上の 注意	
VII-2 43. NCH-903 DEH-1kg粒	葉菜類 土壌処理	北海道	○3	○	○	○2	○2		○2		○前	○発生期	○前	○再生前	00*	+5〜/ビ' IXL *イ' / サ'ヤスカ'グ'サ : 2L **シ'イ : 発生後・電丈3cm ***カ'ワ'キ : 本葉1葉期	100 g/a	○5	○	○	○	2	(28) (34) (38)
		東北	○3	○	○	○2	○2	○2	○2				○発生期	○前	○前		00**	○	○	○	○		
		北陸	○3	○	○	○2	○2	○2	○2				○	○前	○始			○	○	○	○		
		関東東海	早	○3	○	○2	○2	○2	○2				○発生期	○前	○再生前			●1	○	○	○		
		普	○3	○	○	○2	○2	○2	○2				○期	○前	○再生前			○	○	○	○		
		近畿中国	早	○3	○	○	○2	○2	○2				○発生期	○前	○始				○	○	○	1	
		普	○3	○	○	○2	○2	○2	○2				○期	○前	○始				○	○	○		
		四国	早	○3	○	○	○2	○2	○2				○発生期	○前	○再生前				○	○	○		
		普	○3	○	○	○2	○2	○2	○2				○期	○前	○再生前				○	○	○		
		九州	早	○3	○	○	○2	○2	○2	○2				○発生期	○前		○始			○	○	○	1.5
		普	○3	○	○	○2	○2	○2	○2				○期	○前	○始				○	○	○		

処理法	地域名	作期	ハ'エ	一年 広葉 マハ'イ	オハ'イ	ウリカ	ミ'ガ ヤ ツリ	ヘ'オ モ ダ'カ	クロ'グ ワ'イ	オ'モ ダ'カ	ヒ'ム シ ロ	藻類 表層 剥離	セリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌 土	壤 土 1.5	壇 土	壇 土	壇 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 44. NH-803 7077 粒	千葉県 土壌処理	北海道	●2.5	●	●2	●2					●発生期	●前	●再生前	+5~ハ'エ2.5L	50 ml/a	●	●	●	●	●	2	
		東北	●2.5	●	●2	●2	●始	●2			●発生期	●前	●再生前								1.5	
		北陸											●再生前									
		関東海	早																			
		普																				
		近畿中	早																			
		普																				
		四国	早																			
		普																				
		九州	早																			
		普																				
VII-2 45. NH-804 7077 粒	千葉県 土壌処理	北海道											セリ	+5~ハ'エ2.5L	50 ml/a							(28) (34)
		東北																				
		北陸	●2.5	●	●2	●2	●2					●前						●	●	●	1	
		関東海	早									●発生期	●再生前									
		普	●2.5	●	●2	●2	●2				●発生期	●前	●再生前					●	●	●	2	
		近畿中	早										●再生前									
		普	●2.5	●	●2	●2	●2					●前	●始					●	●	●	1	
		四国	早																			
		普	●2.5	●	●2	●2	●2					●前	●再生前					●	●	●		
		九州	早	●2.5	●	●2	●2	●2			●発生期	●前	●再生前			●	●	●	●	●	1.5	
		普	●2.5	●	●2	●2	●2				●発生期	●前	●始			●	●	●	●	●	1	
VII-2 46. NH-807 -1kg 粒	千葉県 土壌処理	北海道	●3	●	●2	●2					●発生期	●前	●再生前	+5~ハ'エ3L	100 g/a	●	●	●	●	●	2	
		東北	●3	●	●2	●2	●2				●発生期	●前	●再生前								1.5	
		北陸											●始									
		関東海	早																			
		普																				
		近畿中	早																			
		普																				
		四国	早																			
		普																				
		九州	早																			
		普																				
VII-2 47. NH-808 -1kg 粒	千葉県 土壌処理	北海道											セリ	+5~ハ'エ3L	100 g/a							(28) (34)
		東北																				
		北陸	●3	●	●2	●2	●2					●前						●	●	●	1.5	
		関東海	早									●発生期	●再生前									
		普	●3	●	●2	●2	●2				●発生期	●前	●再生前					●	●	●	2	
		近畿中	早									●発生期	●再生前									
		普	●3	●	●2	●2	●2				●発生期	●前	●始					●	●	●	1.5	
		四国	早																			
		普	●3	●	●2	●2	●2				●発生期	●前	●再生前					●	●	●		
		九州	早	●3	●	●2	●2	●2				●前	●始			●	●	●	●	●		
		普	●3	●	●2	●2	●2					●				●	●	●	●	●		

処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マハイ	オハ イ	ウハ イ	ミ ガ リ	ヘ オ タ カ	クロ ワ イ	オ モ ガ	ヒ ム シ ロ	藻 類 剥 離	セ リ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌 土	壤 土	堆 土	堆 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 48.N0J-101 -1kg 粒	北海道		●3	●	●2	●2					●発生 期	●前	●再生 前	+5~ノビ I3L	100 g/a	●	●	●	●	2	
	東北		●3	●	●2	●2	●2	●2			●発生 期	●前	●再生 前								
	北陸		●3	●	●2	●2	●2						●始								
	関東海	早	●3	●	●2	●2	●2				●発生 期	●前	●再生 前								
	普		●3	●	●2	●2	●2				●発生 期	●前	●再生 前								
	近畿 中国	早									●発生 期	●前	●再生 前								
	普		●3	●	●2	●2	●2				●発生 期	●前	●再生 前								
	四国	早									●発生 期	●前	●再生 前								
	普		●3	●	●2	●2	●2				●発生 期	●前	●再生 前								
	九州	早									●発生 期	●前	●再生 前								
	普												●始								

VII-2 49.N0J-102 顆粒水和 「継」

処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マハイ	オハ イ	ウハ イ	ミ ガ リ	ヘ オ タ カ	クロ ワ イ	オ モ ガ	ヒ ム シ ロ	藻 類 剥 離	セ リ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌 土	壤 土	堆 土	堆 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 50.N0J-103 -1kg 粒	北海道		●3	●	●2	●2					●発生 期	●前	●再生 前	+5~ノビ I3L	100 g/a	●	●	●	●	2	
	東北		●3	●	●2	●2	●2	●2			●発生 期	●前	●再生 前								
	北陸												●始								
	関東海	早																			
	普																				
	近畿 中国	早																			
	普																				
	四国	早																			
	普																				
	九州	早																			
	普																				

処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マハイ	オハ イ	ウハ イ	ミ ガ リ	ヘ オ タ カ	クロ ワ イ	オ モ ガ	ヒ ム シ ロ	藻 類 剥 離	セ リ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌 土	壤 土	堆 土	堆 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 51.N0J-104 -1kg 粒	北海道													+5~ノビ I2.5L	100 g/a	●	●	●	●	2	
	東北																				
	北陸																				
	関東海	早									●発生 期	●前	●再生 前								
	普		●2.5	●	●2	●2	●2				●発生 期	●前	●再生 前								
	近畿 中国	早									●発生 期	●前	●再生 前								
	普		●3	●	●2	●2	●2				●発生 期	●前	●再生 前								
	四国	早									●発生 期	●前	●再生 前								
	普		●3	●	●2	●2	●2				●発生 期	●前	●再生 前								
	九州	早									●発生 期	●前	●再生 前								
	普												●始								

VII-2 52.N0J-105 OF 「継」

VII-2 53.N0J-106 OF 「継」

処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マハイ	オハ イ	ウハ イ	ミ ガ リ	ヘ オ タ カ	クロ ワ イ	オ モ ガ	ヒ ム シ ロ	藻 類 剥 離	セ リ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌 土	壤 土	堆 土	堆 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 54.NSK-858 7077g 粉	北海道		○2.5	○	○2	○2		○2			○発生 期	○前	○再生 前	+0~ノビ I2.5L (8割以上+5~)	50 ml/a	○	○	○	○	2	(36) (38) (40) (42)
	東北		○2.5	○	○2	○2	○2	○2	○前	○始	○期	○前	○前								
	北陸												○始								
	関東海	早																			
	普																				
	近畿 中国	早																			
	普																				
	四国	早																			
	普																				
	九州	早																			
	普																				

クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。(東北)
オモダカに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。(東北)

	処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マハ・イ	オハ・イ	ウハ・イ	ミ・ヤ ガ・リ	ヘ・オ タ・カ	クロ グ・リ	ヒル ム・シ	藻類 剥離	処理	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌 土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意		
VII-2 55. NSK-858(L) 7077 ¹ g	喜葉菜土壌処理	北海道											再生 前		50 ml/a						(28) (34) (36) (38) (42)		
		東北												再生 前									
		北陸		○2.5	○	○2	○2	○2			○始			○始	+5~ノ・ノ I2.5L			○	○	○	2.		
		関東 東海	早	○2.5	○	○2	○2	○2	○2				○発生	○前	○	±0~ノ・ノ I2.5L	1	○	○	○		水口処理 可能 (北陸・関東・ 東海・近畿・ 中国～九州)	
			普	○2.5	○	○2	○2	○2	○2				○始	○期	○前	○		○	○	○	1.5		
		近畿 中国	早	○2.5	○	○2	○2	○2	○2					○発生	○前	○			○	○	○	1	
			普	○2.5	○	○2	○2	○2	○2					○期	○前	○			○	○	○	1.5	
		四国	早	○2.5	○	○2	○2	○2	○2					○発生	○前	○			○	○	○	1	※砂壌土 は、 (関東・東海 の早期)
			普	○2.5	○	○2	○2	○2	○2					○期	○前	○			○	○	○	1.5	
		九州	早	○2.5	○	○2	○2	○2	○2					●発生	○前	○	+5~ノ・ノ I2.5L	●	●	○	○	2	
			普	○2.5	○	○2	○2	○2	○2		○始	○始	●期	●前	○	○*	+5~ノ・ノ I2.5L	○	○	○			※ウサギ糞 ：発生始

クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。(九州)
オモダカに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。(北陸、関東・東海、九州)

	処理法	地域名	作期	ハ・エ	年 広葉 マハ・イ	オハ・イ	ウハ・イ	ミ・ヤ ガ・リ	ヘ・オ タ・カ	クロ グ・リ	オモ グ・カ	ヒル ム・シ	藻類 剥離		処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意		
VII-2 56. NSK-858㊟ -1kg 粒	茅葉糞 土壌処理	北海道												セリ		100 g/a								
		東北																						
		北陸		●2.5	●	●2	●2	●2								+5〜ノ・ノ I2.5L			●	●	●	1.5		
		関東	早																					
		普	●2.5	●	●2	●2	●2					●発生期	●前	●	再生前〜始				●	●	●	1		
		近畿	早																					
		中国	普	●2.5	●	●2	●2	●2						●前	●				●	●	●			
		四国	早																					
		普	●2.5	●	●2	●2	●2							●前	●	再生前〜始				●	●	●		
		九州	早																	●	●	●		
		普																						

	処理法	地域名	作期	ハ・エ	年 広葉 マハ・イ	オハ・イ	ウハ・イ	ミ・ヤ ガ・リ	ヘ・オ タ・カ	クロ グ・リ	オモ グ・カ	ヒル ム・シ	藻類 剥離		処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌 土	壤 土 ⁵	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意	
VII-2 57. NSK-858A -1kg 粒	茎葉養分 液処理	北海道		●2.5	●	●2	●2					●発生 期	●前	●再生 前 始	+5～/t 2.5L	100 g/a		●	●	●	2		
		東北		●2.5	●	●2	●2	●2	●2				●発生 期	●前				●	●	●	1.5		
		北陸																					
		関東	早																				
		普																					
		近畿	早																				
		中国	普																				
		四国	早																				
		普																					
		九州	早																				
普																							

	処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マハ・イ	オハ・イ	ウハ・イ	ミ・ヤ ガ・リ	ヘ・オ タ・カ	クロ グ・リ	オモ グ・カ	ヒル ム・シ	藻類 剥離	処理	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌 土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意			
VII-2 58. RH-631 -1kg 粒	葉菜 類 菜 類 処理	北海道		○2.5	○	○2	○2					○発生	○前	○再生 前	+5~ハ・エ I2.5L	100 g/a		○	○	○	2	(28) (34)			
		東北		○2.5	○	○2	○2	○2	○2			○期	○	○前						○	○		1.5		
		北陸		○2.5	○	○2	○2	○2					○前	○始						○	○				
		関東	早	●2.5	●	●2	●2	●2					●発生	●前			●再生 前			●	●		●	2	
		東海	普	○2.5	○	○2	○2	○2					○期	○前			○			○	○		○		
		近畿	早										○発生	○前			○始								
		中国	普	○2.5	○	○2	○2	○2					○期	○前			○			○	○		○	1.5	
		四国	早										○発生	○前			○再生 前								
		普	○2.5	○	○2	○2	○2						○期	○前			○			○	○		○		
		九州	早	●2.5	●	●2	●2	●2					●発生	●前			●再生 前			●	●		●	●	1
		普	●2.5	●	●2	●2	●2						●期	●前			●			●	●		●		

処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マツハ	オハ イ	ウハ イ	ミ ガ リ	ハ オ モ ダ カ	ク ロ グ ワ イ	オ モ ダ カ	ヒ メ シ ロ	藻類 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	堆 土	堆 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 59.SB-546 7077g Ⅱ 茎葉兼土壌処理	北海道		●2.5	●	●2	●2							+5~ノビ 12.5L	50 ml/a		●	●	●	2	
	東北		●2.5	●	●2	●2	●2										●	●	1.5	
	北陸		●2.5	●	●2	●始	●2	●始									●	●		
	関東 東海	早																		
		普																		
	近畿 中国	早																		
		普																		
	四国	早																		
		普																		
	九州	早																		
		普																		

VII-2 60.SW-991-1kg 粒「継」

処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マツハ	オハ イ	ウハ イ	ミ ガ リ	ハ オ モ ダ カ	ク ロ グ ワ イ	オ モ ダ カ	ヒ メ シ ロ	藻類 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	堆 土	堆 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 61.III-951 7077g Ⅱ 茎葉兼土壌処理	北海道		○2.5	○	○2	○2					○発生	○前	+0~ノビ 12.5L	50 ml/a		○	○	○	2.	(28) (34)
	東北		○2.5	○	○2	○2	○2	○2			○発生	○前			●	○	○	○		水口処理 可能 (東北)
	北陸		○2.5	○	○2	○2	○2					○始			●	●	○	○		田植同時 散布可能 (北陸)
	関東 東海	早	○2.5	○	○2	○2	○2				○発生	○前			○	○	○	○		
		普	○2.5	○	○2	○2	○2				○発生	○前			○	○	○	○		
	近畿 中国	早	○2.5	○	○2	○2	○2				○発生	○前	○始			○	○	○	1	
		普	○2.5	○	○2	○2	○2				○発生	○前			○	○	○	○	1.5	
	四国	早	○2.5	○	○2	○2	○2				○発生	○前				○	○	○		
		普	○2.5	○	○2	○2	○2				○発生	○前	○再			○	○	○	1.5	*砂土は 5~(北陸)
	九州	早	○2.5	○	○2	○2	○2				○発生	○前	○始			○	○	○		
		普	○2.5	○	○2	○2	○2				○発生	○前			○	○	○	○	2	

処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マツハ	オハ イ	ウハ イ	ミ ガ リ	ハ オ モ ダ カ	ク ロ グ ワ イ	オ モ ダ カ	ヒ メ シ ロ	藻類 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	堆 土	堆 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 62.MY-100DA -1kg 粒 H 8 まで RYH-102-1kg 粒で実施 Ⅱ-6-(1) Ⅱ-6-(2) を併用	北海道		○2.5	○	○2	○2		○2		●前	○発生	○前	+5~ノビ 12.5L	100 g/a	1.5	○	○	○	2	(28) (34) (38) (42)
	東北		○2.5	○	○2	○2	○2		●前	●始	○発生	○前			○	○	○	○		
	北陸		○2.5	○	○2	○2	○2					○始					○	○		
	関東 東海	早	○2.5	○	○2	○2	○2				○発生	○前		*エノ / サヤスガノサ : 2L **シスイ : 発生後~ 取次 3cm		○	○	○		
		普	○2.5	○	○2	○2	○2				○発生	○前				○	○	○		
	近畿 中国	早									○発生	○前	○再				○	○		
		普	○2.5	○	○2	○2	○2				○発生	○前	○始			○	○	○		
	四国	早									○発生	○前	○再				○	○		
		普	○2.5	○	○2	○2	○2				○発生	○前	○始			○	○	○		
	九州	早	○2.5	○	○2	○2	○2				○発生	○前	○始			○	○	○	1	
		普	○2.5	○	○2	○2	○2				○発生	○前			○	○	○	○		

クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。(東北)
オモダカに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。(東北)

VII-2 63.N01-107 顆粒水和「継」

VII-2 未42.NC-396-1kg 粒「継」

VII-2 未64.NC-395 顆粒水和「継」

VII-3 長期持続型一発処理剤

処理法	地域名	作期	バ' E	一年 広葉 マハ' E	サ' R	ウ' R	ミ' Y ガ' R	ヘ' R タ' R	ク' R タ' R	モ' R タ' R	ヒ' R シ' R	藻類 表層 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌土	壌 土	埋 土	埋 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-3 1. AC-014A -1kg 粒 II-6-(2) を併用	北海道		○1.5	○	○2	○2		○2		●前	○発生	○前	+0~バ' E 1.5L	100 g/a	○1.5	○	○	○	2	(38)
	東北		○1.5	○	○2	○2	○2				○期	○前			○	●	○	○	1.5	田植同時 散布可能 (北海道 ~四国)
	北陸		○1.5	○	○2	○2	○2								○	○	○	○	2	
	関東 東海	早	○1.5	○	○2	○2	○2				○発生	○前			○	○	○	○	1	
		普	○1.5	○	○2	○2	○2				○期	○前			○	○	○	○	2	
	近畿 中国	早	○1.5	○	○始	○始	○始				○発生	○前			○	○	○	○	1	
		普	○1.5	○	○2	○2	○2			●前	○発生	○前			○	○	○	○	1.5	
	四国	早	○1.5	○	○始	○始	○始				○発生	○前			○	○	○	○	1	
		普	○1.5	○	○2	○2	○2			●前	○発生	○前			○	○	○	○	1.5	
	九州	早																		
		普																		

オモダカに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。(近畿・中国・四国)

処理法	地域名	作期	バ' E	一年 広葉 マハ' E	サ' R	ウ' R	ミ' Y ガ' R	ヘ' R タ' R	ク' R タ' R	モ' R タ' R	ヒ' R シ' R	藻類 表層 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌土	壌 土	埋 土	埋 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-3 2. NBA-074 -1kg 粒	北海道		●2	●	●始	●始					●発生	●前	+0~バ' E 1.2L	100 g/a	○1.5	●	●	●	2.	(28) (34)
	東北		○2	○	○2	○2	○2				●発生	●前			○	○	○	○		田植同時 散布可能 (北陸~四国)
	北陸		○2	○	○2	○始	○始					再生前~始			●	○	○	○		
	関東 東海	早	○2	○	○2	○2	○2				○発生	○前			○	○	○	○		
		普	○2	○	○2	○2	○2				○期	○前			○	○	○	○		
	近畿 中国	早	●2	●	●2	●2	●2				●発生	●前				●	●	●	1.5	
		普	○2	○	○2	○2	○2				○発生	○前				○	○	○		
	四国	早	●2	●	●2	●2	●2				●発生	●前				●	●	●		
		普	○2	○	○2	○2	○2				○発生	○前				○	○	○		
	九州	早	○2	○	○2	○2	○2				○発生	○前			○	○	○	○		
		普	○2	○	○2	○2	○2				○期	○前			○	○	○	○	2	

IX 一年生持続型除草剤

処理法	地域名	作期	バ' E	一年 広葉 マハ' E	サ' R	ウ' R	ミ' Y ガ' R	ヘ' R タ' R	ク' R タ' R	モ' R タ' R	ヒ' R シ' R	藻類 表層 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌土	壌 土	埋 土	埋 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
IX 1. AJH-181 -1kg 粒	北海道												+0~バ' E 1.2L	100 g/a						田植同時 散布可能 (近畿・中国、 四国)
	東北																			
	北陸																			
	関東 東海	早																		
		普																		
	近畿 中国	早																		
		普	●2	●	●2						●前					●	●	●	1.5	
	四国	早																		
		普	●2	●	●2						●前					●	●	●		
	九州	早																		
		普	●2	●	●2						●前				●	●	●	●	2	

処理法	地域名	作期	バ' E	一年 広葉 マハ' E	サ' R	ウ' R	ミ' Y ガ' R	ヘ' R タ' R	ク' R タ' R	モ' R タ' R	ヒ' R シ' R	藻類 表層 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌土	壌 土	埋 土	埋 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
IX 2. AJH-182 -1kg 粒	北海道		●2	●	●2						●前		+0~バ' E 1.2L	100 g/a	○1.5	●	●	●	2	田植同時 散布可能 (関東・東海)
	東北		●2	●	●2			●2							○	●	●	●	1.5	
	北陸		●2	●	●2												●	●	1	
	関東 東海	早	●2	●	●2												●	●	2	
		普	●2	●	●2												●	●		
	近畿 中国	早																		
		普																		
	四国	早																		
		普																		
	九州	早																		
		普																		

	処理法	地域名	作期	ハ'エ	一年 広葉 マハ	オハ	ウハ	ミ ガ ツ	ハ オ ダ カ	ク ロ ダ イ	オ モ ダ カ	ヒ ム シ ロ	藻 類 剥 離		処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌 土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
IX 3. CHG-948 -1kg 粒	土壌処理	北海道		○1.5	○	○始			○2						+5~ハ' E1.5L	100 g/a	○	○	○	○	2	(28)
		東北		○1.5	○	○始			○2								○	○	○	○		
		北陸		○1.5	○	○始			○2								○	○	○	○		
		関東 東海	早	○1.5	○	○始											○	○	○	○	1	
			普	○1.5	○	○始											○	○	○	○	2	
		近畿 中国	早	○1.5	○	○始												○	○	○	1	
			普	○1.5	○	○始											○	○	○	○	1.5	
		四国	早	○1.5	○	○始												○	○	○	1	
			普	○1.5	○	○始											○	○	○	○	1.5	
		九州	早	○1.5	○	○始											○	○	○	○	1	
			普	○1.5	○	○始											○	○	○	○	1.5	

IX 5. MY-100MS 7077ル「継」

	処理法	地域名	作期	ハ'エ	一年 広葉 マハ	オハ	ウハ	ミ ガ ツ	ハ オ ダ カ	ク ロ ダ イ	オ モ ダ カ	ヒ ム シ ロ	藻 類 剥 離		処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌 土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
IX 6. SB-533 7077ル	土壌処理	北海道		○1.5	○	○始			○始						+0~ハ' E1.5L	50 ml/a	○	○	○	○	2.	水口処理 可能 (関東・東海)
		東北		○1.5	○	○始											○	○	○	○		
		北陸		○1.5	○	○始											●	●	○	○		
		関東 東海	早	○1.5	○	○始											○	○	○	○	1	
			普	○1.5	○	○始		●始									○	○	○	○	2	
		近畿 中国	早	●1.5	●	●始		●始									●	●	●	●	1.5	
			普	○1.5	○	○始		●始									●	○	○	○		
		四国	早	●1.5	●	●始		●始									●	●	○	○		
			普	○1.5	○	○始		●始									●	○	○	○		
		九州	早	●1.5	●	●2		●前									●	●	●	●		
			普	○1.5	○	○始											○	○	○	○	2	

IX 7. SW-992-1kg 粒「継」

IX 未4. HOK-983 7077ル「継」

X 0.5kgおよび0.25kg粒剤

移植後土壌処理剤

X 1. KUH-992-0.25kg 粒「継」

一発処理剤

X 1. AGH-987-0.5kg 粒「継」

	処理法	地域名	作期	ハ'エ	一年 広葉 マハ	オハ	ウハ	ミ ガ ツ	ハ オ ダ カ	ク ロ ダ イ	オ モ ダ カ	ヒ ム シ ロ	藻 類 剥 離		処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌 土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
X 2. KUH-986D -0.25kg 粒	土壌処理	北海道														25 g/a						(48)
		東北																				
		北陸		●2	●	●始	●始	●始										●	●	●	1.5	
		関東 東海	早																			
			普	●2	●	●始	●始	●始				●発生期	●再生前~始				●	●	●	●	2	
		近畿 中国	早																			
			普	●2	●	●2		●2				●前	●					●	●	●	1	
		四国	早																			
			普	●2	●	●2		●2				●前	●再生前~始					●	●	●		
		九州	早																			
			普																			

	処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マハイ	オハ イ	ウハ イ	ミ ガ リ	ヘ ア タ カ	クロ イ	オ タ カ	ヒ ム シ ロ	藻類 表層 剥離	サ リ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌 土	埴 土 1.5	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
X 3. KUH-986K -0.25kg 粒	土壌処理	北海道	●2	●	●始	●2			●前			●発 生 期	●前	●再 生 前	+5~ノビ I2L	25 g/a		●	●	●	2	(48)
		東北	●2	●	●2	●始	●始	●2				●発 生 期	●前	●再 生 前								
		北陸												●始								
		関東 東海	早 普																			
		近畿 中国	早 普																			
		四国	早 普																			
		九州	早 普																			

	処理法	地域名	作期	ハ・エ	年 広葉 マハイ	オハ イ	ウハ イ	ミ ガ リ	ヘ ア タ カ	クロ イ	オ タ カ	ヒ ム シ ロ	藻類 表層 剥離	サ リ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌 土	埴 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
X 4. MK-243D① -0.5kg 粒	土壌処理	北海道												再生 前	+5~ノビ I2L 湛水周縁部 散布可能	50 g/a						(28) (34) (41) (48)
		東北																				
		北陸	○2	○	○2	○2	○始	●始						○始								
		関東 東海	早 ●2 ●	●2 ●2 ●2					●発生 期	●前	●再生 前			●再生 前								
		普	○2	○	○2	○2	○2			○	○			○								
		近畿 中国	早			○2	○2	○2				●前	○始									
		普	○2	○	○2	○2	○2				●前	○										
		四国	早			○2	○2	○2				●前	○再生 前									
		普	○2	○	○2	○2	○2			○発生 期	○前	○再生 前										
		九州	早	○2	○	○2	○2	○2			○発生 期	●前	○再生 前									
普	○2	○	○2	○2	○2				●前	○												

	処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マハイ	オハ イ	ウハ イ	ミ ガ リ	ヘ ア タ カ	クロ イ	オ タ カ	ヒ ム シ ロ	藻類 表層 剥離	サ リ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌 土	壤 土 1.5	埴 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
X 5. MK-243DS -0.5kg 粒	土壌処理	北海道	○2	○	○始	○2						○発生 期	○前	○再生 前	+5~ノビ I2L 湛水周縁部 散布可能	50 g/a		○	○	○	2	(48)	
		東北	○2	○	○2	○2	○2	○2				○発生 期	○前	○再生 前									
		北陸												○始									
		関東 東海	早 普																				
		近畿 中国	早 普																				
		四国	早 普																				
		九州	早 普																				

	処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マハ・イ	オハ・イ	ウハ・イ	ミ・ガ・リ	ヘ・ア・タ・カ	クロ・グ・イ	オ・タ・カ	ヒ・ム・シ・ロ	藻類 表層 剥離	サ・リ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌 土	壤 土 1.5	埴 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
X 6. MK-243N -0.5kg 粒	土壌処理	北海道	○2	○	○始	○2						○発生 ○期	○前	○再生 ○前	+5~ノビ I2L 湛水周縁部 散布可能	50 g/a		○	○	○	2	(28) (34) (48)	
		東北	○2	○	○2	○2	○2	○2				○発生 ○期	○前	○再生 ○前									
		北陸	○2	○	○2	○2	○2	○始						○始									
		関東 東海	早 ●2 ●	●2 ●	●2 ●2 ●2	●2 ●2 ●2				●発生 ○期	●前	●再生 ○前		○再生 ○前									
		近畿 中国	早 ●2 ●	○2 ○	○2 ○2 ○2	○2 ○2 ○2				○期	○前	○再生 ○前		○再生 ○前									
		四国	早 ●2 ●	○2 ○	○2 ○2 ○2	○2 ○2 ○2								○再生 ○前									
		九州	早 ●2 ●	○2 ○	○2 ○2 ○2	○2 ○2 ○2				○発生 ○期	○前	○再生 ○前		○再生 ○前									

	処理法	地域名	作期	ハ' E	一年 広葉 マハ'イ	オハ'イ	ウリカ	ミ'ヤ グ'リ	ハ'ラ グ'カ	クロ'グ ワイ	オモ'グ カ	ヒルム シ'ロ	藻類 剥離	ヤリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌土	壤 土	堆 土	堆 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意							
X 7. NC-386 -0.5kg 粒	土壌処理	北海道	● 2	●	● 始	● 始		● 前				● 発生 期	● 前	● 再生 前	+5~ハ' E 2L	50 g/a	●	● 1.5	●	●	2	(4 8)							
		東北	● 2	●	● 2	● 始	● 2					● 発生 期	● 前	● 再生 前											●	●	1.5		
		北陸	● 2	●	● 2	● 始	● 始	● 始						● 始															
		関東 東海	早 普	● 2	●	● 始	● 始	● 始					● 発生 期		● 再生 前								湛水周縁部 散布可能 (北海道 四国)			●	●		1
		近畿 中国	早 普	● 2	●	● 2	● 2	● 2					● 前	● 再生 前	● 始											●	●		
		四国	早 普	● 2	●	● 2	● 2	● 2						● 前	● 再生 前												●	●	
		九州	早 普												● 前								● 再生 前				●	●	●

処理法	地域名	作期	ハ' E	一年 広葉 マハ'イ	オハ'イ	ウリカ	ミ'ヤ グ'リ	ハ'ラ グ'カ	クロ'グ ワイ	オモ'グ カ	ヒルム シ'ロ	藻類 剥離	ヤリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌土	壤 土	堆 土	堆 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意	
X 8. NH-801 -0.5kg 粒	北海道		● 2	●	● 始	● 2		● 前			● 発生 期	● 前	● 再生 前	+5~ハ' E 2L	50 g/a		●	● 1.5	●	●	2	(4 8)
	東北		● 2	●	● 2	● 始	● 2															
	北陸																					
	関東 東海	早 普												湛水周縁部 散布可能								
	近畿 中国	早 普																				
	四国	早 普																				
	九州	早 普																				

	処理法	地域名	作期	ハ' E	一年 広葉 マツハ'イ	オハ'イ	ウリカ	ミ'ヤ グ'リ	ヘラオホ ダ'カ	クロダ'イ	オモダ'カ	ヒルムシ ロ	藻類 剥離		処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌土	壤 土	堆 土	堆 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意		
X 9. NH-802 -0.5kg 粒	土壌処理	北海道												ヒリ		50 g/a						(4 8)		
		東北																						
		北陸		● 2	●	● 始	● 始	● 始						● 前			+5〜ノ'E 12L		●	●	●	1.5		
		関東 東海	早 普	● 2	●	● 2	● 始	● 始					● 発生 期		● 再生 前 〜 始			湛水周縁部 散布可能 (北陸〜四国)		●	●	●		
		近畿 中国	早 普	● 2	●	● 2	● 始	● 2					● 前	●						●	●	●	1	
		四国	早 普	● 2	●	● 2	● 始	● 2					● 前	●	● 再生 前 〜 始					●	●	●		
		九州	早 普																	●	●	●		

X 10. KUH-994-0.25kg 粒 「継」

一年生持続型

X 1. MK-243S-0.5kg 粒 「継」

ジャンボ剤

II-2 移植前後土壌処理

処理法	地域名	作期	ハ' E	一年 広葉 マハ'イ	オハ'イ	ウリカ	ミ'ヤ グ'リ	ハ'ラ グ'カ	クロ'グ ワイ	オモ'グ カ	ヒルム シ'ロ	藻類 剥離	ヤリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌土	壤 土	堆 土	堆 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
II-2 1. KPP-2005 ジャンボ	北海道	○ 1	○	○ 始		● 始								+0~+5 (ハ' E 1IL) 継 継 ~4 (ハ' E 1IL)	50gx 12/a	●	○	○	○	1.5	(4 5) (4 6)
	東北	● 1	●	● 始	● 前	● 始								+1~+5 (ハ' E 1IL)		●	●	●	●		体系処理の 前処理とし て50gx12/a 処理が可能
	北陸	● 1	●	● 前	● 前									+1~+5 (ハ' E 1IL)			●	●			
	関東 東海	早 普	● 1	●	● 始	● 始								植代後~4. 11~15 (ハ' E 1IL)				●	●	1	
	近畿 中国	早 普	○ 1	○	○ 始	● 前										●	○	○	○	2	
	四国	早 普	○ 1	○	○ 始	● 前										●	○	○	○		
	九州	早 普	● 1	●	● 始											●	●	●	●	1	

II-2 2. MAC-2 ジャンボ 「継」

処理法	地域名	作期	1/2 E	一年広葉マハ	オサ	ウサ	ミヤ	ハサ	クロ	オサ	ヒル	藻類	処理時期	使用量・製品	砂土	壤土	堆土	堆土	減水深	使用上の注意
II-2 3. SW-972 ジャンボ	土壌処理	北海道	○1	○	○始	○始							+1~+10 (/t IIL)	30gx 13/a	○	○	○	○	1	(28) (45) (46)
		東北	○1	○	○始	●始							植代後~+4, +1~+5 (/t IIL)		○	○	○	○	1.5	
		北陸	○1	○	○始	○始									●	○	○	○	2	一登処理型 除草剤として 使用する。
		関東	早	●1	●	●始	●始								●	●	○	○	1	
		東海	普	○1	○	○始	○始								●	●	○	○		
		近畿	早																	
		中国	普	○1	○	○始	○始									○	○	○		
		四国	早																	
			普	○1	○	○始	○始													
		九州	早	●1	●	●始	●始								●	●	●	●	1.5	
			普	○1	○	○始	○始								○	○	○	○	1.5	

II-3 移植後土壌処理

処理法	地域名	作期	1/2 E	一年広葉マハ	オサ	ウサ	ミヤ	ハサ	クロ	オサ	ヒル	藻類	処理時期	使用量・製品	砂土	壤土	堆土	堆土	減水深	使用上の注意
II-3 1. SB-554 ジャンボ	土壌処理	北海道	●1	●	●始		●始						+1~+5 (/t IIL)	50gx 13/a	●	●	●	●	1.5	(45) (47)
		東北	●1	●	●始	●始									●	●	●	●	2	
		北陸	●1	●	●始	●前										●	●	●		
		関東	早																	
		東海	普	●1	●	●始	●始									●	●	●	1	
		近畿	早																	
		中国	普	●1	●	●始	●前									●	●	●	1.5	
		四国	早																	
			普	●1	●	●始	●前									●	●	●		
		九州	早													●	●	●		
			普																	

II-3 2. プタロール ジャンボ 「継」

II-5 適用時期拡大

処理法	地域名	作期	1/2 E	一年広葉マハ	オサ	ウサ	ミヤ	ハサ	クロ	オサ	ヒル	藻類	処理時期	使用量・製品	砂土	壤土	堆土	堆土	減水深	使用上の注意
II-5 1. DEH-112 ジャンボ	葉面処理	北海道	○4										+15~+35 (/t I2.5L ~4L)	50gx 2-3/a	○	○	○	○	2	(21) (45) (47)
		東北	○4												○	○	○	○		
		北陸	○4												○	○	○	○		
		関東	早	○4											○	○	○	○		
		東海	普	○4									+20~+35 (/t I2.5L ~4L)	50gx 2/a 5.3L	○	○	○	○		
		近畿	早												○	○	○	○		
		中国	普	○4											○	○	○	○		
		四国	早												○	○	○	○		
			普	○4											○	○	○	○		
		九州	早												○	○	○	○		
			普	○4											○	○	○	○		

II-6-(1) クログワイ対象

II-6-(1) 1. NBA-092a ジャンボ 「継」

II-6-(1) 2. NBA-092b ジャンボ 「継」

II-6-(2) オモダカ対象

II-6-(2) 1.AC-014C ジャンボ 「実・継」 VIIの使用基準に併用

処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マハイ	オハ イ	ウハ イ	ミ ガ リ	ヘ オ ダ カ	クロ ダ カ	オモ ダ カ	ヒ ム シ ロ	藻類 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	堆 土	堆 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII AC-014C ジャンボ	北海道 東北 北陸	早 普 普	○2	○	○2	○2		○2		●前	○前	○前	+5~ハ・エ I2L	50gx 12/a	○	○	○	○	2	(28) (34) (38) (45) (47)
			○2	○	○2	○2	○2	○2			○期				○	○	○	○		
			○2	○	○2	○2	○2				○前				○	○	○	○		
	関東 東海	早 普 普	○2	○	○始	○始	○始				○発 生 期				○	○	○	○	1	
			○2	○	○始	○始	○始				○発 生 期				○	○	○	○	2	
			○2	○	○2	○始	○2				○発 生 期				○	○	○	○	1	
	近畿 中国	早 普 普	○2	○	○2	○始	○2			●前	○前	○前			○	○	○	○	1.5	
			○2	○	○2	○始	○2				○発 生 期				○	○	○	○	1	
			○2	○	○2	○始	○2			●前	○前	○前			○	○	○	○	1.5	
	四国	早 普 普	○2	○	○2	○始	○2				○発 生 期				○	○	○	○	1	
			○2	○	○2	○始	○2			●前	○前	○前			○	○	○	○	1.5	
			○2	○	○2	○始	○2				○発 生 期				○	○	○	○	1	
	九州	早 普	○2	○	○2	○始	○2			●前	○期	○前			○	○	○	○	1.5	

オモダカに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。(近畿・中国~九州)

II-6-(2) 2.HSA-971 ジャンボ 「継」

II-6-(2) 3.NBA-092a ジャンボ 「継」

II-6-(2) 4.NBA-092b ジャンボ 「継」

II-6-(6) エゾノサヤヌカグサ対象

II-6-(6) 1.HSW-985(改) ジャンボ 「実・継」 VII No.5 参照

VII 一発処理剤

処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マハイ	オハ イ	ウハ イ	ミ ガ リ	ヘ オ ダ カ	クロ ダ カ	オモ ダ カ	ヒ ム シ ロ	藻類 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	堆 土	堆 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII 1.AC-014C ジャンボ	北海道 東北 北陸	早 普 普	○1.5	○	○始								+5~ハ・エ I1.5L	50gx 12/a	○	○	○	○	1	(28) (34) (45) (47)
			●1.5	●	●始	●始	●始									●	●	●	1.5	
			○2	○	○始	●始									○	○	○			
	関東 東海	早 普 普	○2	○	○始											○	○	○	1	
			○2	○	○始											○	○	○		
			○2	○	○始	●始										○	○	○		
	近畿 中国	早 普 普	○2	○	○始	●始										○	○	○		
			○2	○	○始	●始										○	○	○		
			○2	○	○始	●始										○	○	○		
	四国	早 普 普	○2	○	○始	●始										○	○	○		
			○2	○	○始	●始										○	○	○		
			○2	○	○始	●始										○	○	○		
	九州	早 普	○2	○	○2	●2	●2				○発 生 期				○	○	○	○	1.5	

処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マハイ	オハ イ	ウハ イ	ミ ガ リ	ヘ オ ダ カ	クロ ダ カ	オモ ダ カ	ヒ ム シ ロ	藻類 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	堆 土	堆 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII 2.AGH-987 ジャンボ	北海道 東北 北陸	早 普 普											+5~ハ・エ I2L	50gx 12/a						(28) (34) (45) (47)
	関東 東海	早 普 普																		
			●2	●	●2	●始	●始				○発 生 期	●前					●	●	1	
											○発 生 期	●前					●	●		
	近畿 中国	早 普 普																		
			●2	●	●2		●2				○発 生 期	●					●	●	1.5	
											○発 生 期	●					●	●		
	四国	早 普 普	●2	●	●2		●2				○発 生 期	●					●	●		
											○発 生 期	●					●	●		
											○発 生 期	●					●	●		
	九州	早 普	●2	●	●始	●始	●始										●	●	2	

処理法	地域名	作期	ハ'エ	一年広葉マツハ'イ	サ'ルイ	ウ'リカ	ミ'ヤグ	ハ'ラモダ	クロ'グ	オモ'ガ	ヒ'ルシロ	藻類・藻類剥離	セリ	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴土	埴土	減水深cm/d	使用上の注意
VII 3. HSA-971 シ'ヤンボ'	土壌処理	北海道	○2	○	○2	○2					○発生期	○前	○再生前	+5~ハ'エ2L	50gx13/a	○	○	○	○	1.5	(28) (34) (45) (47)
		東北	○2	○	○始	●始	○始	○始					○前			●	○	○	○		
		北陸	○2	○	○2	○始	○始	●始					○始				○	○	○	2	
		関東東海	早●2	●	●2	●始	●始				●発生期	●	○再生前			●	●	●	●	1	
		普	○2	○	○2	○2	○始				○期		○前				○	○	○	2	
		近畿中国	早								●発生期		○再生前							1	
		普	○2	○	○2	○2	○2				●発生期		○				○	○	○		
		四国	早								●発生期		○再生前								
		普	○2	○	○2	○2	○2				●発生期		○				○	○	○		
		九州	早●2	●	●2	●2	●2				●発生期	●	○再生前			●	●	●			
		普	○2	○	○2	○2	○2				○期	○前	○			○	○	○		1.5	
VII 4. HSW-984 シ'ヤンボ'	土壌処理	北海道	●2	●	●2	●始		●始			●発生期	●前	●再生前	+3~ハ'エ2L	50gx13/a	●	●	●	●	1.5	(45) (47)
		東北																			
		北陸											○始								
		関東東海	早																		
		普																			
		近畿中国	早																		
		普																			
		四国	早																		
		普																			
		九州	早																		
		普																			
VII 5. HSW-985 (改)シ'ヤンボ' II-6-(6) を併用	土壌処理	北海道	●2	●	●2	●始		●前			●発生期	●前	●再生前	+3~ハ'エ2L	60gx13/a	●	●	●	●	1.5	(45) (47)
		東北																			
		北陸											○始								
		関東東海	早																		
		普																			
		近畿中国	早																		
		普																			
		四国	早																		
		普																			
		九州	早																		
		普																			
VII 6. KUH-975PD シ'ヤンボ'	土壌処理	北海道													25gx13/a						(28) (34) (45) (47)
		東北																			
		北陸	●2	●	●始	●始	●始							+5~ハ'エ2L		●	●	●	●	1.5	
		関東東海	早								●発生期	●前	●再生前				●	●	●	1	
		普	●2	●	●2	●始	●始				●発生期	●前	○再生前				●	●	●		
		近畿中国	早										○再生前								
		普	●2	●	●2	●2	●2				●前	●				●	●	●			
		四国	早																		
		普	●2	●	●2	●2	●2				●前	○再生前				●	●	●			
		九州	早								●発生期	●	○再生前			●	●	●			
		普	●2	●	●2	●始	●始				●発生期	●				●	●	●		1.5	

	処理法	地域名	作期	ハ・エ	年 広葉 マツハイ	オサハ	ウサハ	ミヌ ガヤ ツリ	ヘラオモ ダカ	クログ ワイ	オモダ カ	ヒルシ ロ	藻類 剥離			処理時期	使用 量・製 品	砂 壌土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 cm/d	使用上の 注意
VII 7. KUH-975PK ジャパン	土壌理	北海道		●2	●	●2	●始		●始			●発生 期	●前	●再生 前		+5〜ノ・I2L	25gx 13/a		●	●	●	1.5	(45) (47)
		東北		●2	●	●2	●始	●始	●始											●	●		
		北陸													始								
		関東	早																				
		東海	普																				
		近畿	早																				
		中国	普																				
		四国	早																				
			普																				
		九州	早																				
		普																					

VII 8. MY-100DC① ジャポ 「継」

VII 9. MY-100DCA ジャポ 「継」

VII 10. MY-100NC ジャポ 「継」

	処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年広葉マツハイ	オサハ	ウサハ	ミヤガサ	ヘラオモダカ	クログワイ	オモダカ	ヒルシロ	藻類剥離	サリ	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴土	埴土	減水深cm/d	使用上の注意
VII 11. NBA-092a ジャポ	土壌処理	北海道		○2	○	○2	○2		●始			○発生期	○前	○再生前	+5~ノ・I2L	40gx 13/a	●	○	○	○	1.5	(4 5) (4 7)
		東北		○2	○	○2	●始	○始				○期	○前	○前								
		北陸												始								
		関東	早																			
		東海	普																			
		近畿	早																			
		中国	普																			
		四国	早																			
			普																			
		九州	早																			
			普																			

	処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年広葉マツハイ	オサハ	ウサハ	ミヤガサ	ヘラオモダカ	クログワイ	オモダカ	ヒルシロ	藻類剥離	サリ	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴土	埴土	減水深cm/d	使用上の注意
VII 12. NBA-092b ジャポ	土壌処理	北海道												再生前	+5~ノ・I2L	40gx 13/a	●	○	○	○	1.5	(2 8) (3 4) (4 5) (4 7)
		東北												○始								
		北陸		○2	○	○2	○始	○始	●始					○始								
		関東	早	●2	●	●2	●始	●始				●発生期	●前	●再生前								
		東海	普	○2	○	○2	○2	○始				○期	○前	○再生前								
		近畿	早	●2	●	●2	●始	●2				●発生期	●前	●再生前								
		中国	普	○2	○	○2	○2	○2				○期	○前	○始								
		四国	早	●2	●	●2	●始	●2				●発生期	●前	●再生前								
			普	○2	○	○2	○2	○2				○期	○前	○始								
		九州	早	●2	●	●2	●始	●始				●発生期	●前	●始								
			普	●2	●	●2	●始	●始				●発生期	●前	●始								

	処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年広葉マツハイ	オサハ	ウサハ	ミヤガサ	ヘラオモダカ	クログワイ	オモダカ	ヒルシロ	藻類剥離	サリ	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴土	埴土	減水深cm/d	使用上の注意
VII 13. NBA-093 ジャポ	土壌処理	北海道		○2	○	○2	○2					○発生期	○前	○再生前	+5~ノ・I2L	40gx 13/a	○	○	○	○	1.5	(2 8) (3 4) (4 5) (4 7)
		東北		○2	○	○2		○2	○2			○期	○前	○前								
		北陸		○2	○	○2	○始	○始						始								
		関東	早																			
		東海	普	○2	○	○始	○2	○始				○期	○前	○再生前								
		近畿	早	●2	●	●2	●始	●2				●発生期	●前	●始								
		中国	普	○2	○	○2	○2	○2				○期	○前	○始								
		四国	早	●2	●	●2	●始	●2				●発生期	●前	●再生前								
			普	○2	○	○2	○2	○2				○期	○前	○始								
		九州	早	●2	●	●2	●始	●2				●発生期	●前	●始								
			普	●2	●	●2	●始	●2				●発生期	●前	●始								

処理法	地域名	作期	バ・エ	一年 広葉 マツハ	ホタル	ウリカ	ミヤ ガヤ	ヘラオ ダカ	クロ グ	オモ ガ	ヒルシ ロ	藻類 表層 剥離	セリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌 土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII 14. NBA-101 ジャンボ	土壌処理	北海道	●2	●	●2	●始		●前			●発生	●前	●再生 前	+5~ノビ I2L	40gx 13/a	●	●	●	●	1.5	(28) (34) (45) (47)
		東北	●2	●	●始	●始	●始				●発生	●前	●再生 前								
		北陸	●2	●	●2	●2	●始					●前	●始								
		関東 東海	早									●発生	●再生 前								
		普	●2	●	●2	●始	●始				●発生	●前	●再生 前								
		近畿 中国	早									●発生	●再生 前								
		普	●2	●	●2	●2	●2				●前	●	●始								
		四国	早									●前	●再生 前								
		普	●2	●	●2	●2	●2				●前	●	●再生 前								
		九州	早								●発生	●	●再生 前								
		普	●2	●	●始	●始	●始				●発生	●	●								

処理法	地域名	作期	バ・エ	一年 広葉 マツハ	ホタル	ウリカ	ミヤ ガヤ	ヘラオ ダカ	クロ グ	オモ ガ	ヒルシ ロ	藻類 表層 剥離	セリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌 土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII 15. NC-377① ジャンボ	土壌処理	北海道	○2	○	○2	○始					○発生	○前	○再生 前	+5~ノビ I2L	30gx 13/a	●	○	○	○	1.5	(34) (41) (45) (47)
		東北	○2	○	○2	○2	○2				●発生	○前	○前								
		北陸	○2	○	○2	○2	○始	●始				○始	○始								
		関東 東海	早	●2	●	●2	●2	●始			●発生	●	●再生 前								
		普	○2	○	○始	○始	○始				○期	●前	○再生 前								
		近畿 中国	早	●2	●	●2	●始	●2			●発生	○	○始								
		普	○2	○	○2	○2	○2				○期	○	○								
		四国	早	●2	●	●2	●始	●2			●発生	●	●再生 前								
		普	○2	○	○2	○2	○2				○期	○	○再生 前								
		九州	早	●2	●	●2	●2	●2			●発生	●	●再生 前								
		普	○2	○	○2	○2	○2				○期	○	○								

VII 16. NC-381 ジャンボ 「継」

VII 17. NC-391① ジャンボ 「継」

VII 18. NC-903DEH ジャンボ 「継」

処理法	地域名	作期	バ・エ	一年 広葉 マツハ	ホタル	ウリカ	ミヤ ガヤ	ヘラオ ダカ	クロ グ	オモ ガ	ヒルシ ロ	藻類 表層 剥離	セリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌 土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII 19. NH-805 ジャンボ	土壌処理	北海道	●2	●	●始	●始					●発生	●前	●再生 前	+5~ノビ I2L	50gx 13/a	●	●	●	●	1.5	(45) (47)
		東北	●2	●	●2	●始	●2				●発生	●期	●前								
		北陸											●始								
		関東 東海	早																		
		普																			
		近畿 中国	早																		
		普																			
		四国	早																		
		普																			
		九州	早																		
		普																			

処理法	地域名	作期	バ・エ	一年 広葉 マツハ	ホタル	ウリカ	ミヤ ガヤ	ヘラオ ダカ	クロ グ	オモ ガ	ヒルシ ロ	藻類 表層 剥離	セリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌 土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII 20. NH-806 ジャンボ	土壌処理	北海道											●再生 前	+5~ノビ I2L	50gx 13/a	●	●	●	●	1.5	(28) (34) (45) (47)
		東北											●再生 前								
		北陸	●2	●	●2	●2	●始					●前	●始								
		関東 東海	早	●2	●	●2	●始	●始				●発生	●前								
		普	●2	●	●2	●始	●始				●発生	●前	●再生 前								
		近畿 中国	早									●発生	●再生 前								
		普	●2	●	●2	●2	●2				●前	●	●始								
		四国	早									●発生	●再生 前								
		普	●2	●	●2	●2	●2				●前	●	●再生 前								
		九州	早								●発生	●	●再生 前								
		普	●2	●	●2	●始	●始				●発生	●前	●								

VII 21. NH-906 ジャンボ 「継」

処理法	地域名	作期	バ'エ	一年広葉マツハイ	オクリ	ミ'ガ'リ	ヘ'オ'タ'カ	クロ'グ'ワイ	オ'モ'ガ'カ	ヒ'ル'シ'ロ	藻類剥離	サリ	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	堆土	堆土	減水深cm/d	使用上の注意
VII 22.SW-952 ジャンボ	北海道	○2	○	○2	○2				○前	○発生期	○前	○再	+3~バ' I2L	30gx 13/a	○	○	○	○	1.5	(3 6) (3 8) (4 0) (4 2) (4 5) (4 7)
	東北	○2	○	○2	○2	○始	○2	○前	○前	○前	○前	○前			○	○	○	○		
	北陸											○始								
	関東	早																		
	東海	普																		
	近畿	早																		
	中国	普																		
	四国	早																		
	普																			
	九州	早																		
	普																			

処理法	地域名	作期	バ'エ	一年広葉マツハイ	オクリ	ミ'ガ'リ	ヘ'オ'タ'カ	クロ'グ'ワイ	オ'モ'ガ'カ	ヒ'ル'シ'ロ	藻類剥離	サリ	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	堆土	堆土	減水深cm/d	使用上の注意
VII 23.TH-913CS ジャンボ	北海道	●2	●	●始	●始		●始			●発生期	●前	●再生	+3~バ' I2L	50gx 13/a		●	●	●	1.5	(2 8) (3 4) (4 5) (4 7)
	東北	●2	●	●2	●始	●2				●発生期	●前	●前				●	●	●		
	北陸	●2	●	●2	●始	●始	●始				●前	●始								
	関東	早								●発生期	●前	●再生								
	東海	普	●2	●	●2	●2	●始			●発生期	●前	●再生				●	●	●	1	
	近畿	早								●発生期	●前	●始								
	中国	普	●2	●	●2	●始	●2			●発生期	●前	●				●	●	●	1.5	
	四国	早								●発生期	●前	●再生								
	普	●2	●	●2	●始	●2				●発生期	●前	●				●	●	●		
	九州	早								●発生期	●前	●再生								
	普	●2	●	●2	●2	●2				●発生期	●前	●				●	●	●		

VII 24.AC-014C-50 ジャンボ 「継」

VII 25.KUH-994 ジャンボ 「継」

IX 一年生持続型

処理法	地域名	作期	バ'エ	一年広葉マツハイ	オクリ	ミ'ガ'リ	ヘ'オ'タ'カ	クロ'グ'ワイ	オ'モ'ガ'カ	ヒ'ル'シ'ロ	藻類剥離	サリ	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	堆土	堆土	減水深cm/d	使用上の注意
VIIとして 1.MY-100MS ジャンボ	北海道	●1.5	●	●始	●始								+3~バ' I1.5L	50gx 13/a			●	●	1.5	(3 4) (4 5) (4 7)
	東北	●1.5	●	●始	●始												●	●	1	
	北陸	●1.5	●	●始	●始	●始										●	●	●	1.5	
	関東	早																		
	東海	普	●1.5	●	●始											●	●	●	1	
	近畿	早																		
	中国	普	●1.5	●	●始	●始	●始									●	●	●		
	四国	早																		
	普	●1.5	●	●始	●始	●始										●	●	●		
	九州	早																		
	普	●1.5	●	●始	●始	●始									1.5	●	●	●	2	

IX 2.SB-533 ジャンボ 「継」

処理法	地域名	作期	バ'エ	一年広葉マツハイ	オクリ	ミ'ガ'リ	ヘ'オ'タ'カ	クロ'グ'ワイ	オ'モ'ガ'カ	ヒ'ル'シ'ロ	藻類剥離	サリ	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	堆土	堆土	減水深cm/d	使用上の注意
IX 3.SW-965 ジャンボ	北海道	○2	○	○始	○始								+3~バ' I2L	50gx 13/a	○	○	○	○	1.5	(4 5) (4 7)
	東北	○2	○	○2	○始		●始								○	○	○	○		
	北陸	○1.5	○	○始	○始								+3~バ' I1.5L				○	○	1	
	関東	早	●2	●	●始	●始							+3~バ' I2L				●	●		
	東海	普	○2	○	○始	○始									●	○	○	○	1.5	
	近畿	早	●1.5	●	●始	●始	●始						+3~バ' I1.5L			●	●	●	1	
	中国	普	○1.5	○	○始	○始										○	○	○		
	四国	早	●1.5	●	●始	●始										●	●	●		
	普	○1.5	○	○始	○始											○	○	○		
	九州	早	○1.5	○	○始	○始										○	○	○		
	普	○2	○	○2	○始								+3~バ' I2L		○	○	○	○	1.5	

IX 4.SW-993 ジャンボ 「継」

水稻関係除草剤使用基準の表示について

1. 過年度、既に実用化の認められている適用草種・土壌条件に○を印した。
 (本年度の試験の結果、特に拡大のない場合も含む)
 草種欄の数字、字句で草種ごとの葉齢を示した。
 [例：○始(発生始)、○2(2葉期まで)]
 IV及びVの項目の地域名の○は、前年度までに実用化の認められている地域を示し、●は本年度新たに実用化の認められた地域を示した。
 使用上の注意は別途一覧表の番号で記し、一覧表にない注意事項の場合は欄外に字句を記載した。
2. 本年度、新たに使用基準が作成された場合は、実用化可能となった適用草種・土壌に●を印し、処理時期および使用量を記載した。
3. 過年度の基準に適用条件拡大が可能となった場合
 作 期 の 拡 大：拡大可能となった作期の適用草種・土壌に●を印した。
 地域判定欄は「寒・継」
 草 種 の 拡 大：拡大可能となった草種に●を印した。
 葉 齢 の 拡 大：拡大可能となった葉齢に、アンダーラインを付した。
 (例：○2.5)
 処理時期、使用量の拡大：拡大部分にアンダーラインを付した。(例：+3~1t I2L, 50~75ml/a)
 土壌条件の拡大：拡大可能となった土壌に●を印した。
4. 「継」、「継?」、「中止」の場合は判定のみ記載した。

前年度までの試験経過欄()内の記号

- A : 新規年度
 A a : 新規年度(但し成分から作用性が予測される剤)
 B : 他の栽培法、やや異なる処理法
 C : 継続検討

使用上の注意一覧表

- (1) 低気温及び低水温は薬害の危険性があるので使用はさける。
- (2) 処理後2日以内に低温や降雨が予想される場合は使用をさける。
- (3) ごく浅植えの場合、薬害のおそれがあるので注意する。
- (4) 移植後の深水はさける。
- (5) 深水での処理はさける。
- (6) 散布は水稻になるべくかからないようにする。
- (7) 著しい高温条件下の時は、砂壤土ではクロロシスの発生が著しいので注意する。
- (8) トリアジン系除草剤の使用上の注意を守る。
- (9) MCP混合剤の注意事項を守る。
- (10) 処理後の灌水は48～72時間経過後に行う。
- (11) 処理後2日以内に降雨が予想される場合は使用をさしひかえる。
- (12) 落水もしくは浅水で使用する。
- (13) ミズガヤツリの多い水田では早めに散布する。
- (14) ミズガヤツリに対し遅い処理では、400g/aを処理する。
- (15) ホタルイ、ミズガヤツリ優占圃場では、400g/aで処理する。
- (16) ホタルイ多発田では早めに使用する。
- (17) 泥炭質土壌では、ウリカワに対する効果が低下することがある。
- (18) コナギ多発田では早めに処理する。
- (19) 一年生広葉雑草多発田では400g/aとし、特にヒメミソハギが多発する水田での使用はさける。
- (20) クログワイ防除はクログワイに有効な前処理剤との組み合わせで使用する。
- (21) 前処理剤との組み合わせで使用する。
- (22) 希釈水量は出来るだけ少なく茎葉に付着するように散布する。
- (23) ノリ面散布は避ける。
- (24) 流入、飛散等による水稻への薬害に注意する。
- (25) 周辺の作物に飛散しないように注意する。
- (26) 植付精度不良で根が露出する水田では使用しない。
- (27) ホタルイ多発田では、ホタルイに有効な中・後期剤との組み合わせで使用する。
- (28) 著しい多雨条件では除草効果が低下する場合があるので使用はさしひかえる。
- (29) コウキヤガラに有効な中・後期剤との組み合わせで使用する。
- (30) 水稻が水面に抽出してから使用する。
- (31) 短小苗、深水条件での使用はさける。
- (32) クログワイ防除はクログワイに有効な後期剤との組み合わせで使用する。
- (33) 広葉多発田での使用はさける。
- (34) 田植前に生育したミズガヤツリは、完全に防除してから使用する。
- (35) マツバイ多発田での使用はさける。
- (36) コウキヤガラ防除は、コウキヤガラに有効な剤との組み合わせで使用する。
- (37) クログワイ防除の場合、同一成分含有薬剤を初期剤として使用しないこと。
- (38) オモダカ防除は、オモダカに有効な剤との組み合わせで使用する。
- (39) ミズガヤツリ防除は、ミズガヤツリに有効な前処理剤との組み合わせで使用する。
- (40) シズイ防除は、シズイに有効な剤との組み合わせで使用する。
- (41) 散布後24時間以内から1日50mm以上の降雨が連続することが予想される場合は使用を差し控える。
- (42) クログワイ防除は、クログワイに有効な剤との組み合わせで使用する。
- (43) エゾノサヤヌカグサ防除は、エゾノサヤヌカグサに有効な剤との組み合わせで使用する。
- (44) クサネムが残草または後発生した場合は有効な後期剤を散布する。
- (45) 水深5～6cmの湛水条件で投入し、少なくとも1日間は十分な水位を維持する。
- (46) 移植前処理は田面水が澄んでから投入する。
- (47) 藻類または表層剥離の発生しやすい水田では有効な剤との体系で使用する。
- (48) 散布に均一性を必要としない。湛水周縁部散布は、藻類・表層剥離などの浮遊物のない条件で田面の露出しない十分な水深で行う。
- (49) 畦畔から本田に侵入したキシウスズメノヒエには全体にかける。

トモノアグリカの除草剤

水稲用

エリジャン® 乳剤

チバガイギー

チバガイギー

ホクト® 1キロ粒剤

ユニハーブ® フロアブル

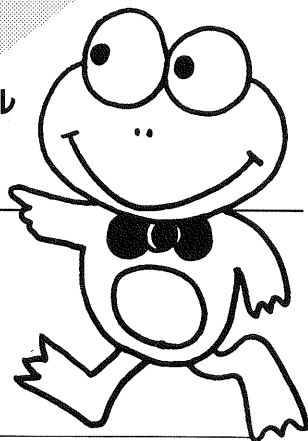
クサライト® 1キロ粒剤

畑作用

ゲザン® フロアブル

ゲザスリム® フロアブル

デュアル® 乳剤



株式会社トモノアグリカ

A Novartis Group Company

静岡市春日2丁目12-25

この草はなんだろう? 手軽に調べたい。

三二雑草図鑑

—— 耕地雑草ハンドブック ——

A5判 本体2,200円(税別)

耕地には主要なものだけで150種を超える雑草が生えてきます。これら雑草の防除の第一歩は草を知ることです。本書は、農耕地や樹園地などによく見られる雑草397種を写真とともに紹介した、草を知るための野帳版雑草図鑑です。

原色図鑑 芽ばえとたね

浅野 貞夫／著

A4判 本体9,800円(税別)

芽ばえの姿はどうなんだろう。本書は、植物の芽ばえのようすを克明に表した精密図版と、種・成植物の写真による植物の一生図鑑です。成植物のみの図鑑と異なり、芽ばえのようすから紹介しているため、植生などの調査にたいへん役に立つとの声が寄せられています。

全国農村教育協会

〒110-0016 東京都台東区台東1-26-6
Tel. 03-3833-1821 Fax. 03-3833-1665

植 調 協 会 だ よ り

◎植調研究所報告

平成11年度水稲用除草剤沖縄基礎試験の実施状況

1. 目 的

本年試験が計画されている一部の水稲用新規除草剤について、適用性試験の実施に先立ち、除草効果および薬害、さらには製剤間の比較検討を行うことによって、薬剤の特性を把握し、第二次適用性試験が効率的に進められるための知見を得ることを目的とする。

また現地圃場において、既存薬剤のジャンボ剤化に伴う除草効果等の確認ならびに製剤間の比較検討についても検討する。

2. 耕種概要

(1) 場内試験

- ① 試験場所：沖縄県名護市偽又
- ② 試験期間：平成12年1月～3月
- ③ 栽培法：稚苗移植栽培
- ④ 試験規模：1区0.8m² (1m×0.8m) 2区制
- ⑤ 水稲関係

i) 植 代：1月20日

ii) 移 植：1月24日 (1株3本植, 1区当り15株手植え)

但し、-4処理区については1月28日移植

iii) 品 種：ひとめぼれ

移植苗：移植前処理区 葉齢2.3L (草丈17.6cm 地上部乾物率 20.2%)

移植後処理区 葉齢2.1L (草丈16.5cm 地上部乾物率 16.7%)

⑥ 雑草関係

雑草播種：1月23日

試験圃場での自然発生はホタルイが主であるが、その他ノビエ、ホタルイを土壌表面に播種し、タマガヤツリ、コナギ、その他一年生広葉雑草種子およびマツバイの混入土を播き込み、ウリカワ、ミズガヤツリの塊茎を1区当り各5個植え付けた。

⑦薬剤処理時の雑草および水稲の生育状態：

処理時期	月日	ノビエ	タマガヤツリ	コナギ	他広葉	マツバイ	ホタルイ	ウリカワ	ミズガヤツリ	水稲
-4	(1/28)	発生前	発生前	発生前	発生前	発生前	発生前	発生前	発生前	—
+0	1/24	"	"	"	"	"	"	"	"	2.1L
+3	27	"	"	"	"	"	"	"	"	2.2L
+5	29	発生始	"	"	"	"	"	発生始	発生始	2.3L
ノビエ1.0L(+15)	2/ 8	～1.0L	"	発生始	発生始	"	発生始	～0.5L	～1.0L	2.8L
ノビエ1.5L(+17)	10	～1.5L	発生始	"	"	"	～1.0L	～1.0L	～1.5L	3.2L
ノビエ2.0L(+23)	15	～2.0L	～1.0L	～1.5L	～1対	"	～1.5L	～2.0L	～2.0L	3.5L
ノビエ2.5L(+28)	20	～2.5L	～1.0L	～2.0L	～2対	"	～2.0L	～2.5L	～2.5L	4.1L

(2) 現地圃場試験

- ① 試験場所：沖縄県名護市古我地
 ② 試験期間：平成12年2月～3月
 ③ 栽培法：稚苗移植栽培
 ④ 試験規模：1コ/a 1区100～200m² 2区制
 ⑤ 水稻関係
 i) 植代：2月8日
 ii) 移植：2月11日（機械移植）
 iii) 品種：ひとめぼれ
 移植苗：葉齢2.0L（草丈14.8cm 地上部乾物率 18.3%）

⑥ 雑草関係

雑草播種：2月13日

試験区内に設定したA, B, C, D点の4ヵ所に休眠覚醒したノビエ、ホタルイ種子を土壌表面に播種し、タマガヤツリ、コナギ、その他一年生広葉雑草種子およびマツバイの混入土を播き込んだ。

⑦ 草剤処理の経過および雑草、水稻の生育状態：

処理時期	月日	ノビエ	タマガヤツリ	コナギ	他広葉	マツバイ	ホタルイ	ウリカリ	ミズガヤツリ	水稻
+3	2/14	発生前	発生前	発生前	発生前	発生前	発生前	発生前	発生前	2.1L
+5	16	"	"	"	"	"	"	"	"	2.3L

3. 試験経過と気象概況

本年度の場内試験の移植は例年と同時期に実施されたが、移植後、曇天や雨の日が多く、7～10日間は例年に比べ、2℃程度低い気温で日照時間もやや少ない状態で経過したものの、水稻および雑草の葉齢進展は例年と変わらない状況である。

現地試験においては、移植は昨年より2日早く行われたが、気温は平年並みに推移しており、2月29日の時点までは特に問題はない。

なお2月29日、処理後の降雨によるオーバーフロー等はない状態で経過している。

財団法人 日本植物調節剤研究協会
 東京都台東区台東1丁目26番6号
 電話 東京(03)3832-4188 (代)

編集人 日本植物調節剤研究協会 会長 千坂英雄
 発行人 植調編集印刷事務所 広田伸七

東京都台東区台東1-26-6 全国農村教育協会
 発行所 植調編集印刷事務所
 電話 東京(03)3833-1821番(代)
 印刷所 新成印刷(有)

平成12年3月発行 定価420円(送料270円)
 植調第33巻第12号 (本体400円,消費税込20円)

一発除草剤は「新時代へ」



早めに処理して長〜く効く

ザ・ワンフロアブル[®]1キロ粒剤

田植直後から使える

アワード[®]フロアブル

自己拡散型

クラッシュ[®]1キロ粒剤

安心の初中期一発処理剤

バトル[®]1キロ粒剤

ゴーサイン[®]粒剤

処理幅が長い

ロングゲット[®]フロアブル

ノビエ3葉期まで使える

シェリフ[®]1キロ粒剤

湛水直播水稻にも

キックバイ[®]1キロ粒剤

▲ **武田薬品工業株式会社**
アグロカンパニー

〒103-8668 東京都中央区日本橋二丁目13番10号



The miracles of science™

デュポン株式会社 農業製品事業部

東京本社 〒153-0064 東京都目黒区下目黒1-8-1 アルコタワー TEL.03-5434-6117

大阪支社 〒550-0002 大阪市西区江戸堀2-1-1 江戸堀センタービル4階 TEL.06-6449-3961

名古屋支店 〒450-0003 名古屋市中村区名駅南1-24-30 名古屋三井ビル本館13階 TEL.052-571-7730

札幌事務所 〒060-0003 札幌市中央区北三条西2-10-2 札幌HSビル11階 TEL.011-251-3752

仙台事務所 〒980-0811 仙台市青葉区一番町2-7-17 朝日生命仙台一番町ビル2階 TEL.022-267-5326

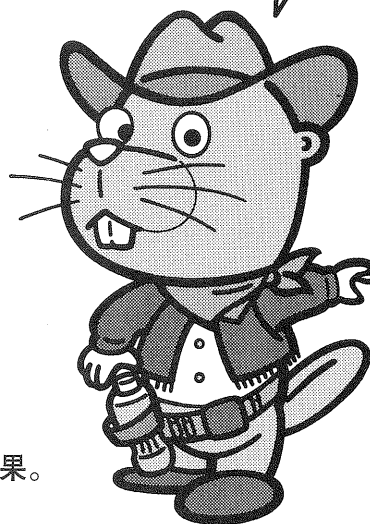
福岡事務所 〒810-0001 福岡市中央区天神1-12-20 日之出東京海上ビルディング6階 TEL.092-761-7871

ボトルのままで、アゼから、水口から!!
水稻用初期除草剤

ショキニー[®] フロアブル

少量散布
 10アール当り
 300ml

初期にいいネ!



初期除草は「カンタン」がいい。

【使用時期】 ※本剤の使用時期は「移植直後からノビエ1葉期」、田植同時処理もできます。

散布適期	移植	7日後
北海道・東北・北陸、及び九州の早期栽培	散布最適期	……→中期剤又は一発処理剤
少量散布の場合、及び通常散布の関東以西の普通期栽培、関東以西(九州を除く)の早期栽培	移植	5日後
	散布最適期	……→中期剤又は一発処理剤

- 特長**
1. 原液散布で省力・簡単。
 2. アゼナ、ホタルイにも卓効。
 3. 持続効果に優れ、安定した除草効果。
 4. 移植水稻に対する影響が少ない。



●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。

お求めは皆様のJA(農協)へ



JAグループ

農協

全農

経済連

お問い合わせ・資料請求は



クミアイ化学工業株式会社

本社：東京都台東区池之端1-4-26 〒110-8782 TEL03-3822-5131

いのちの輝きを見つめる

Meiji



非選択性茎葉処理型除草剤
 (ピアラホス除草剤群)

ハービー液剤
 サポート水和剤
 インパルス水溶剤



明治製薬株式会社

104-8002 東京都中央区京橋2-4-16